



GRAND BAY

据付工事説明書 (簡易版)

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
据付け前の確認	2
ユニット構成図	3
取付棧位置	4
据付工事作業手順／据付け上のご注意	5
アジャスター（樹脂製）の取付け／ケコミ板の取付け	6
ステンレスカバー A F の取付け	7 ~ 8
アジャスター【A F仕様】の取付け	9 ~ 11
転倒防止パーツの取付け	12
仕切板の取付け	13
フロアユニットの取付け	14 ~ 15
スライドドアフロアユニットの取付け	16 ~ 17
H720フロントパネルの取付け	18 ~ 19
H750フロントパネルの取付け	20 ~ 21
カウンターパネルの取付け	22 ~ 24
ワークトップの取付け	25 ~ 28
人工大理石ワークトップの施工上のご注意	29
人工大理石ワークトップ施工前の準備	29
加熱機器設置前の準備	29
人工大理石ワークトップの取付け	30
人工大理石ワークトップ接合部の仕上げおよび補修方法	31
パイブラックパーツの取付け	32 ~ 33
ウォールユニットの取付け	34
エンドパネルの取付け	35
エンドスペーサーの取付け	36
フィラーの取付け	37
照明器具・照明カバー【アルミ製】の取付け	38 ~ 39
照明器具・照明カバー【ステンレス製】の取付け	40 ~ 41
ガラスバックガードの取付け	42
配管前の準備／排水管の配管／配管カバー、水栓の取付け	43
分岐ヘッダ止水栓の取付け	44
リカバリータンクの取付け	45
アルミ配管カバーの取付け	46 ~ 47
ステンレス配管カバーの取付け	48
排水隠しカバーの取付け	49
プルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管カバーの取付け	50
クロスギャラリーの取付け	51
引出しの取り外し、取付け	51 ~ 52
丁番の取付け	52
引出し前板の調整	53 ~ 54
丁番の着脱	55
扉（丁番）の調整	56
扉の調整（リフティングドアウォールユニット）	57
扉の外し方（リフティングドアウォールユニット）	58
据付け後の点検・清掃・養生／ホルムアルデヒド発散区分	59

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

- 表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

ステンレス製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

ウォールユニット、収納ユニットおよびキッチンパーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

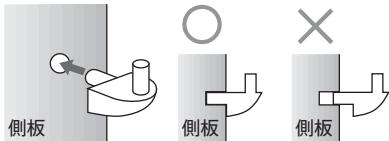
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

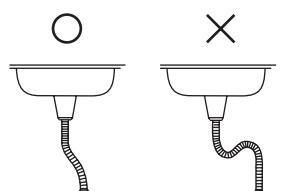
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



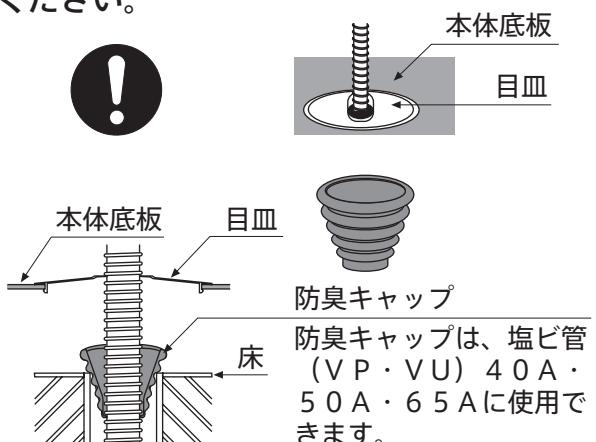
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

収納ユニットは、必ず壁面に固定してください。



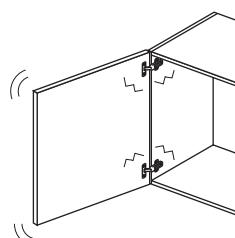
転倒して、ケガをする恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。



水が漏れたり、湿気が上がり、床等が腐る恐れがあります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

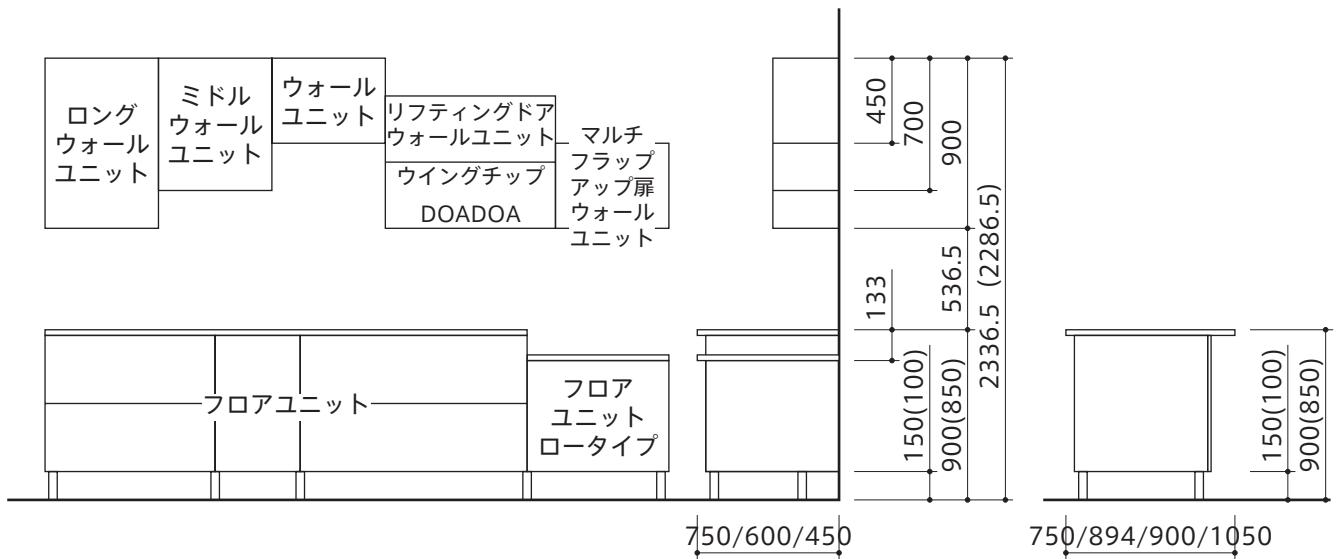
据付け前の確認

- ① 注文した製品が、納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強棟の確認
 - ・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付位置に、取付棟があることを確認してください。
 - ・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

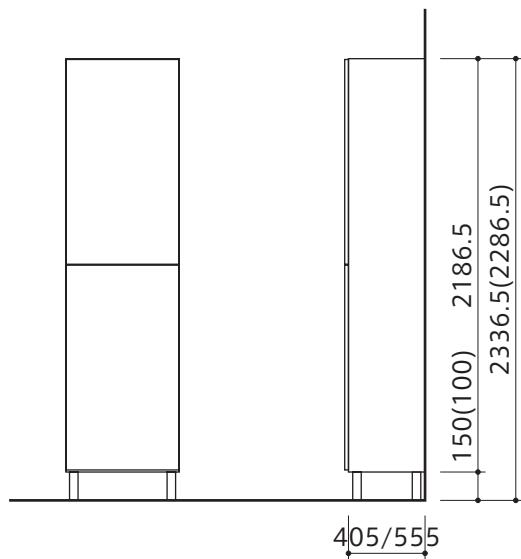
ユニット構成図

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

■フロアユニット、ウォールユニット



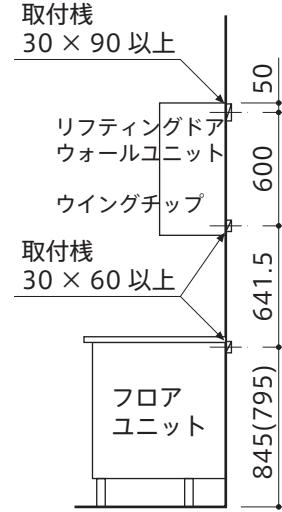
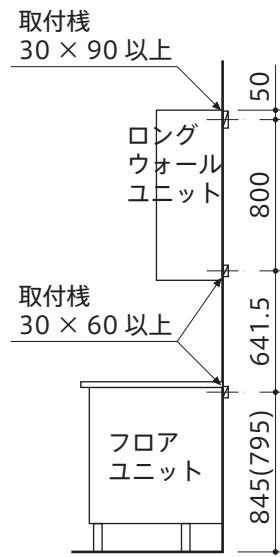
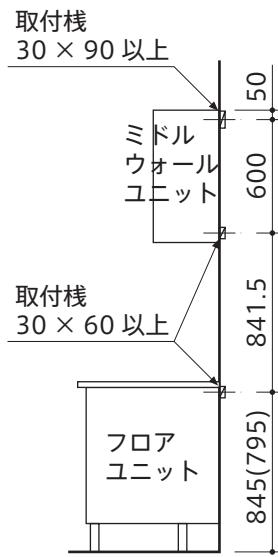
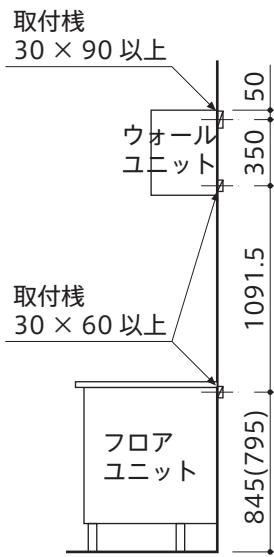
■収納ユニット



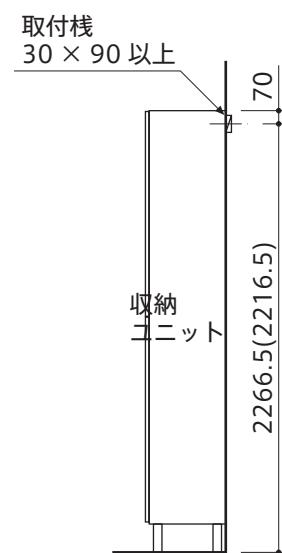
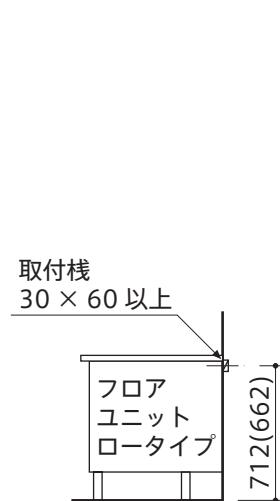
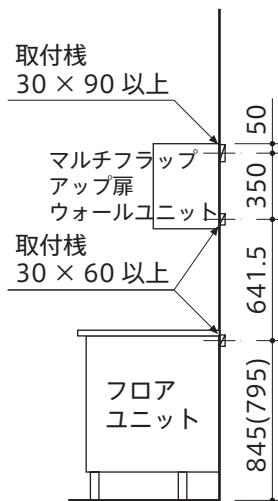
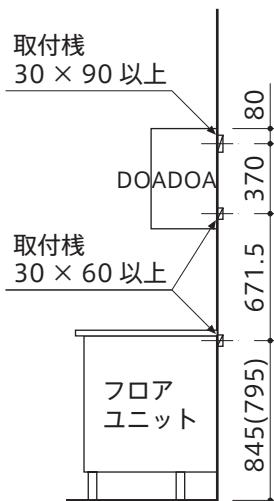
取付棧位置

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

■フロアユニット、ウォールユニット



■収納ユニット

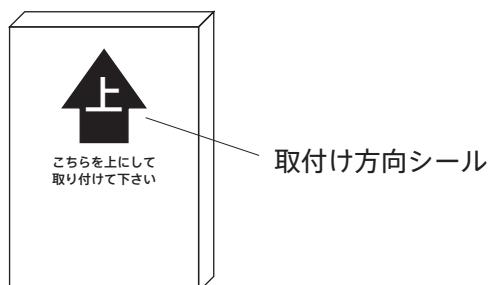


据付工事作業手順

1. 据付面のレベル出しを行う。
壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=870（A F仕様【H=100】の場合H=820）の墨出しをする。
(これが全ての取付基準になる。)
なお、壁背面側面はあらかじめ9mm以上のコンパネ貼りを指示しておくのが望ましい。
2. フロアユニットを取付ける。
アジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら壁側より取付けセットしていく。（A F仕様の場合は、1ユニットごとに連結していく。）
壁付けタイプの場合、設置後、壁面に固定する。
3. ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。
その後ケコミ板、ステンレスカバーA Fを取付ける。（その他のA F仕様の場合には必要ありません。）
仕上がり後、ダンボール等でワークトップを養生し、上部の取付けを始める。
4. ウォールユニットを取付ける。
1でレベル出しをした壁側より、順次水平垂直のレベルを見ながら取付けていく。
その時レンジフードについても、換気扇等の現場合合わせを行い、取付ける。
その他ウォールユニットの部品を取付ける。
5. 壁面パネルを取付ける。
6. エンドパネル、スペーサー、フィラーを取付ける。
7. 給水栓取付け後、オプションパーツを取付ける。
8. 扇、引出しを取付け後、調整を行う。

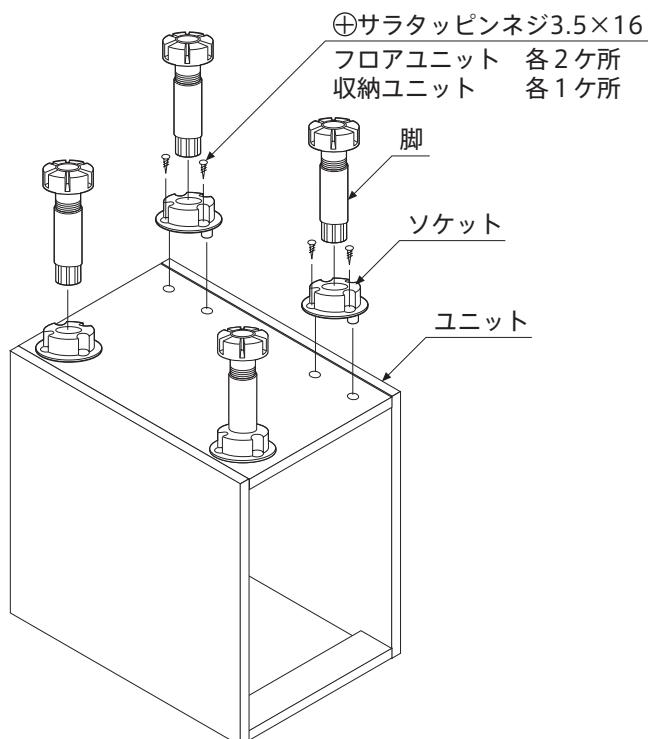
据付け上のご注意

化粧部材に取付け方向シールが貼ってある場合は、部材に柄方向があります。
矢印方向が上を向くように部材を取付けてください。



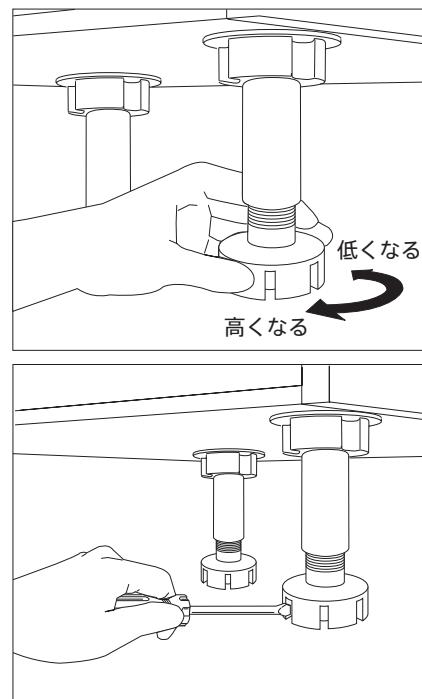
アジャスター（樹脂製）の取付け

- ユニット底板の取付穴にソケットをはめ込み、 \oplus サラタッピンネジ3.5×16で底板に固定してください。
- 次に脚をソケットの取付穴にはめ込んでください。



- ユニットを元に戻し、専用工具又は手やドライバーを使い、ユニットの高さを調整し、水平を出します。

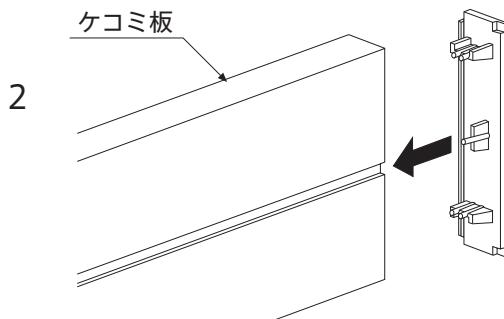
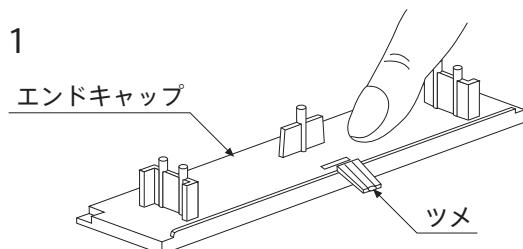
※調整範囲 -0~+15mm



ケコミ板の取付け

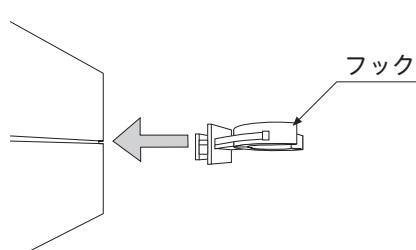
- ケコミ板にエンドキャップをはめ込みます。

- ツメを折ってカッターでバリを取りしてください。
- ケコミ板にはめ込んでください。

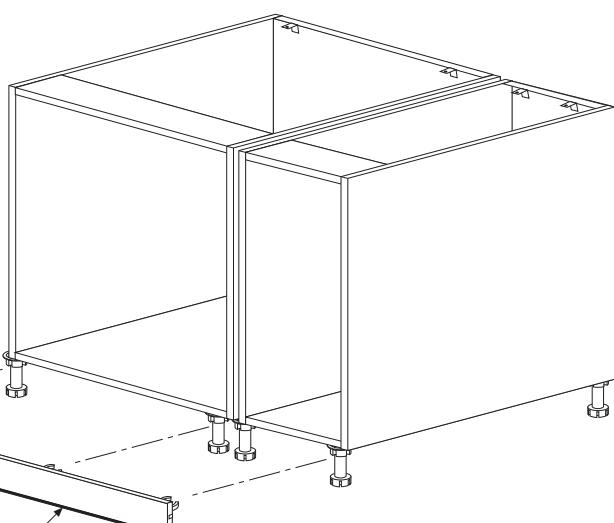
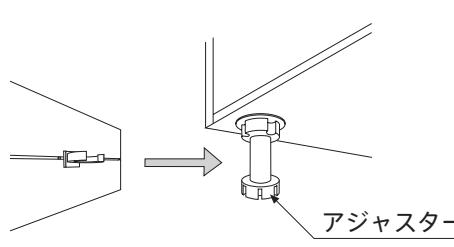


- アジャスターの位置に合わせてフックを取付けます。

※フックの間隔は1050mm以下になるように取付けてください。



- フックをアジャスターにはめ込みます。



ステンレスカバーA Fの取付け 1

1. 前板に付いているスプリングキャッチ（ストライク）を外し、側板の開口部に取付けます。 (図1)
2. アジャスターの位置に合わせて、前板と側板にフックを取付けます。 (図2)
- ※ フックの間隔は 1050mm 以下になるように取付けてください。
3. 側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。 (図3)
4. 側板と前板のスプリングキャッチ（2ヶ所）の位置を合わせながら、前板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。 (図4)
- ※ スプリングキャッチがしっかり嵌まったのを確認してください。

図1

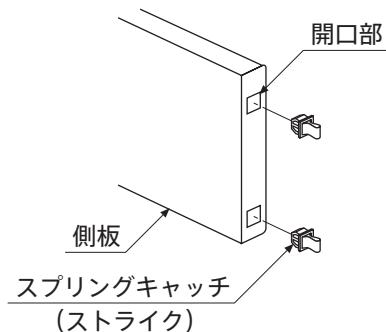


図2

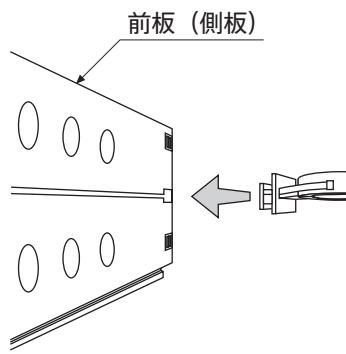


図3

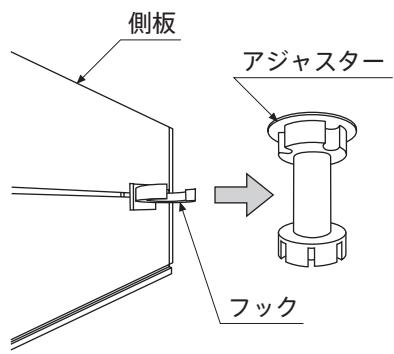
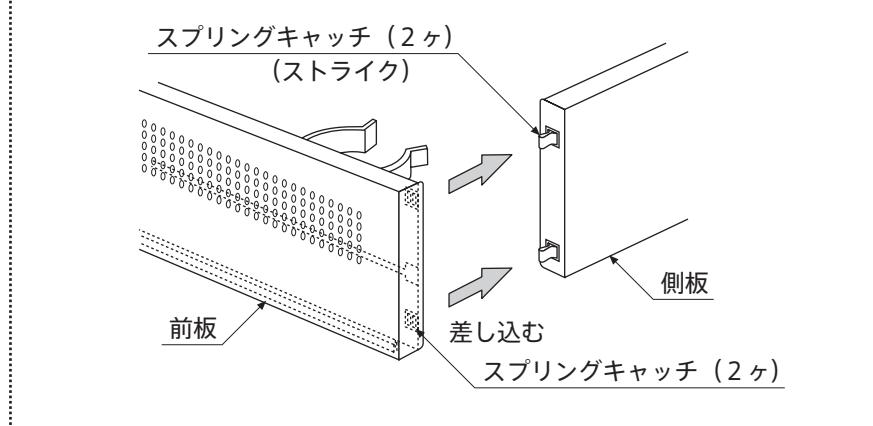
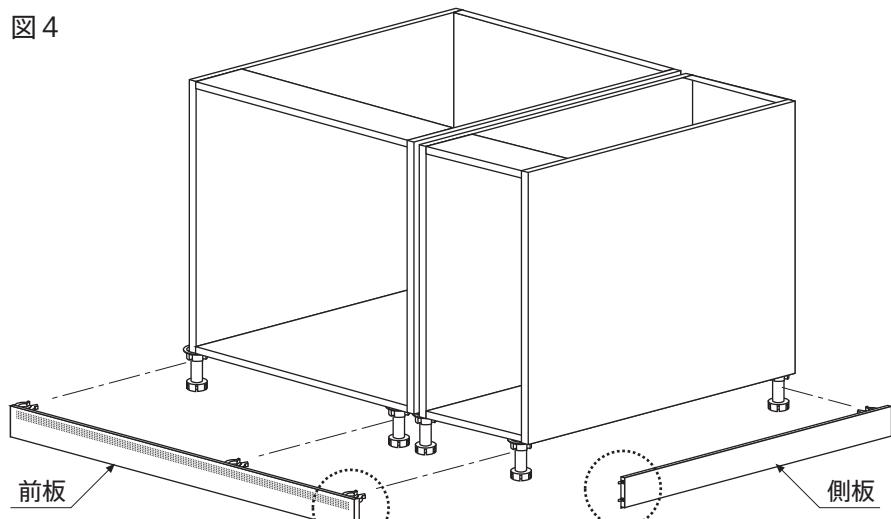


図4

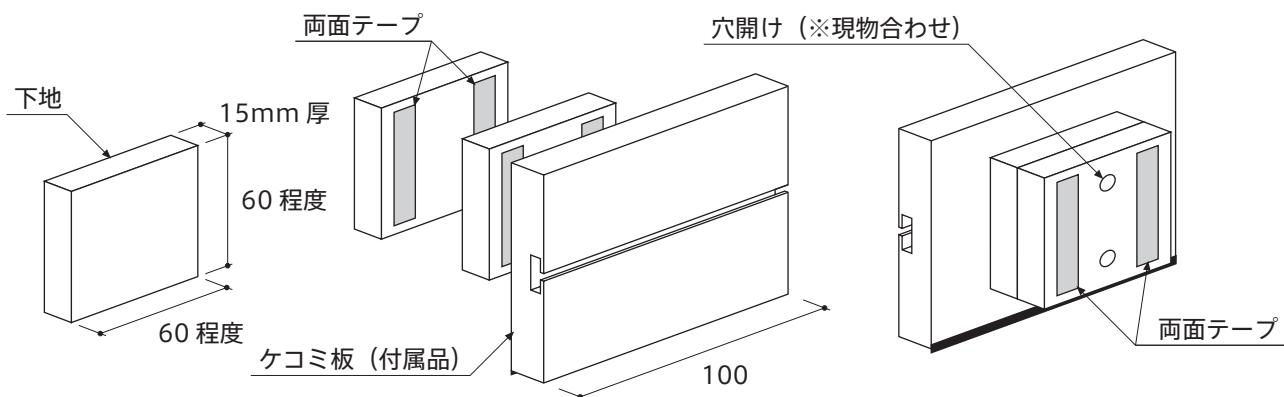


ステンレスカバーA Fの取付け 2

※スライドドアフロアユニットの場合、ケコミ前板は補助スペーサーを使用して取付けます。

■補助スペーサーの準備

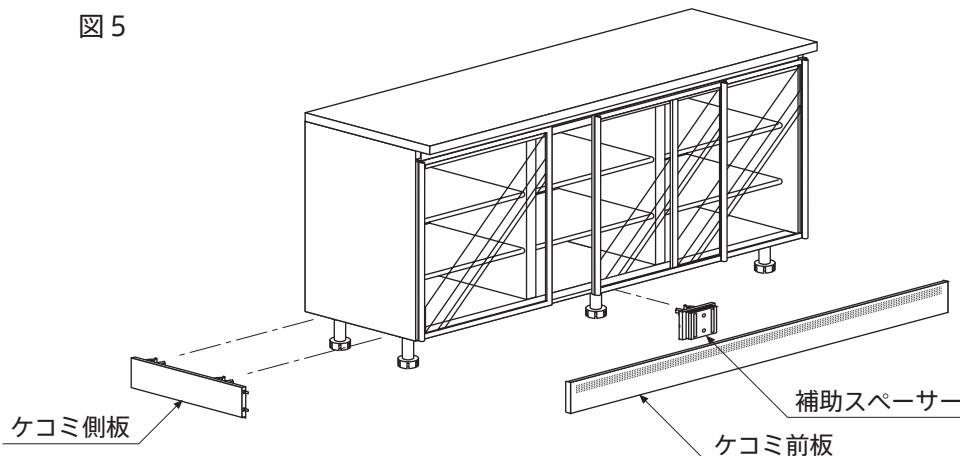
- ・厚さ15mmの端材にて60角程度の下地を2枚作ります。
 - ・両面テープにて付属のケコミ板（長さ100mm）の中央に下地2枚を貼り付けます。
 - ・下地に両面テープを貼っておきます。
- ※両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。
- ・ケコミ前板の補助スペーサー取付位置にあるリベットに下地が当たらないように、大きめの穴を開けます。



■ケコミ板の取付け

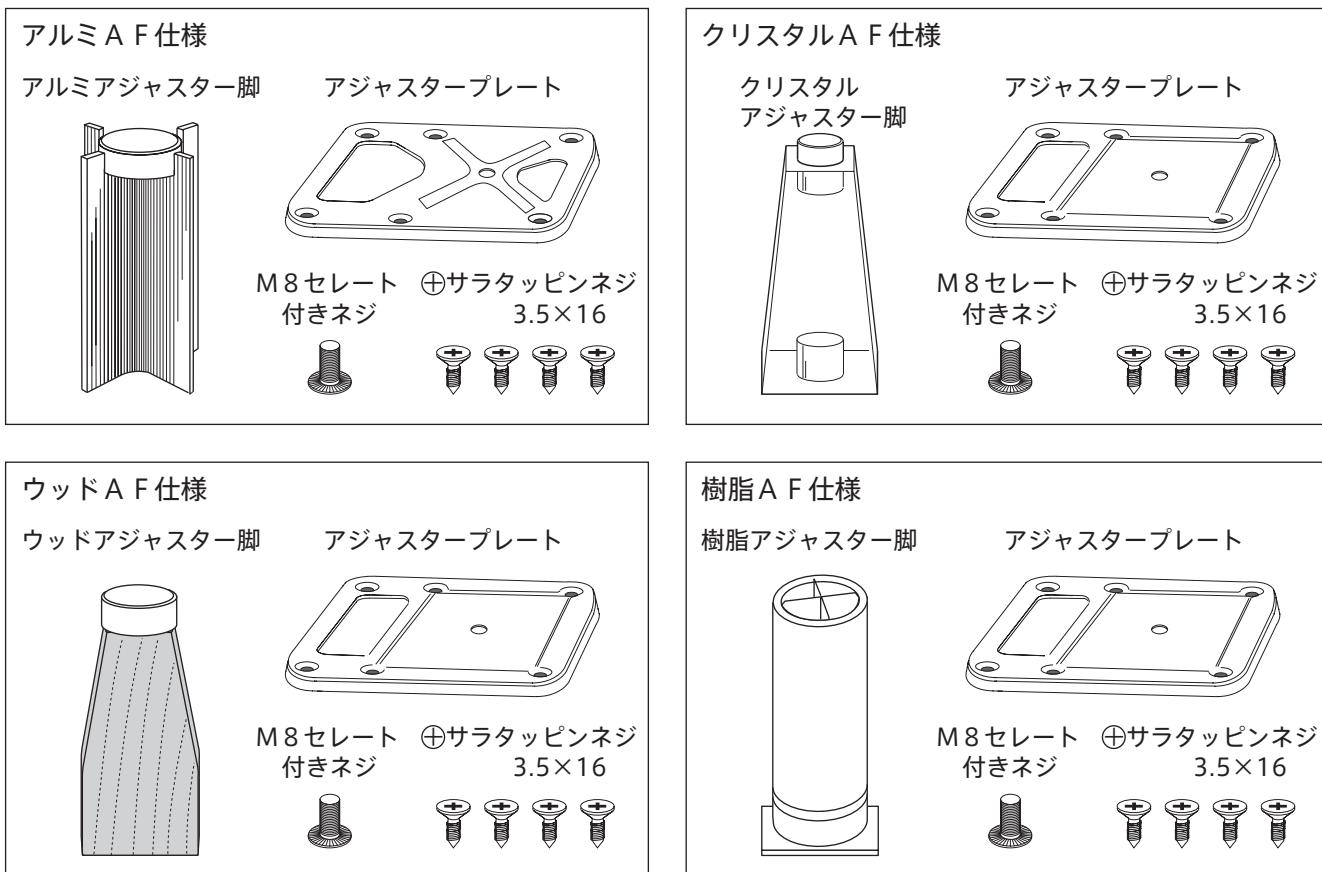
1. ケコミ前板に付いているスプリングキャッチ（ストライク）を外し、ケコミ側板の開口部に取付けます。（図1）
※ 壁がくる（ケコミ側板を使用しない）場合はスプリングキャッチ（ストライク）は破棄してください。
2. アジャスターの位置に合わせて、ケコミ側板にフックを取付けます。（図2）
3. ケコミ側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図3）
4. 補助スペーサーにフックを取付け（図2）、ユニット前面中央のアジャスターにはめ込みます。（図5）
※ 間口900の場合、ケコミ側板が両側にある場合は補助スペーサーは使用せず、片側のみある場合は壁側（ケコミ側板を使用しない側）のアジャスターに補助スペーサーを取付けてください。
5. 補助スペーサーの両面テープのハク離紙をめくり、ケコミ側板とケコミ前板のスプリングキャッチ（2ヶ所）の位置を合わせながら、ケコミ前板を取付けます。（図5）
※ スプリングキャッチがしっかり嵌まったのを確認してください。
- ※ ケコミ前板が外れないように、補助スペーサー取付位置をしっかりと押させてください。

図5



アジャスター【A F仕様】の取付け

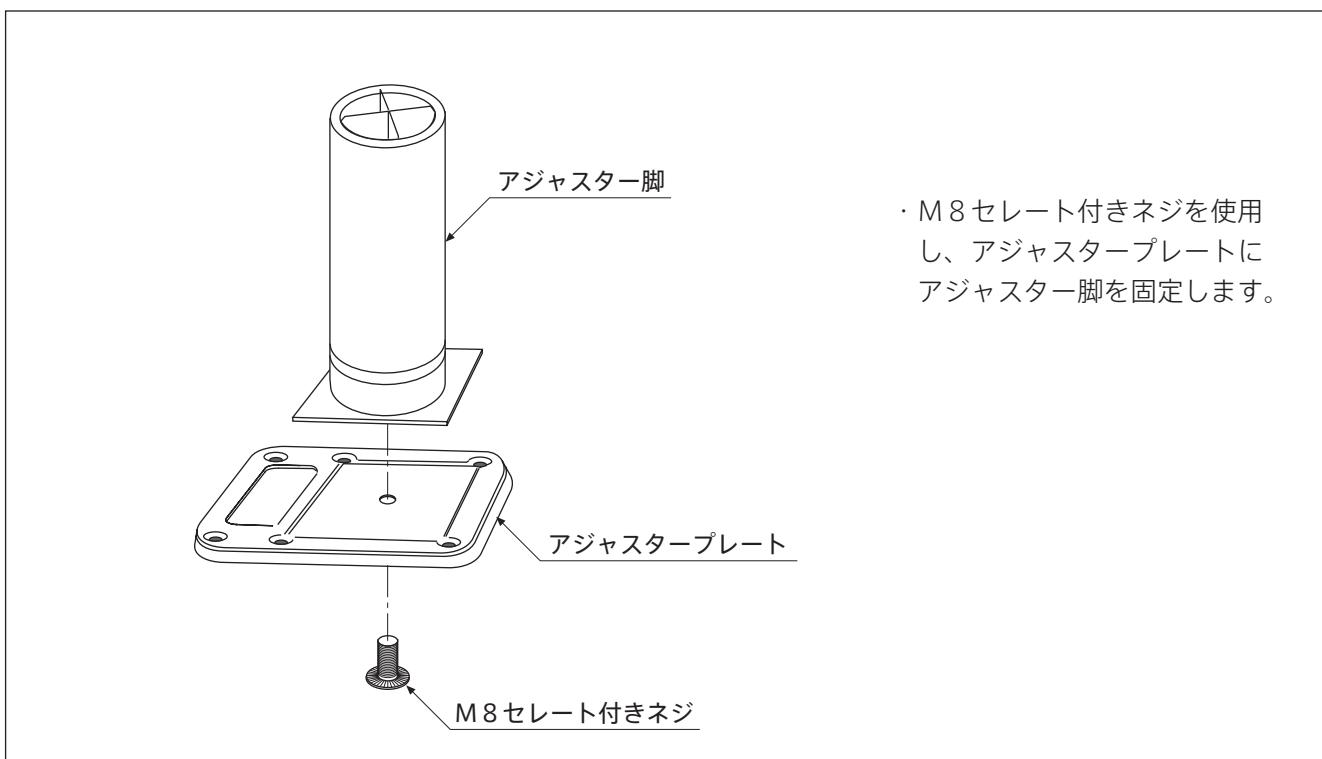
■部品名称



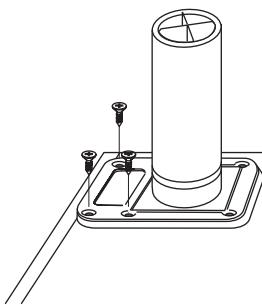
■組立手順 (※イラストは樹脂 A F 仕様ですが、その他の A F 仕様も同じです。)

・ フロアユニットが連続する場合、左側から取付けてください。

※どちらか壁になる場合は壁側から取付けてください。

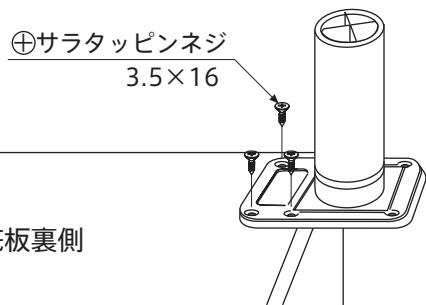


ユニットが端にくる場合



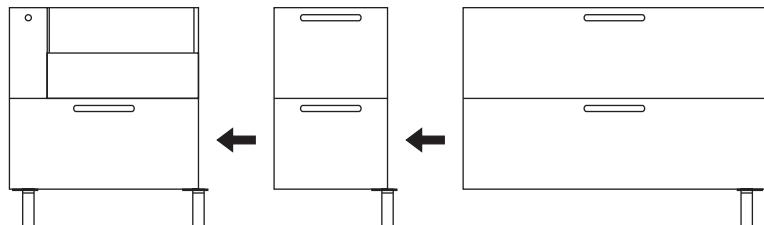
底板裏側

隣にユニットが続く場合



- ・フロアユニットおよびスペーサー
ユニットを裏向けて、下穴にア
ジャスター プレートの穴を合
わせ、
④サラタッピンネジ 3. 5 × 16
にて固定します。

※アジャスターの取付位置は、次頁
の「アジャスター配置」を参考し
てください。



- ・左側（壁側）のユニットを取付け後、隣
のユニットを順に施工していきます。
1 ユニットごとにユニット連結をします。

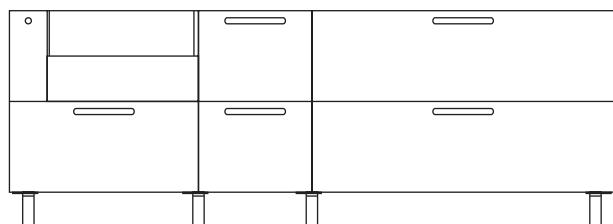
■アジャスターの調整方法



- ・手を使いユニットの高さや水平を調整し
てください。

※アジャスターの調整は1ユニットごとに
行ってください。

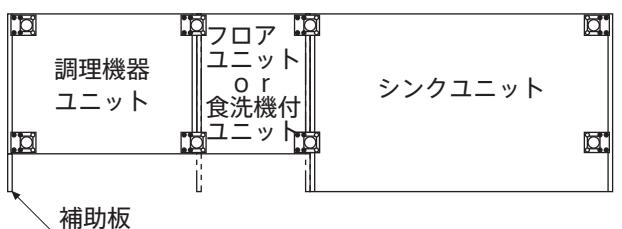
※調整範囲 -0 ~ +10 mm



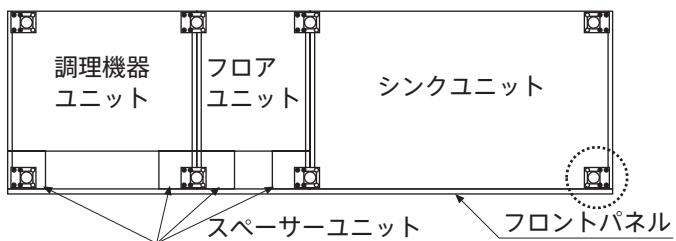
- ・アジャスターは、左図のよう両端以外
は、ユニットとユニットの間の位置にな
ります。

■アジャスター配置例（裏面より）

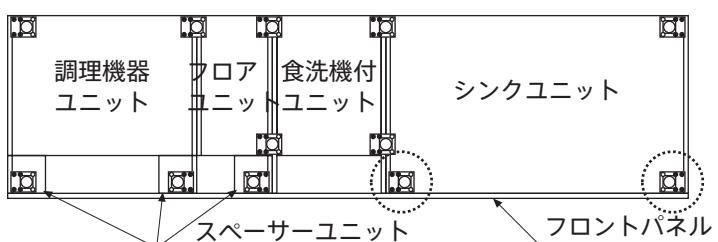
【壁付けタイプ】



【アイランドタイプ（食洗機無）】



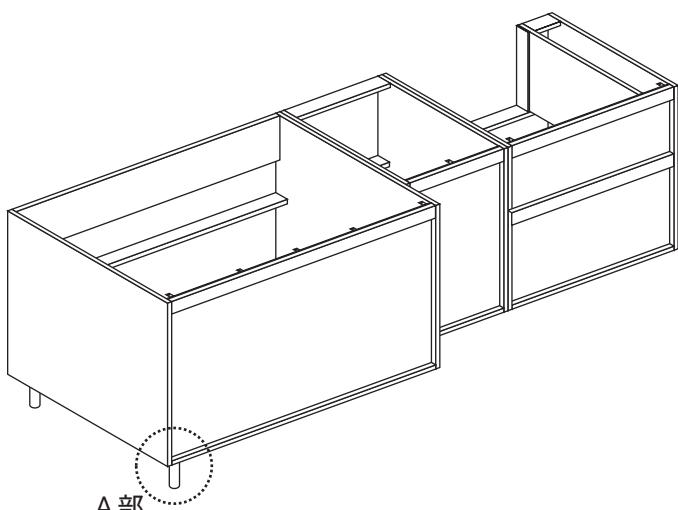
【アイランドタイプ（食洗機付）】



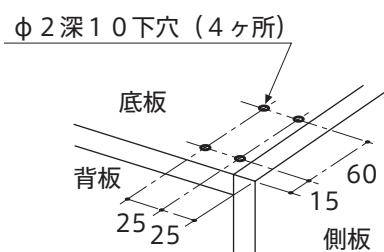
※図中●はネジ固定箇所
○はネジ固定なし

- 部分は下穴が開いていませんので、ユニットの底板に下穴を開けてからアジャスターを取付けてください。

例：アイランドタイプの場合



A部穴開け加工詳細図（裏面より）

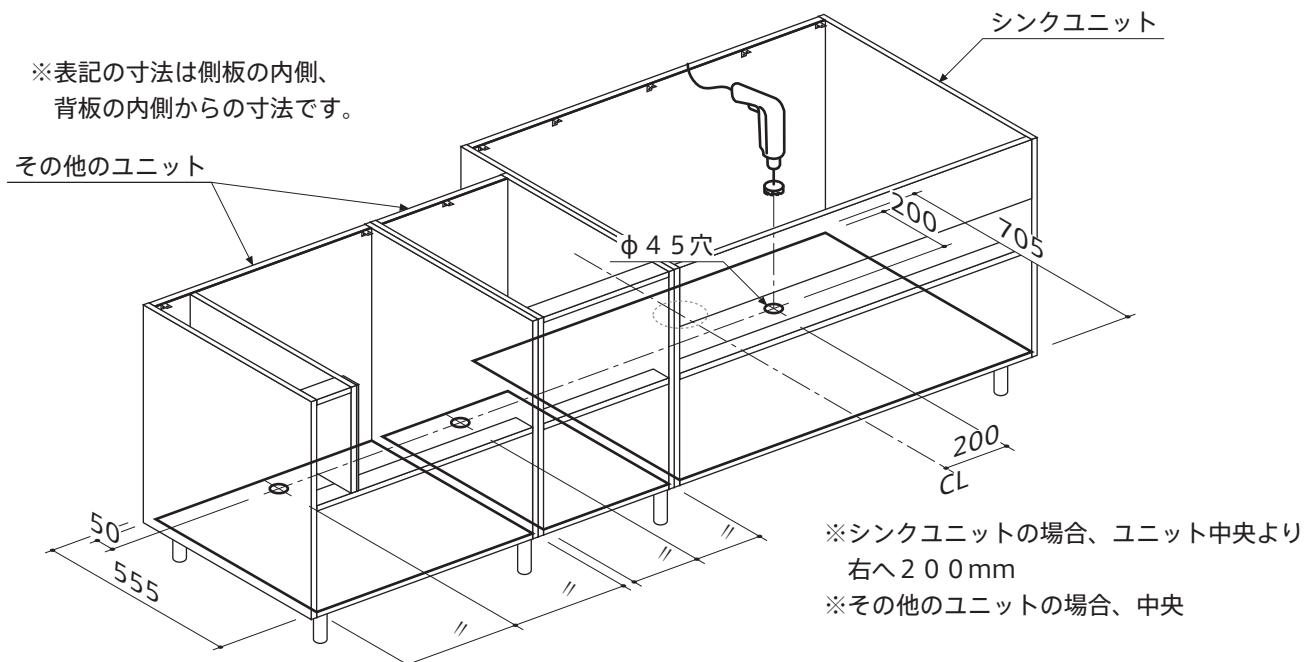


転倒防止パーツの取付け

※ 転倒防止パーツはフロントパネルの付属品として同梱されています。

1. フロアユニットを設置後、ユニット内部から底板の指定位置にΦ45mmの取付穴（各ユニット1ヶ所）を開けます。

※ 食洗機ユニットには、転倒防止パーツを取付けません。



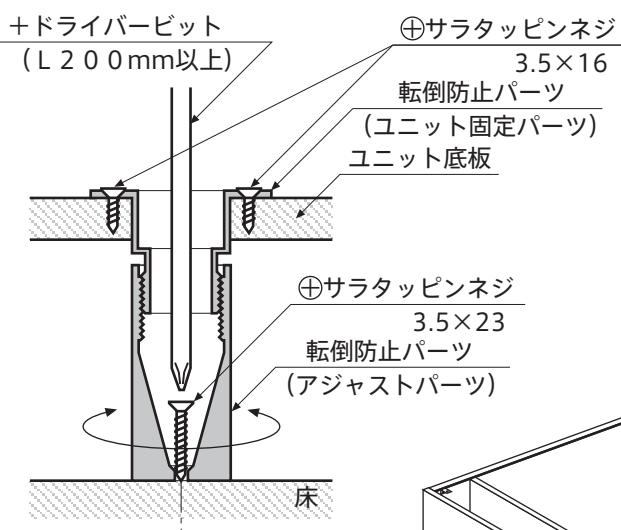
2. ユニット内部から取付穴に転倒防止パーツを差し込み、 \oplus サラタッピンネジ3.5×16にて底板に取付けます。

3. 転倒防止パーツを床面に接するように調整します。

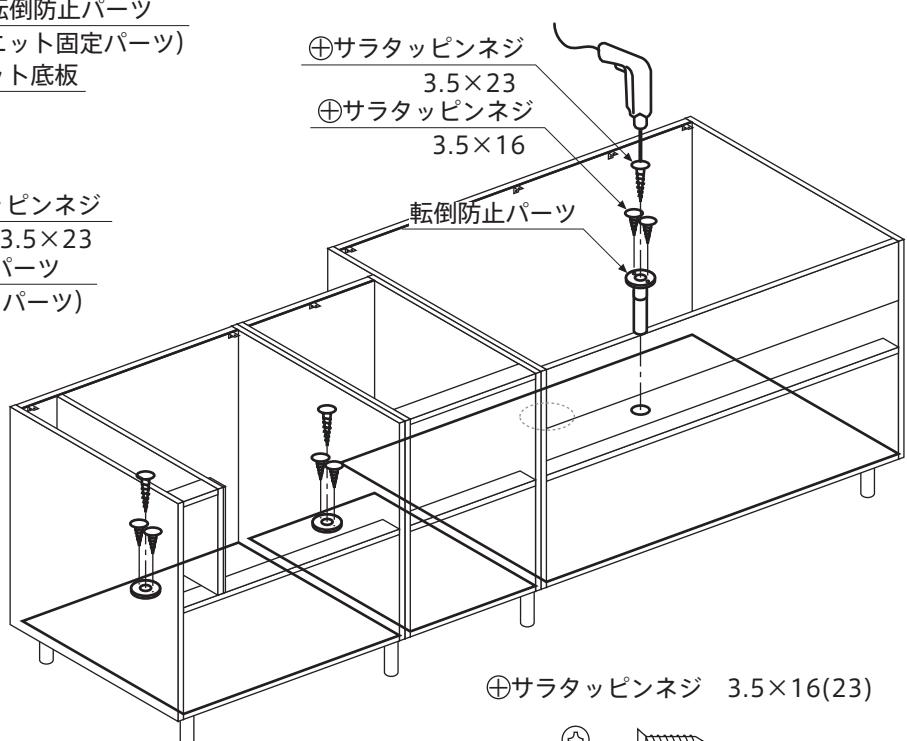
上部の穴から \oplus サラタッピンネジ3.5×23にて転倒防止パーツを床面に固定します。

※ ネジ固定のためには、L200mm以上の+ドライバービットが必要となります。

※ 床面に直接ネジ固定できない場合（コンクリート床、石床等）、アンカー等を使用して取付けてください。



- ・転倒防止パーツの上部開口部からネジを落とし込むと、自然とネジが取付穴に位置出しがられるように設計されています。



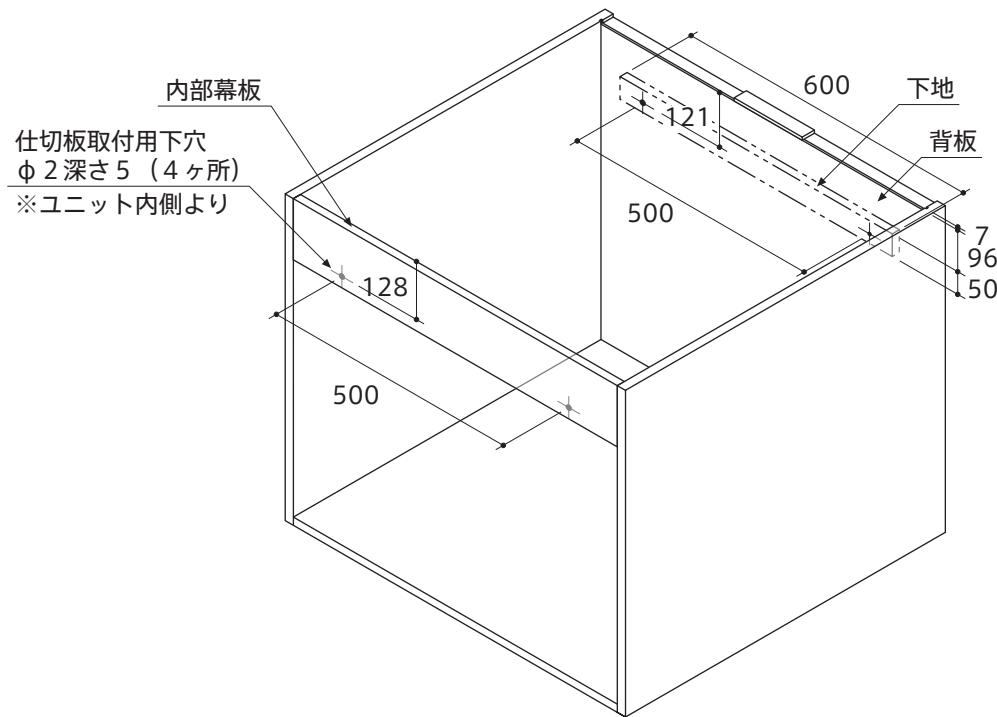
仕切板の取付け

※上面操作のIH機器（CHM-TS30A、68001K-MN）を設置する場合、ユニットに仕切板を取付けてください。

・背板背面の指定位置に下地 $600 \times 50\text{ mm}$ 厚さ9~18mm（別途準備品）を両面テープで貼り付けてください。

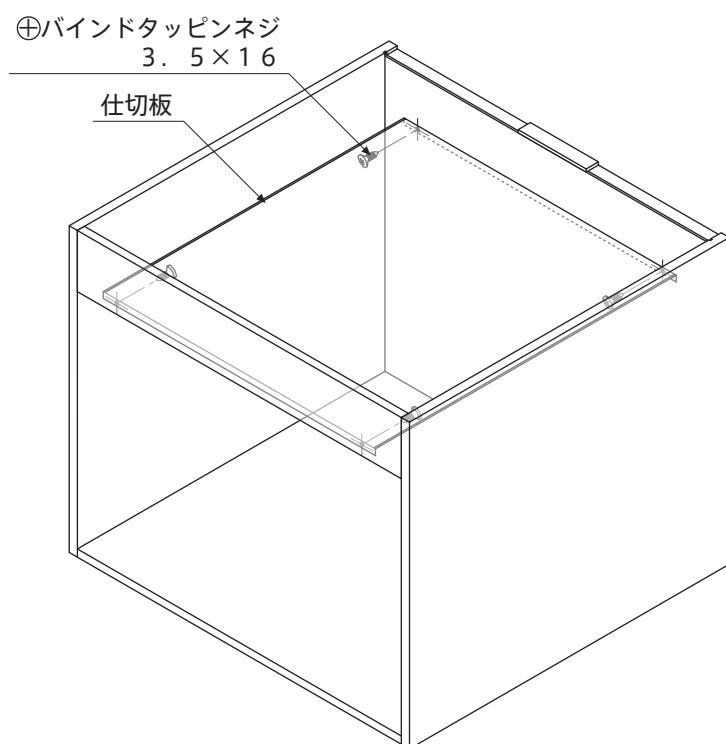
・ユニット内部から内部幕板と背板の指定位置に仕切板取付用の下穴Φ2深さ5を4ヶ所開けます。

※下地の取付位置と仕切板取付用下穴の位置は、加熱機器取付穴に合わせて左右均等に振り分けてください。



・ユニットに仕切板を取付けます。

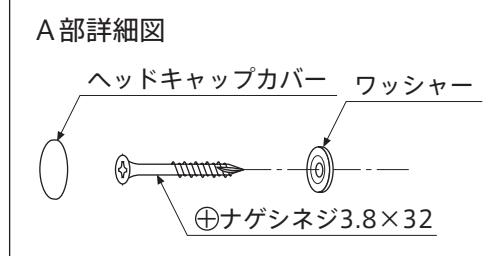
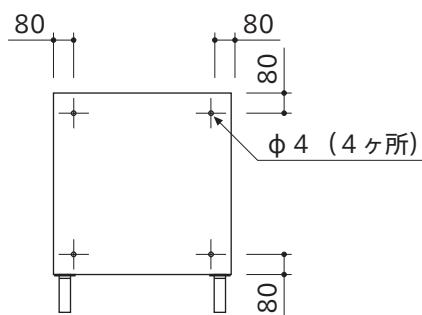
上記で開けた仕切板取付用下穴の位置に仕切板の取付穴を合わせて、⊕バインドタッピンネジ3.5×16（4本）にて固定してください。



フロアユニットの取付け 1

- ユニットどうしを連結する場合は、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、指定の位置（4ヶ所）で連結し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

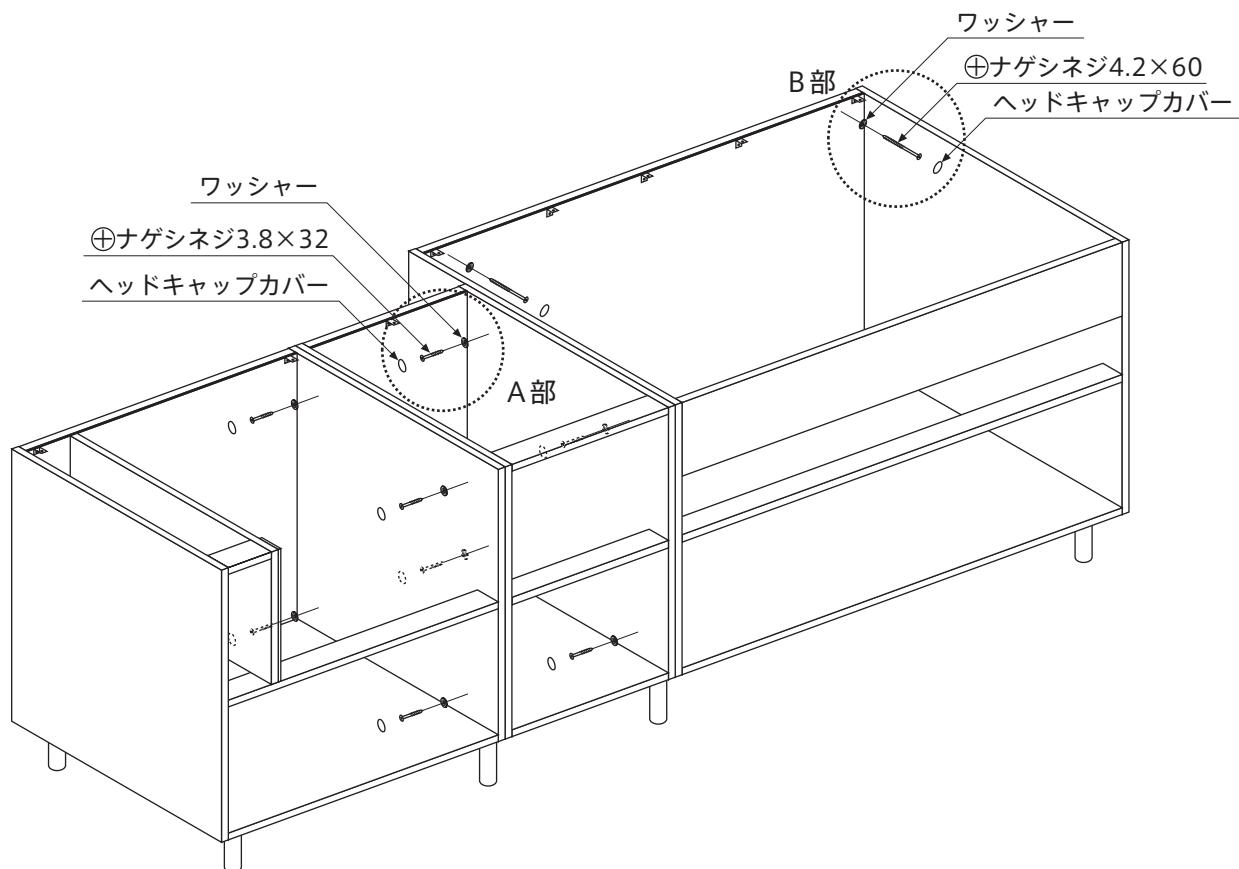
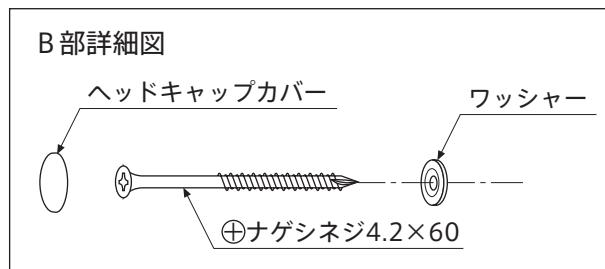
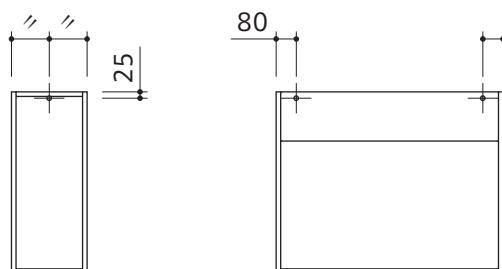
側面図



- ユニットを壁面に固定する場合は、 \oplus ナゲシネジ4.2×60にワッシャーを通して、指定の位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

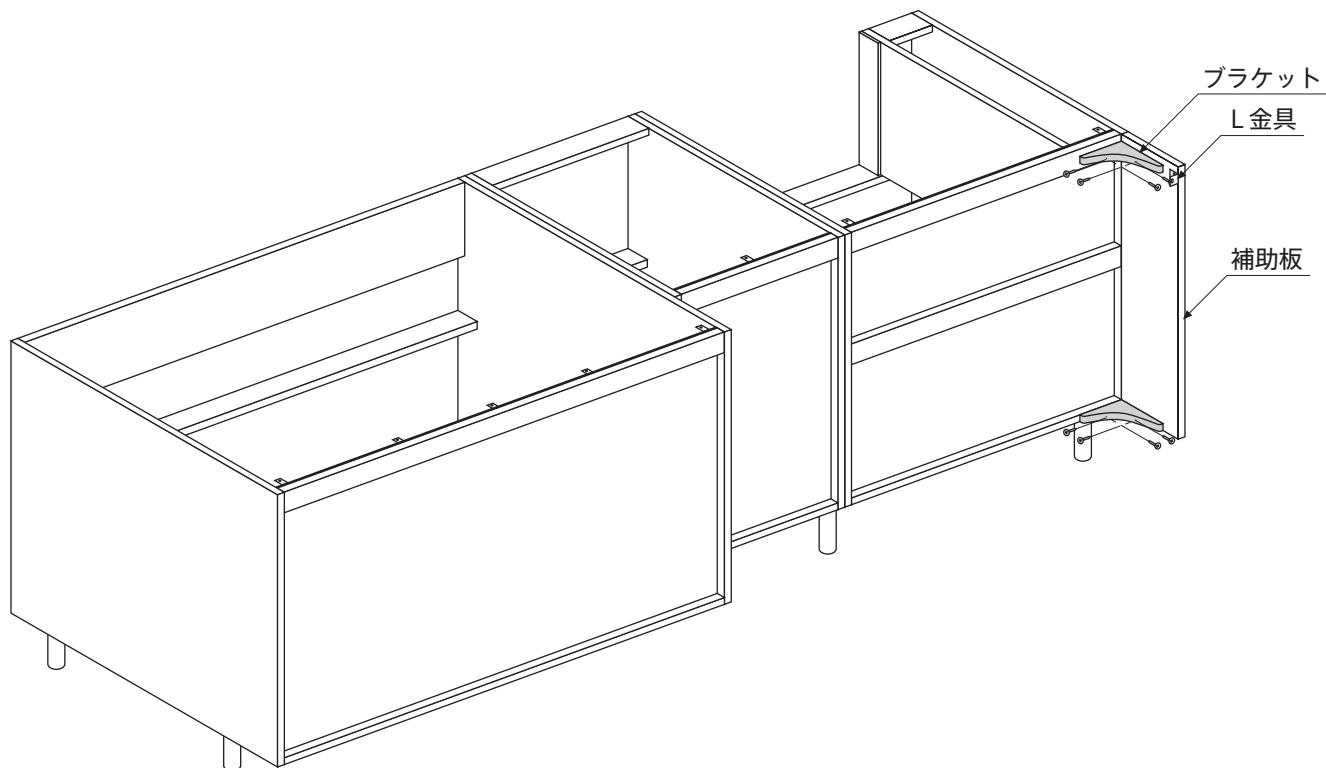
正面図

W=150・300 W=450～1200

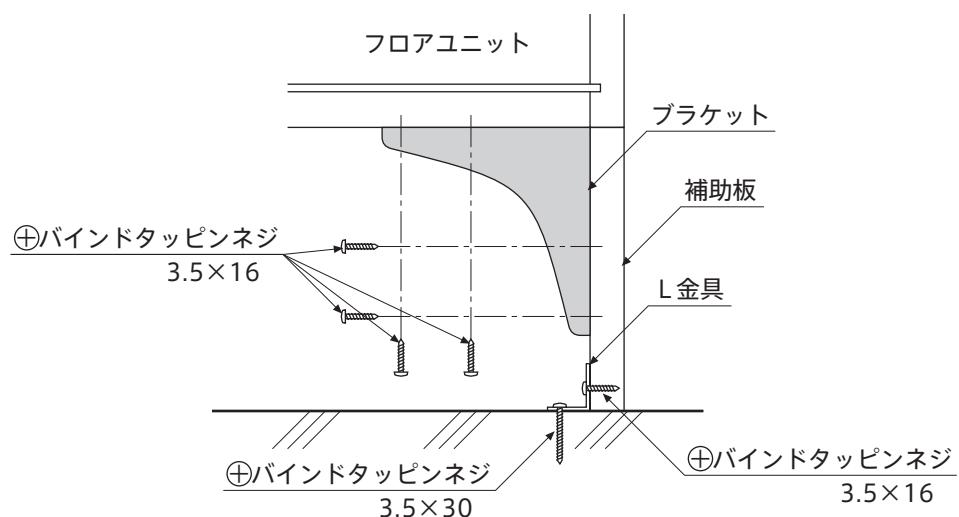


フロアユニットの取付け 2

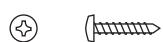
- ・壁付けタイプで端に位置するユニットの奥行きが555mmの場合、下図のように、補助板・ブラケット・L金具を使用して取付けてください。



平面図



⊕バインドタッピンネジ 3.5×16



⊕バインドタッピンネジ 3.5×30



スライドドアユニットの取付け 1

- スライドドアユニットのスライドドアは調整済で出荷されますが、輸送中の衝撃および取付け時のユニット本体の歪み等により、なめらかな開閉をしなくなる場合があります。
- なめらかな開閉をしなくなった場合は、スペーサーを取り付ける前に、本体の歪みをチェックし、本体と壁との間にパッキン等を入れて歪みを直します。
その他の原因としては、図1に示すように外側スライドドアのa部分、b部分の角度が悪く、c部分に余裕が無いために起こる場合があります。このような場合は図2に示すスライディングブロックのネジを外し、外側スライドドアを取り外し a部分 b部分の角度を直してください。
- 取付ける時は、スライディングブロックの左右を間違えないよう取付けてください。
- スライドドアの上端にある調整ネジを六角レンチで回して、スライドドアの水平を調整してください。
(図3)
- 左右のスライドドアとユニット側板のチリをチェックします。図4に示すようにチリは2mmとし、前後のスライドドアの枠が重なり合うように図5の樹脂製ストッパーのネジを+ドライバーでゆるめ、チリが2mmになるように移動させ、締め付けてください。

図1

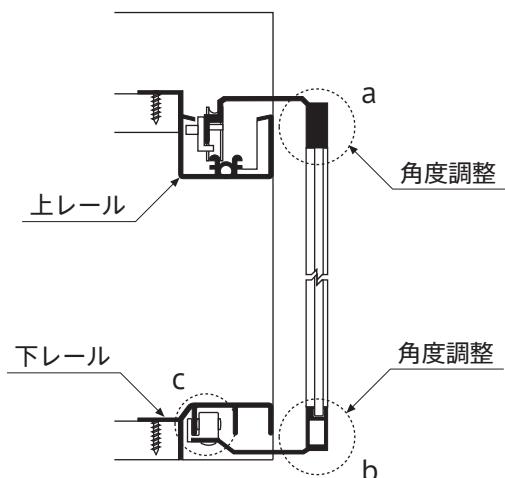


図2

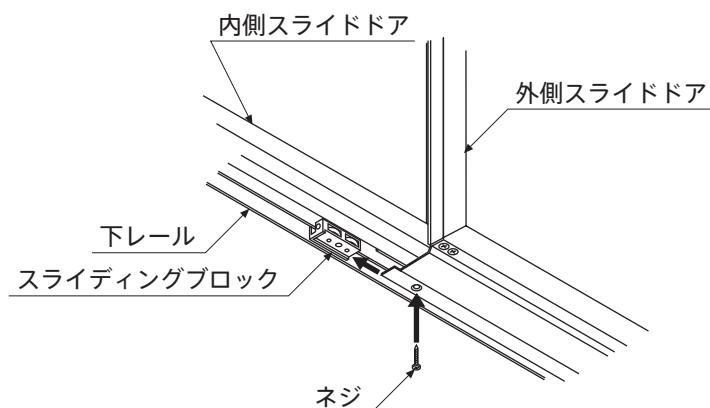


図3

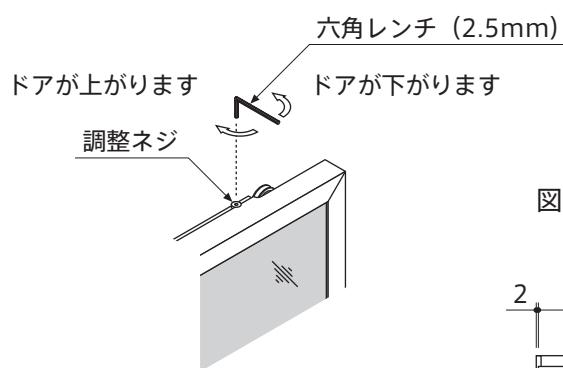


図4

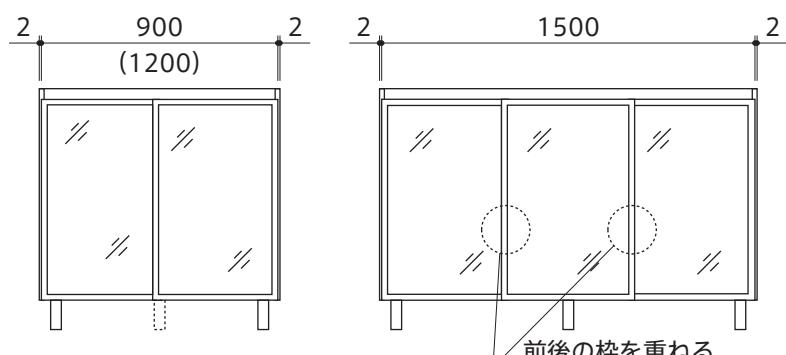
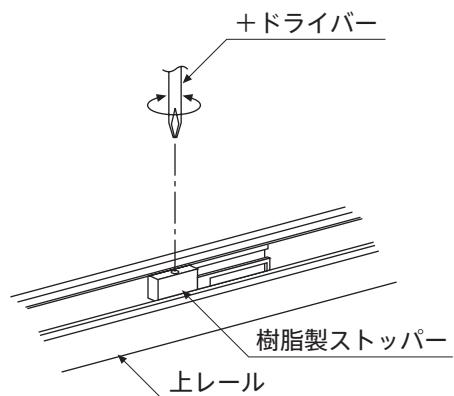


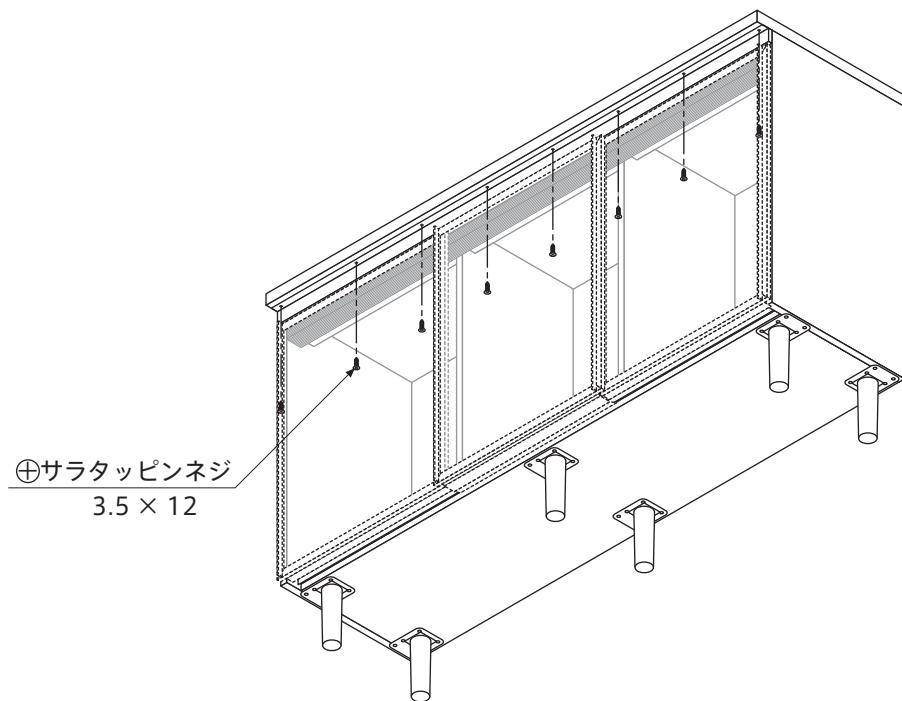
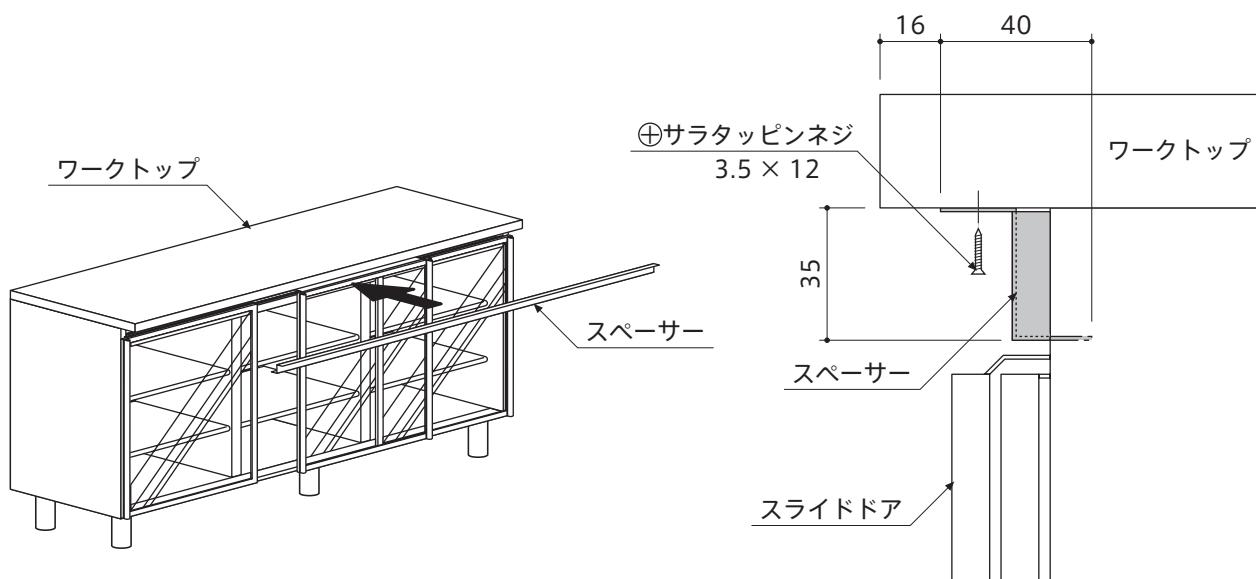
図5



■スペーサーの取付け

- 両面テープを併用して、スペーサーをワークトップ裏面の天板下地に仮固定します。
 - ⊕サラタッピンネジ 3.5×12 にて、スペーサーを固定します。
- ※スペーサーを固定するときは、固定する箇所に合わせてスライドドアを開けて作業を行ってください。

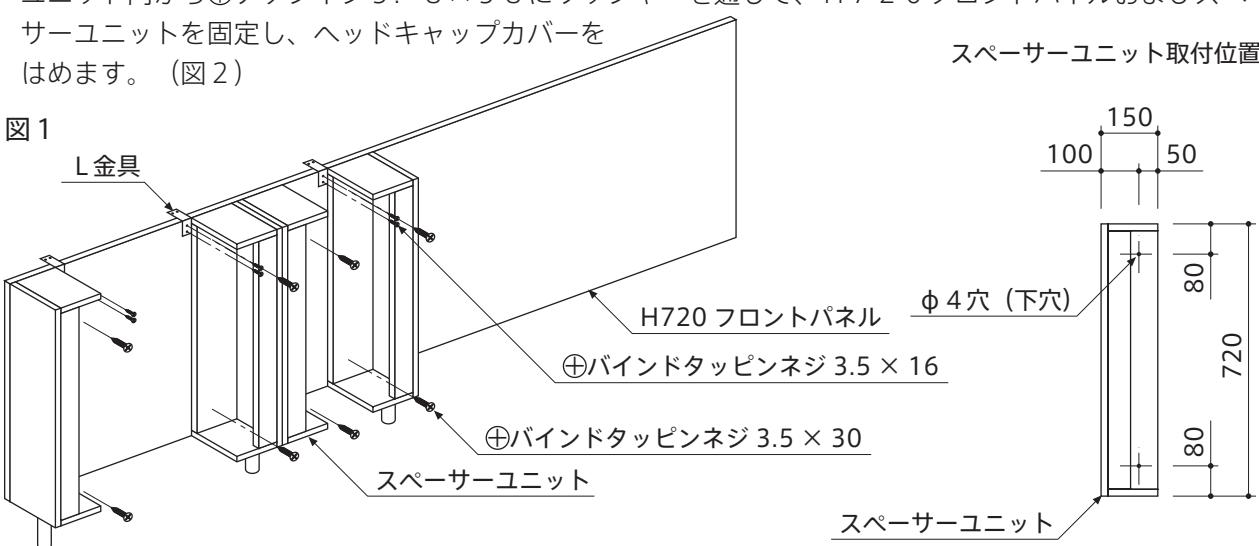
スペーサー取付納まり図



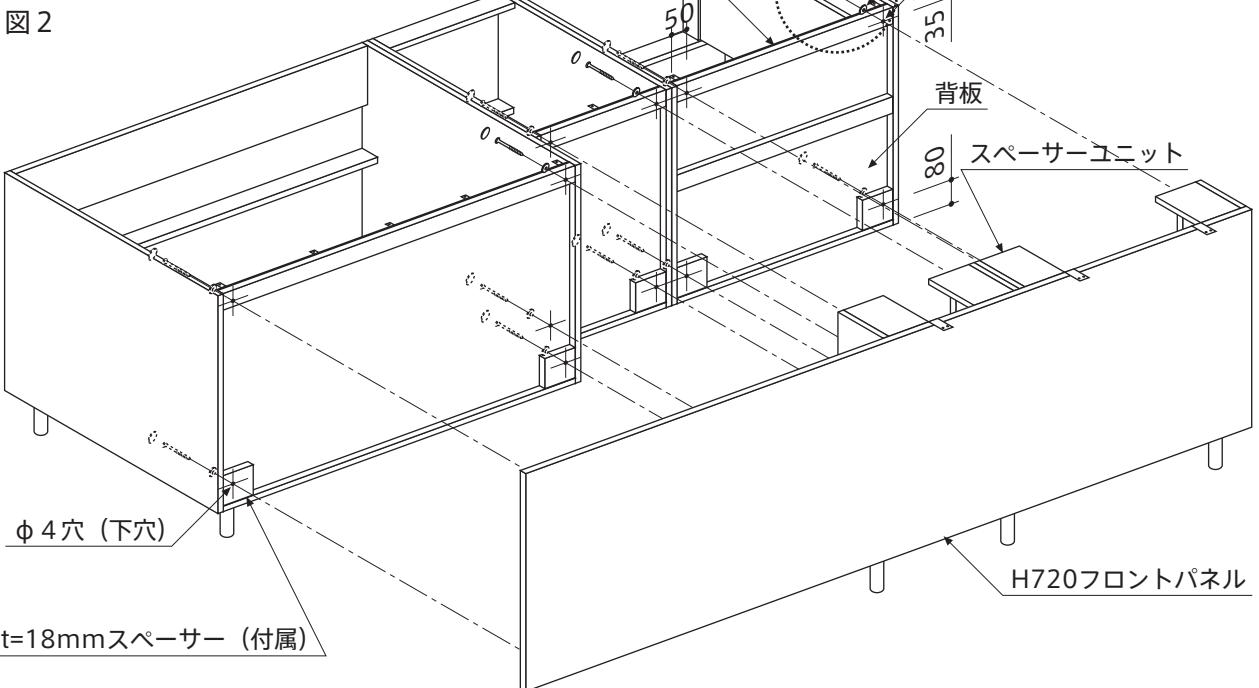
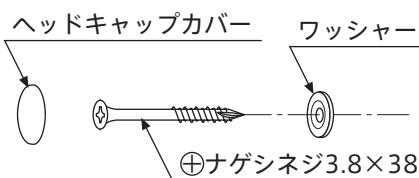
H720フロントパネルの取付け 1

※ ワークトップ奥行き894、900、1050mmにフロントパネルを取付ける場合、H720フロントパネルを使用します。

- ユニット奥行き555mmの場合、H720フロントパネルの裏面にスペーサーユニットを取付けます。(図1)
スペーサーユニットの指定位置(下図参照)にΦ4の下穴を開け、ユニットの間口位置に合わせて⊕バインドタッピンネジ3.5×30にて取付けます。
- スペーサーユニットを取り付けた隣に⊕バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けます。
- ユニットの背板背面下部にt=18mmスペーサー(付属)を両面テープで仮止めします。(図2)
- ユニットの背板棧と仮止めしたt=18mmスペーサーの指定位置にユニット内の背板からΦ4の下穴を開けます。(図2)
- ユニット内から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通して、H720フロントパネルおよびスペーサーユニットを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。(図2)



A部詳細図



H720フロントパネルの取付け 2

※以下の説明では食洗機ユニット部分のみを示していますが、その他の部分は前頁を参照してください。

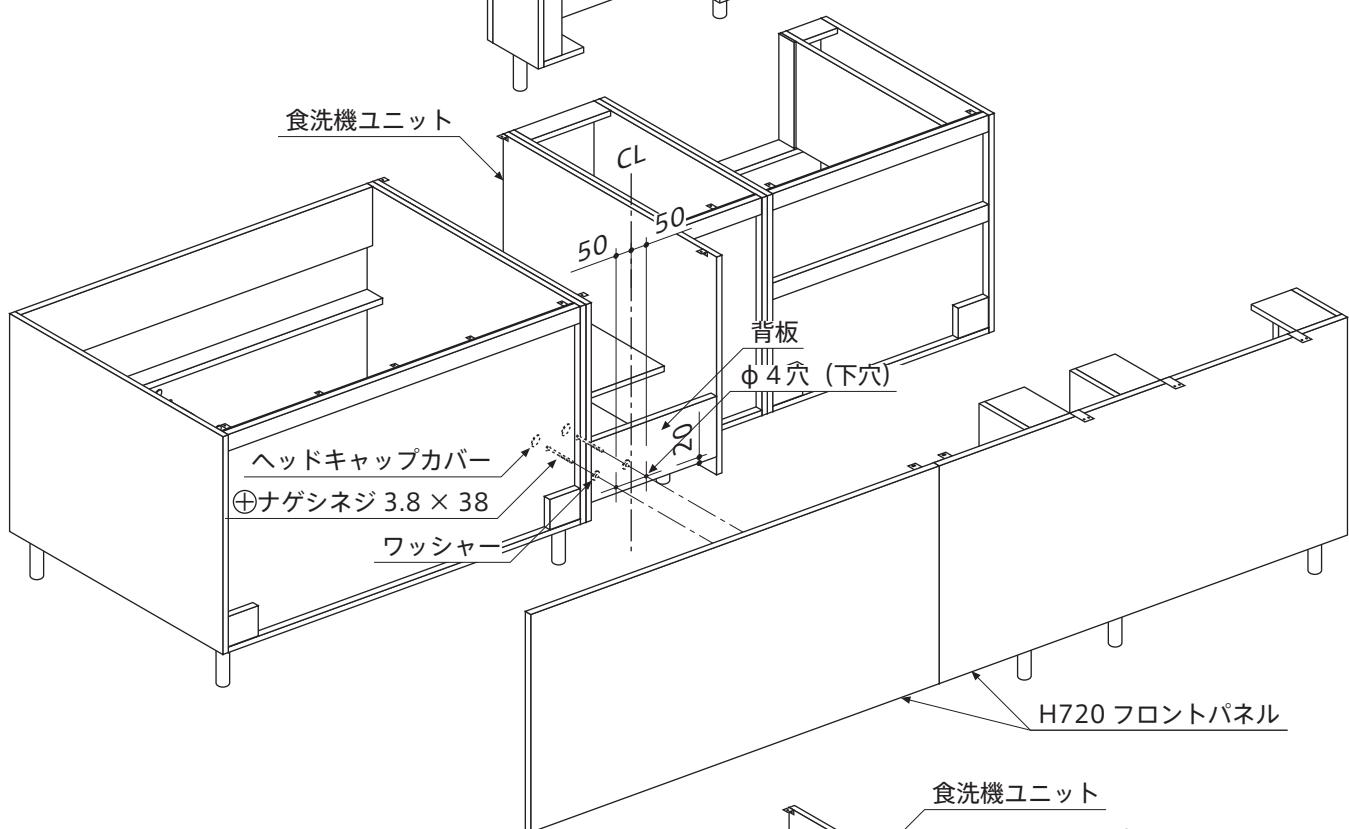
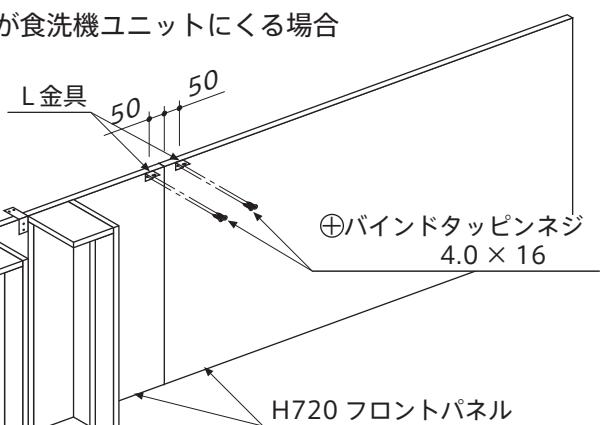
■H720フロントパネルが2枚で構成されるとき、継ぎ目が食洗機ユニットにくる場合

1. H720フロントパネルの継ぎ目側の上端にL金具を取付けます。

H720フロントパネルの指定位置に⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてL金具を取付けます。

2. 食洗機ユニット内の背板からΦ4の下穴を開けます。

3. 食洗機ユニット内から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通して、H720フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。



■食洗機ユニットがキッチンの端にくる場合

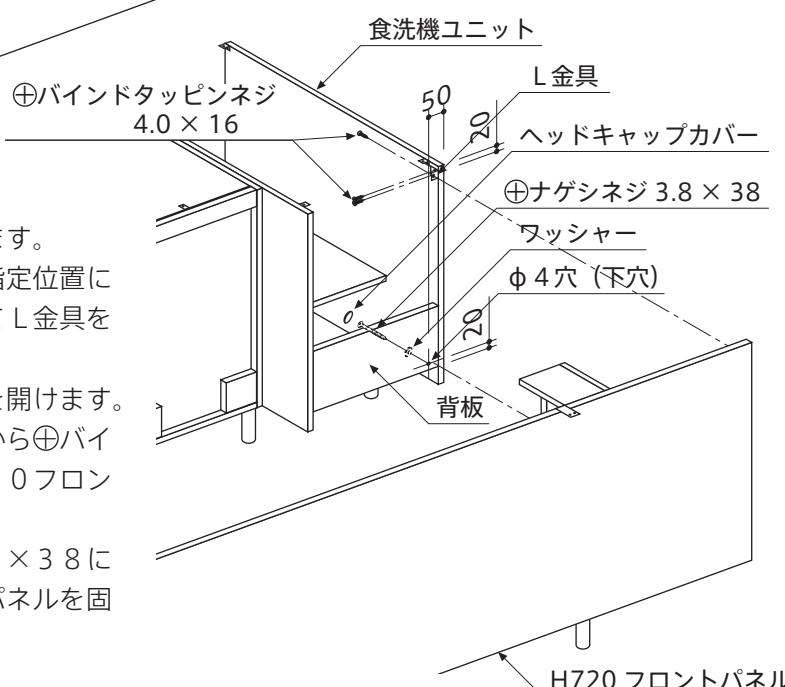
1. 食洗機ユニットの側板にL金具を取付けます。

食洗機ユニットのキッチン端側の側板の指定位置に⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてL金具を取付けます。

2. 食洗機ユニット内の背板からΦ4の下穴を開けます。

3. 食洗機ユニットの側板に取付けたL金具から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてH720フロントパネルを固定します。

4. 食洗機ユニット内から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通して、H720フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。



H750フロントパネルの取付け 1

※ ワークトップ奥行き750mmにフロントパネルを取付ける場合、H750フロントパネルを使用します。

1. ユニット奥行き555mmの場合、H750フロントパネルの裏面にスペーサーユニットを取付けます。

(図1)

スペーサーユニットの指定位置（下図参照）にΦ4の下穴を開け、ユニットの間口位置に合わせて⊕バインドタッピンネジ3.5×30にて取付けます。

2. ユニットの背板背面下部にt=18mmスペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。（図2）

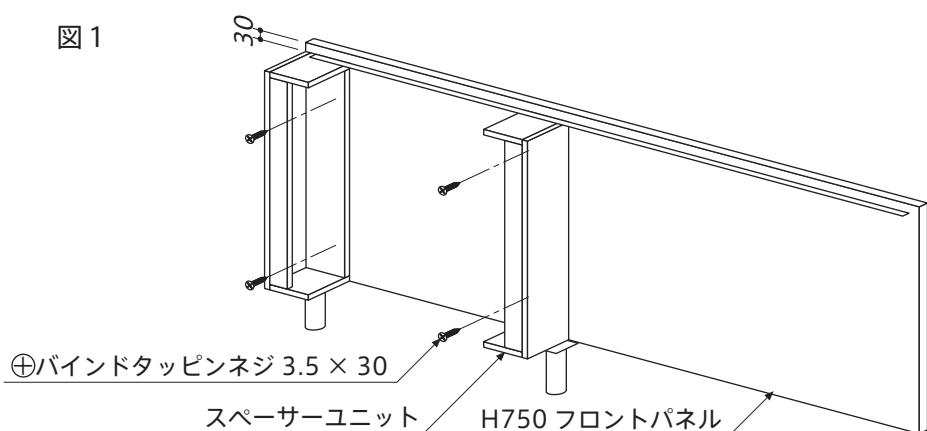
3. ユニットの背板棧と仮止めしたt=18mmスペーサーの指定位置にユニット内の背板からΦ4の下穴を開けます。（図2）

4. ユニット内から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通して、H750フロントパネルおよびスペーサーユニットを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。（図2）

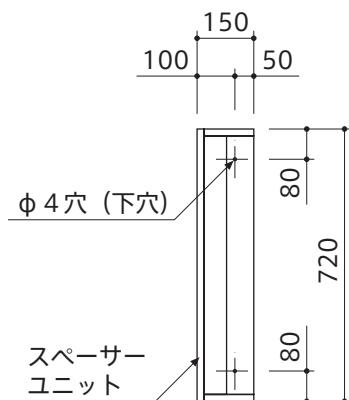
※ H750フロントパネルには高さ位置合わせのための耳が付いています。

この耳部分をユニットの背板にのせて位置を決めるときには、作業性が良くなります。

図1



スペーサーユニット取付位置



H750 フロントパネル

4.8

ノルシール（防水処理）

耳

フロア
ユニット

H750 フロントパネル

奥行き 705 mm
ユニット

A部詳細図

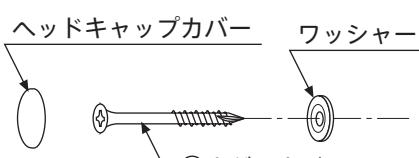
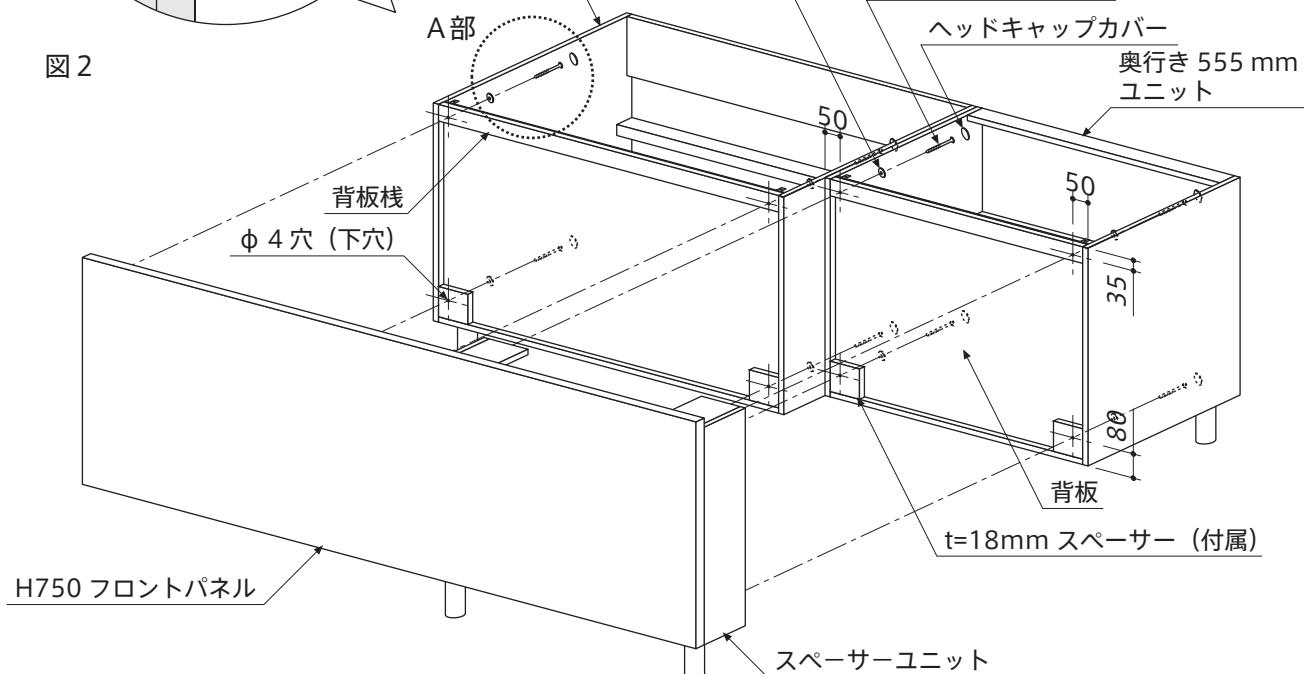


図2



H750フロントパネルの取付け 2

5. ユニットにワークトップをのせ、図3
ユニット内から固定します。

(図3)

※ ワークトップの固定方法は、「ワークトップの取付け」を参照のこと。

※ H750フロントパネルに取付いているノルシールが2mm程度につぶれるまで押しつけて固定してください。(図4)

※ ワークトップに付属のシール材は破棄してください。

6. ワークトップとH750フロントパネルの隙間をシーリングします。(図4)

※ H750フロントパネルが分割している場合、接合箇所の隙間はしっかりシーリングしてください。

(図5)

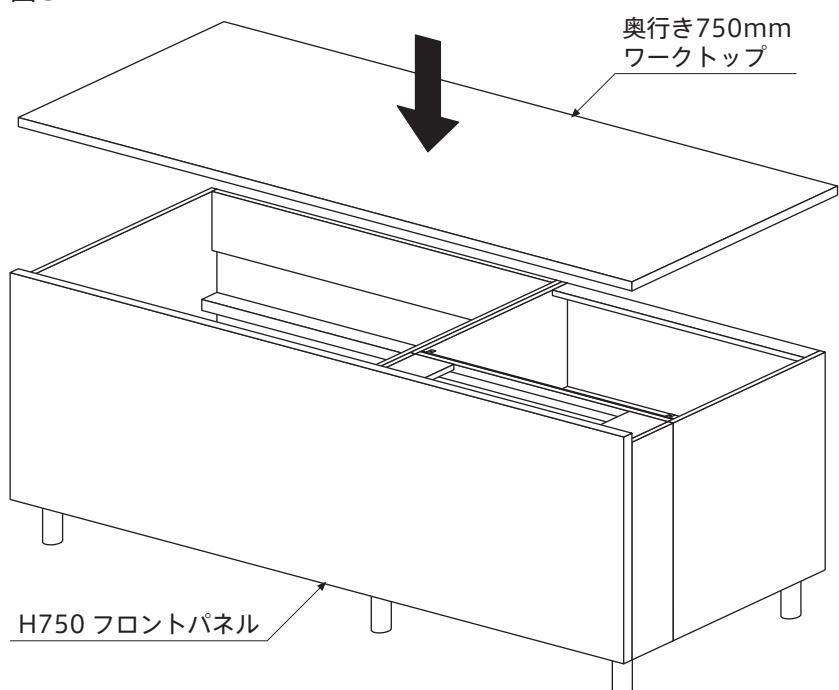


図4

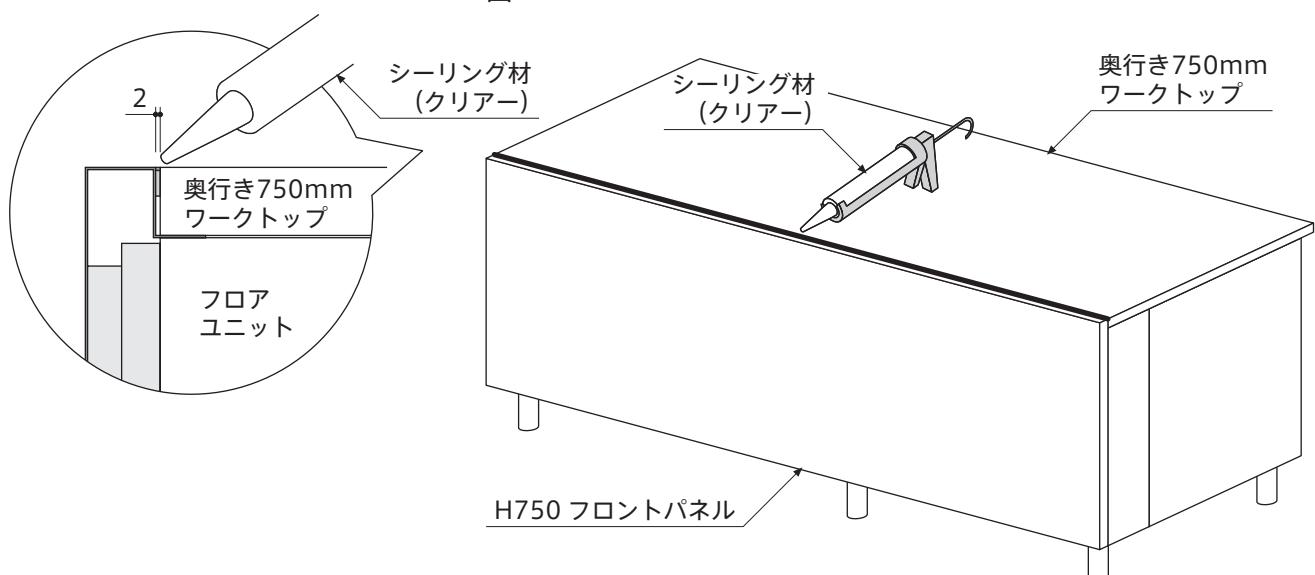
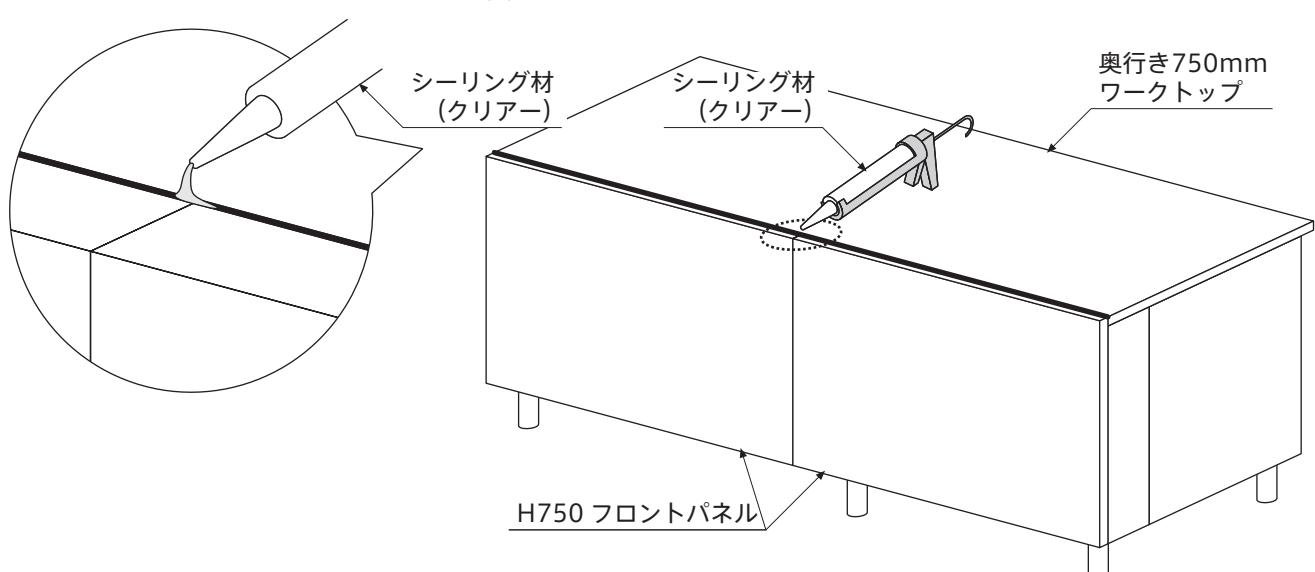
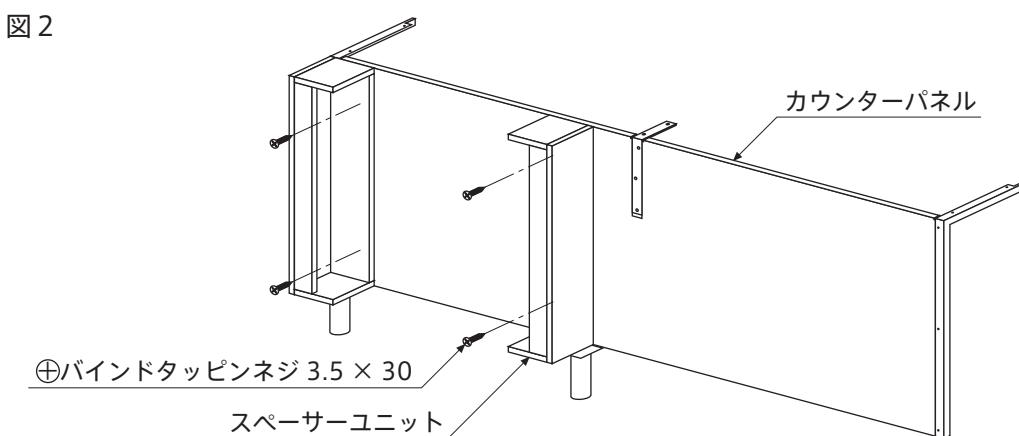
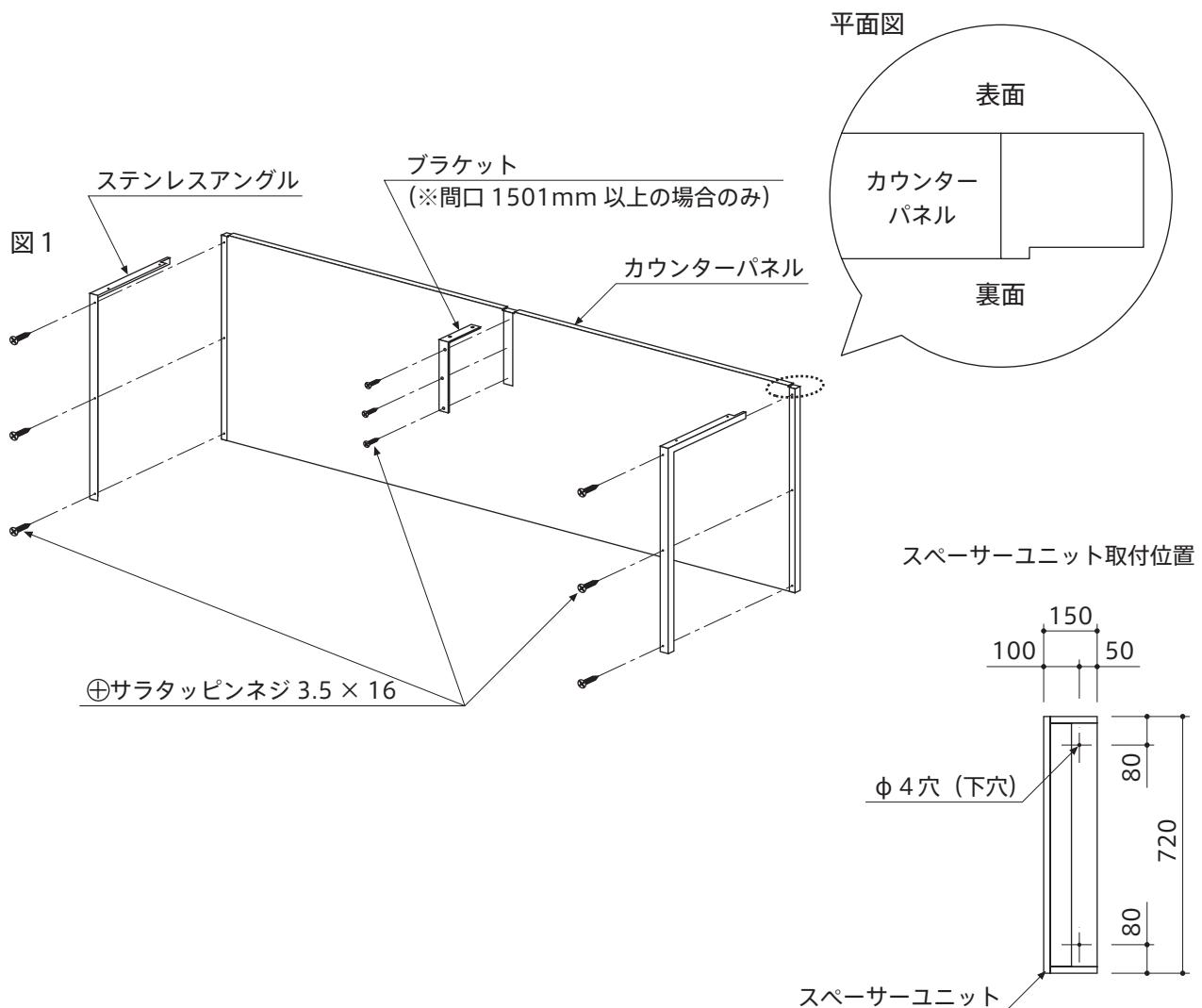


図5



カウンターパネルの取付け 1

1. カウンターパネル裏面からステンレスアングルを⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けます。 (図1)
2. カウンターパネル裏面からブラケット (間口1501以上の場合のみ) を⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けます。 (図1)
ブラケットは間口1501mm~2100mmの場合1本、間口2101mm~2400mmの場合2本、間口2401mm~2700mmの場合4本取付けます。
3. ユニット奥行き555mmの場合、カウンターパネル裏面にスペーサーユニットを取付けます。 (図2)
スペーサーユニットの指定位置 (下図参照) にΦ4の下穴を開け、ユニットの間口位置に合わせて⊕バインドタッピンネジ3.5×30にて取付けます。



カウンターパネルの取付け 2

4. ユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。 (図3)
 5. ユニットの背板棧と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペーサーの指定位置にユニット内の背板から $\phi 4$ の下穴を開けます。 (図3)
 6. ユニット内から \oplus ナゲシネジ 3.8×38 にワッシャーを通して、カウンターパネルおよびスペーサーユニットを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。 (図3)
 7. ワークトップを固定します。 (図4)
- ユニットにワークトップをのせ、ブラケットから \oplus サラタッピンネジ 3.5×16 にてワークトップを固定します。
- ※ ユニットからのワークトップの固定方法は、「ワークトップの取付け」を参照のこと。

A部詳細図

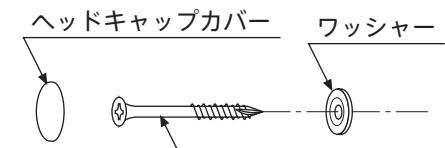
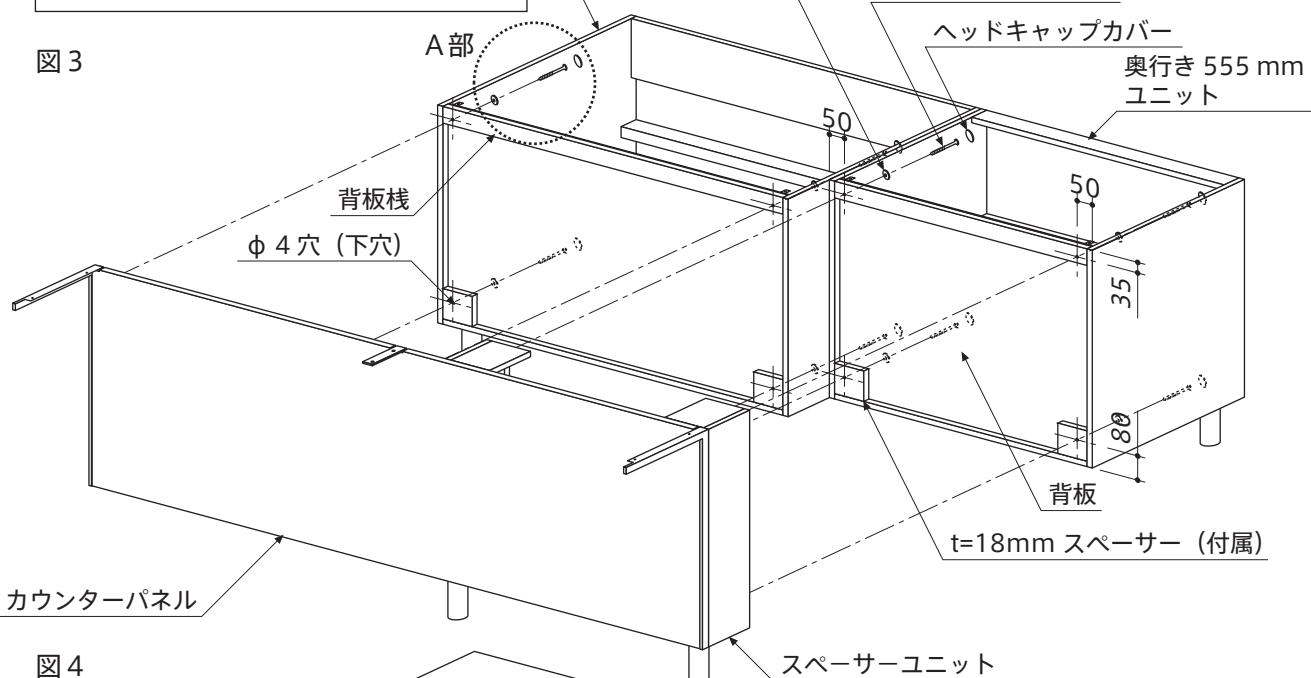
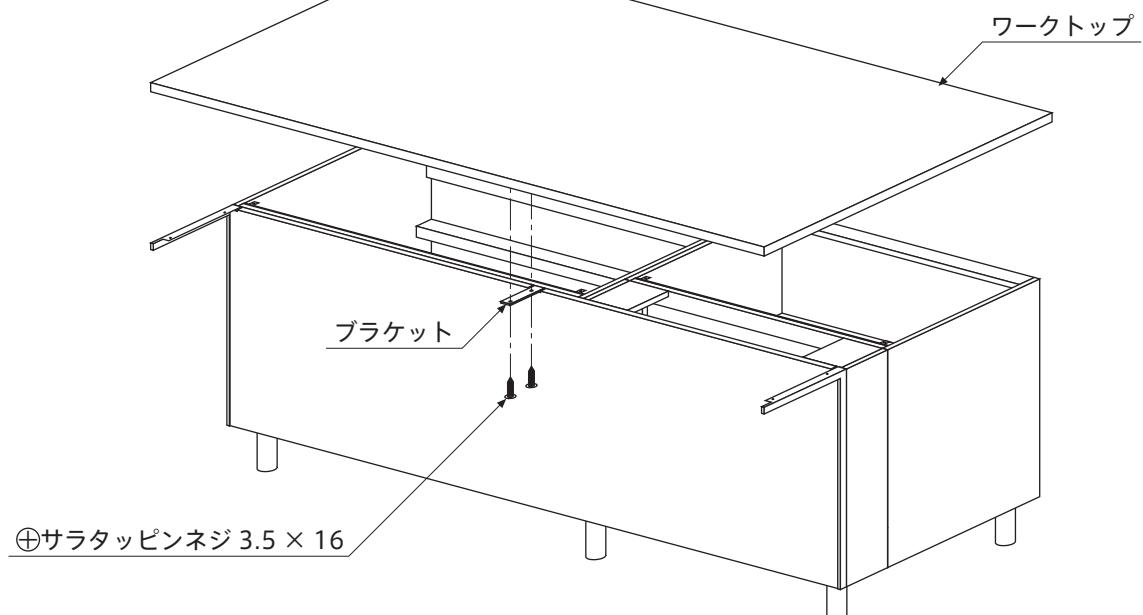


図3



カウンターパネル

図4



カウンターパネルの取付け 3

8. ワークトップ裏面に前見付を \oplus サラタッピンネジ3.5×35にて取付けます。 (図5)
 9. ステンレスアングルから \oplus サラタッピンネジ3.5×16にてワークトップを固定します。 (図5)
- ※ 前見付との間に隙間ができないように固定します。

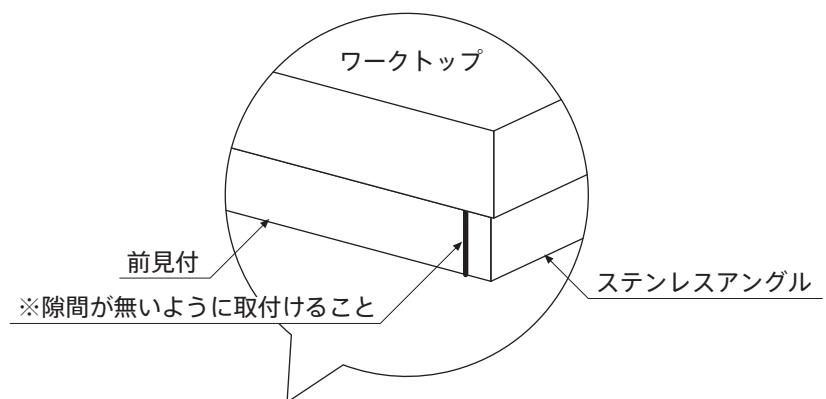


図5

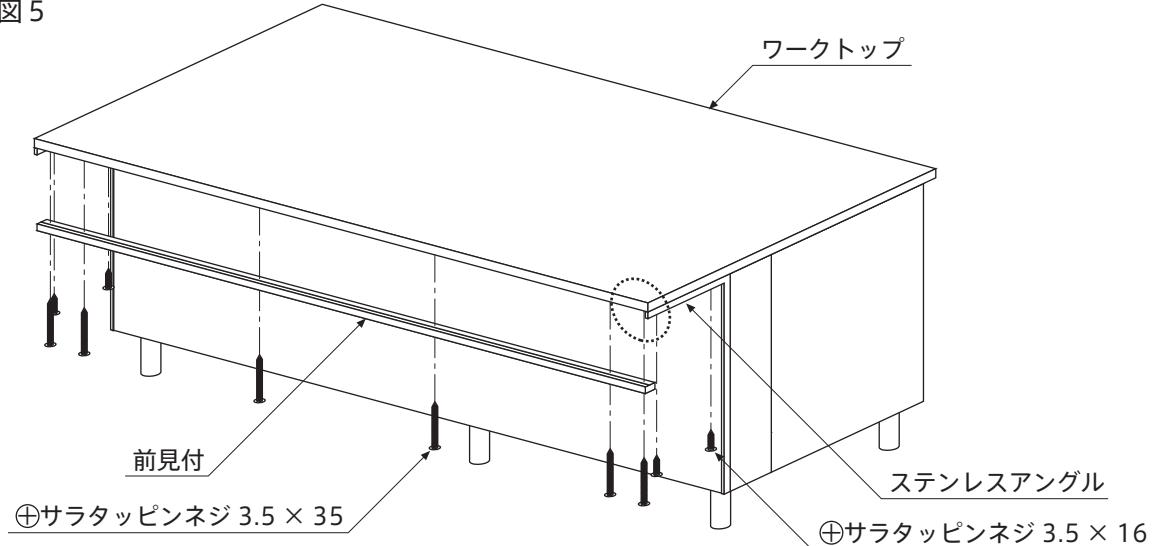
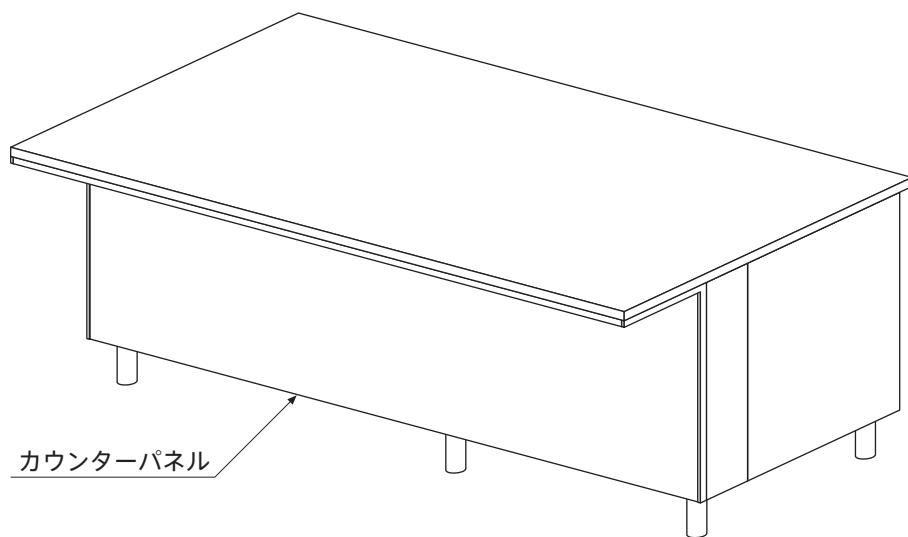


図6



ワークトップの取付け（壁付けタイプの場合） 1

- ・シンクユニットおよび上面操作加熱機器ユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、壁へ押し付けながらワークトップ裏面の指定位置に⊕バインドタッピンネジ3. 5×16にてL金具を取付けてください。ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に⊕サラタッピンネジ3. 0×16にてL金具を固定してください。（図1、3、4）
- ※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。
- ・食洗機ユニットの場合、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてワークトップと固定してください。（図2）
- ・その他のフロアユニット前面は、上棧に開いているΦ4穴から⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（図1、5）
- ・ユニット後面は、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてワークトップと固定してください。（図1、4、5）
- ・人大ワークトップで間口450mm以下のユニットがキッチンの端にくる場合、ユニット後面のL金具を端から43mmの位置にずらしてワークトップと固定してください。（図3）

図1

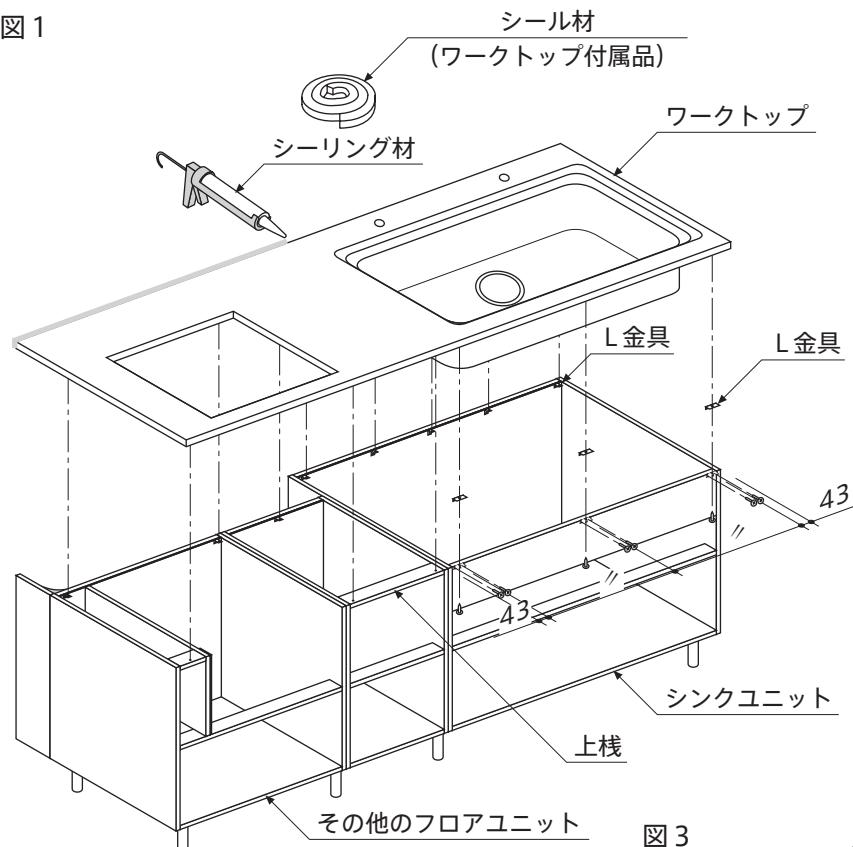


図3

図2

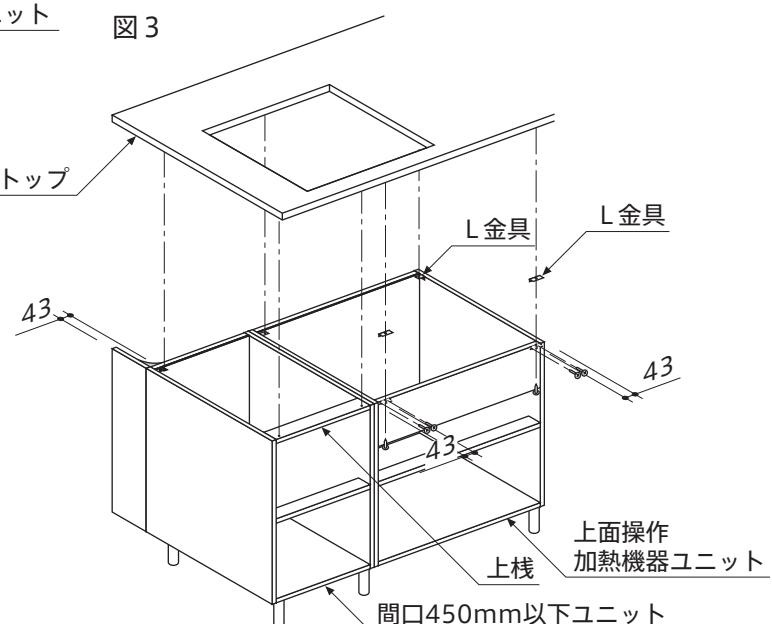
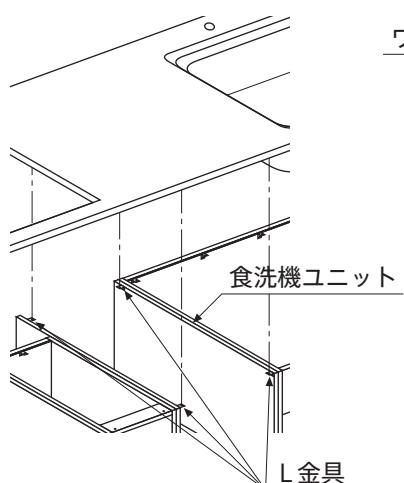
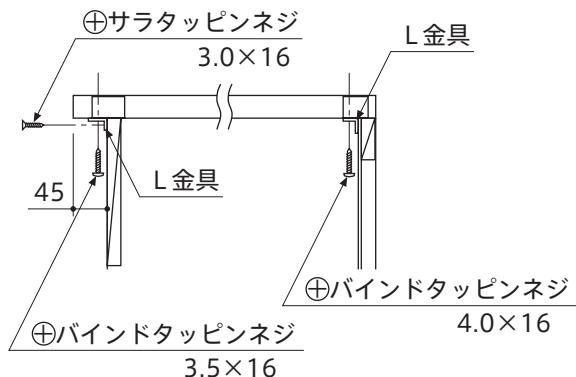


図4

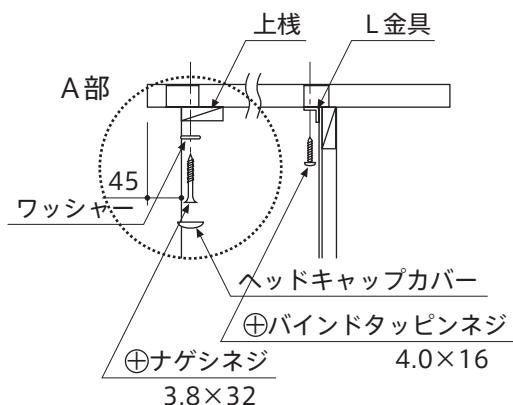
シンクユニット
上面操作加熱機器ユニット



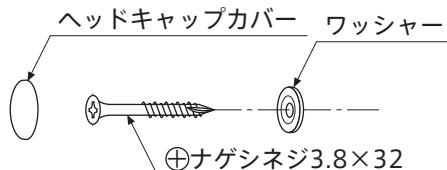
- ⊕ サラタッピンネジ 3.0×16
- ⊕ バインドタッピンネジ 3.5×16
- ⊕ バインドタッピンネジ 4.0×16

図5

その他のフロアユニット
(上面操作加熱機器ユニットを除く)



A部詳細図



※壁面に弊社のバックパネルや背面パネルを取付けない場合は、ワークトップの壁に接する面にシール材（ワークトップ付属品）を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、ワークトップを壁へ押し取付けてください。（図6）
全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周（縦目地も含む）をシーリングしてください。（図7）

図6 車体工事壁

（他社キッチンパネル）
（タイル壁面） 等

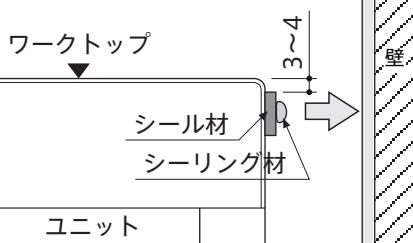
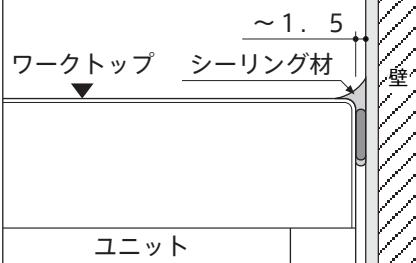


図7 車体工事壁

（他社キッチンパネル）
（タイル壁面） 等



ワークトップの取付け（アイランドタイプの場合） 3

- ・シンクユニットおよび上面操作加熱機器ユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、ワークトップ前面からユニット前面まで45mmになるように位置を合わせながら、ワークトップ裏面の指定位置に⊕バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けてください。ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に⊕サラタッピンネジ3.0×16にてL金具を固定してください。（図7、9、10）

※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

- ・食洗機ユニットの場合、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定してください。（図8）
- ・その他のフロアユニット前面は、上棧に開いているΦ4穴から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（図7、11）
- ・ユニット後面は、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定してください。（図7、10、11）
- ・人大ワークトップで間口450mm以下のユニットがキッチンの端にくる場合、ユニット後面のL金具を端から43mmの位置にずらしてワークトップと固定してください。（図9）
- ・オープンカウンターの場合、H720フロントパネルに取付けたL金具から⊕サラタッピンネジ3.5×16にてワークトップを固定してください。（図7）

図7

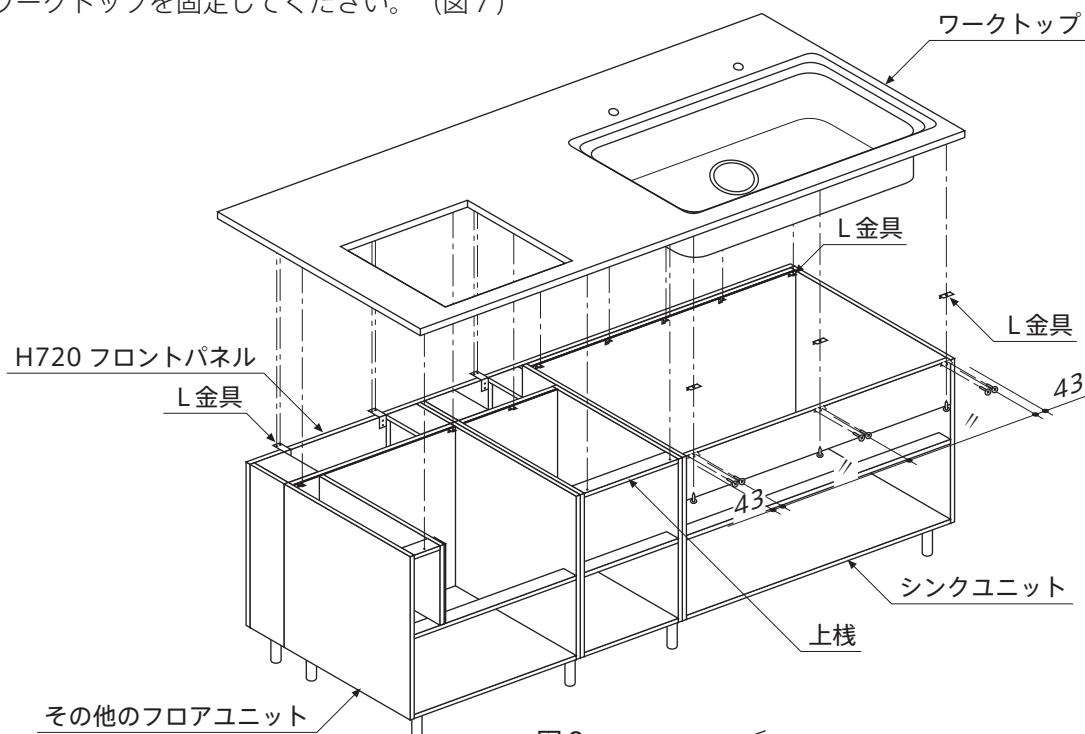


図9

図8

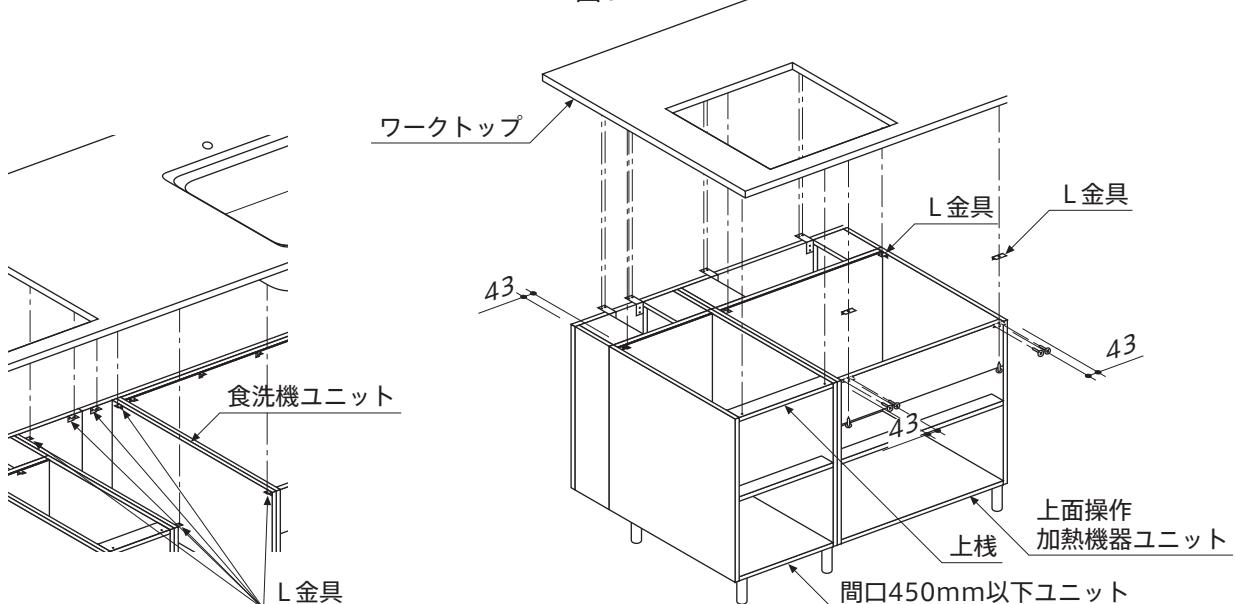


図10 シンクユニット
上面操作加熱機器ユニット

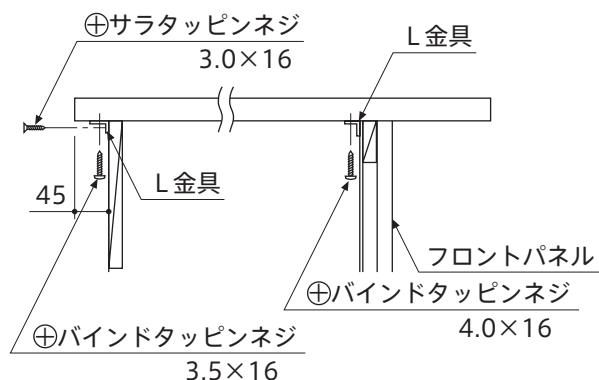
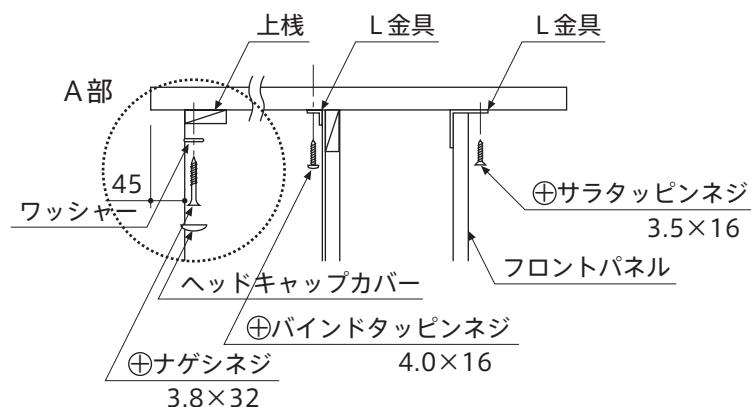
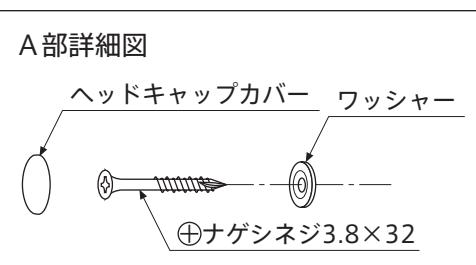


図11 その他のフロアユニット
(上面操作加熱機器ユニットを除く)

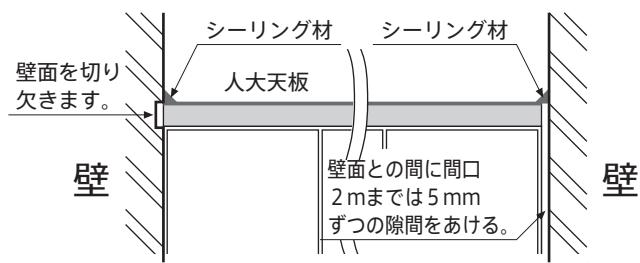


- ⊕サラタッピングネジ 3.0(3.5)×16
- ⊕ ボルト
- ⊕バインドタッピングネジ 3.5×16
- ⊕ ボルト
- ⊕バインドタッピングネジ 4.0×16
- ⊕ ボルト



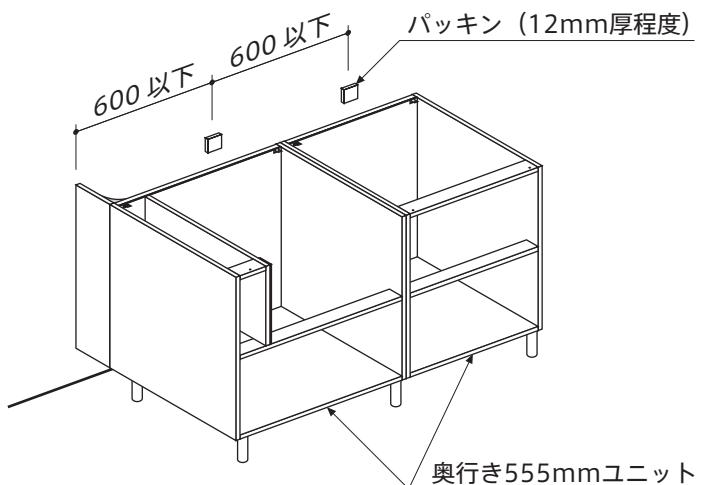
人工大理石ワークトップの施工上のご注意

人工大理石は熱により膨張します。壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2mまでは5mmずつの逃げ、以後1mごとに+3mmずつの逃げを設けてください。壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁面の間に間口2mまでは5mmずつの隙間、以後1mごとに+3mmずつの隙間をあけて、天板を逃がすようなレイアウトにしてください。人大天板と壁との隙間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



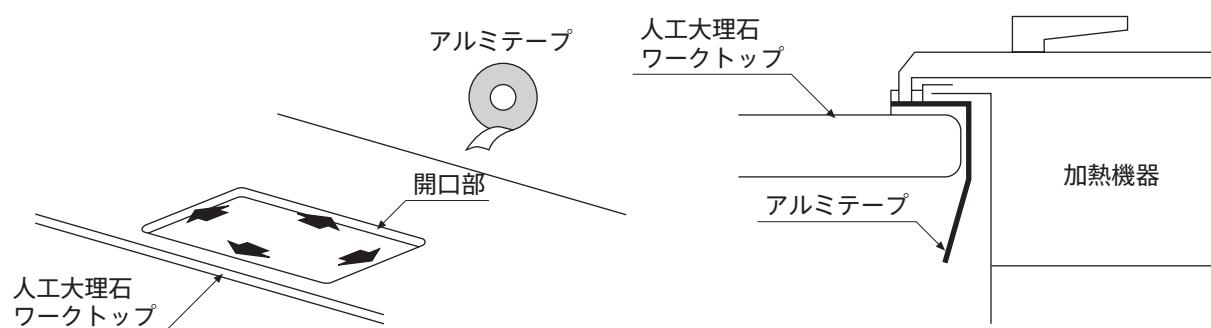
人工大理石ワークトップ施工前の準備

- 奥行き750mm壁付けタイプ人大ワークトップを取り付ける際に、奥行き555mmのユニットを設置する場合は、ユニット上面と同じ高さに12mm程度のパッキンを600mmピッチ以下で壁面に取付けてください。奥行き750mmユニット部分には必要ありません。



加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）

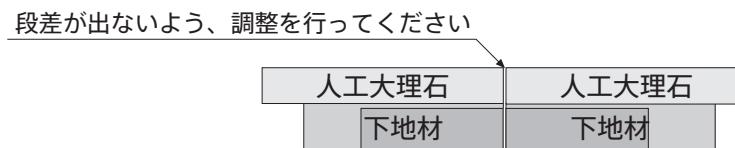
- 人大ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人大ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。
※アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。
※加熱機器は開口部の中心に設置し、人大ワークトップに接触させないでください。



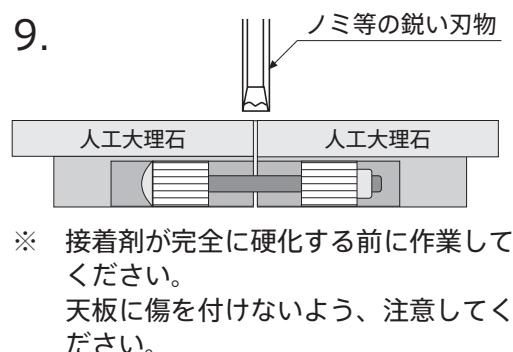
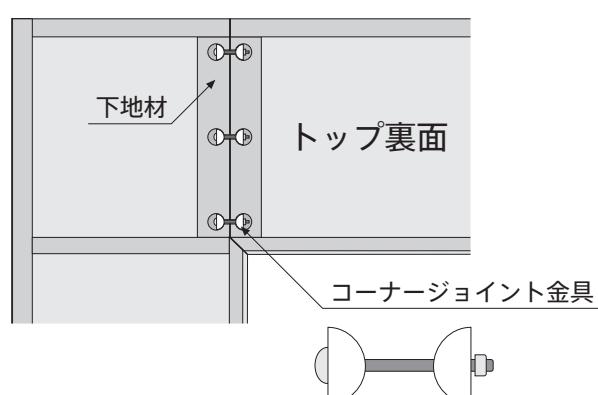
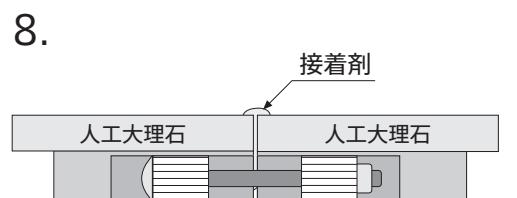
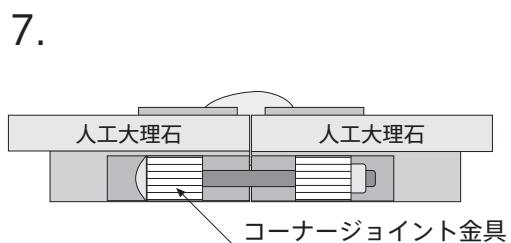
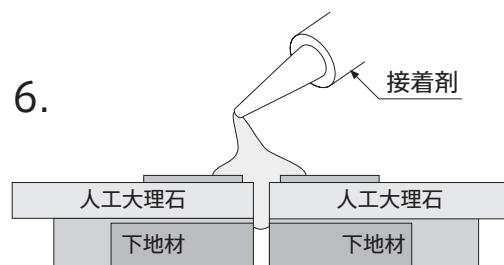
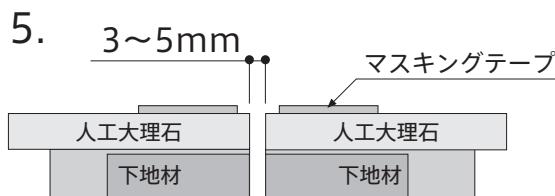
人工大理石ワークトップの取付け

■ L型天板の連結

1. フロアユニットを据付けてレベルの確認をします。
2. 天板をセットして、L型の片側をフロアユニットに取付けます。（固定側とする）
3. もう片側の天板をフロアユニットの上にのせます。（この時には固定しません）
4. すり合わせを行い、2つの天板の段差がなくなるよう、調整してください。



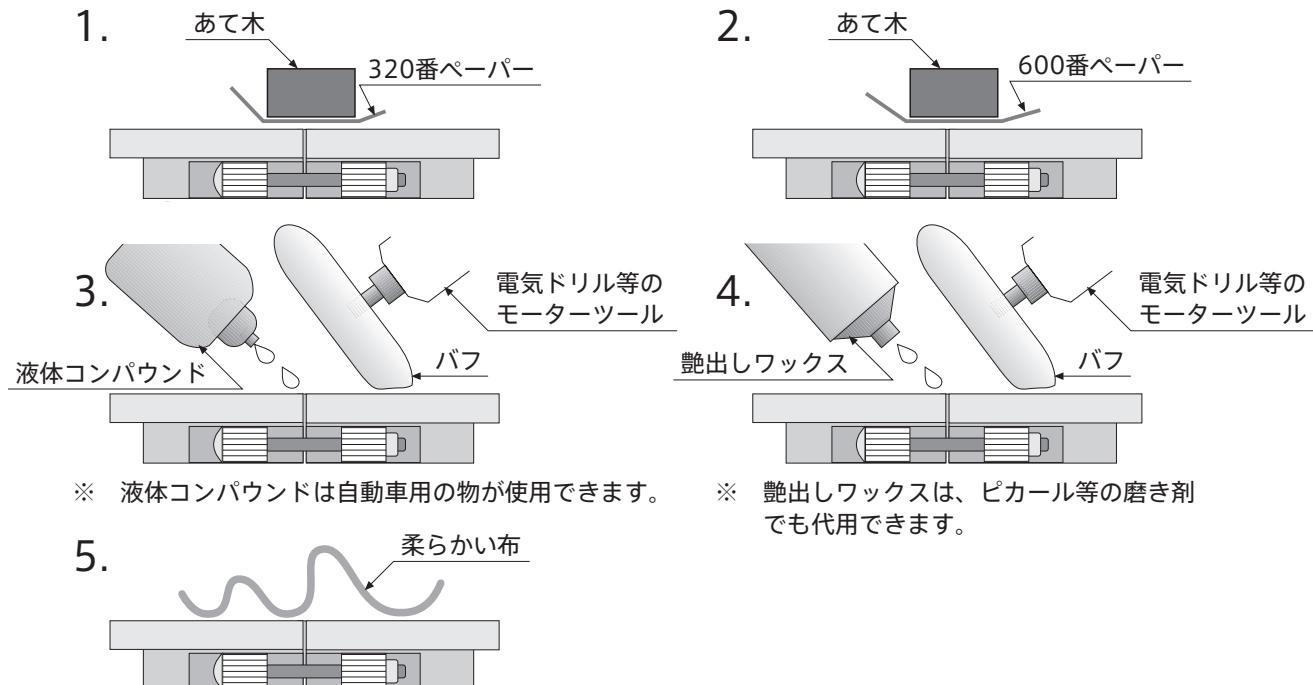
5. イソプロピルアルコール（イソプロパノール）または水を使用して、接着部を掃除、脱脂し、十分に乾燥させてください。シンナー・ベンジンは接着力が低下しますので使用しないでください。天板上面に、マスキングテープを貼り付けます。
6. 天板の間に3～5mmほどの隙間を開けておき、接着剤（別売品）を流し込みます。
7. コーナージョイント金具を締め込み、天板どうしを固定します。接着剤が全て押し出されてしまうような過多のクランプ圧力をかけないでください。（奥行き600トップ3ヶ所、奥行き750トップ4ヶ所）（奥行き750トップの場合、人大トップ奥のジョイント金具は、コーナーユニットを後ろへずらして固定します。）
8. 接着剤が完全に硬化する前に、マスキングテープを取り除きます。（5～15分で硬化が始まります。）
9. 接着剤が完全に硬化する前に、ノミ等の鋭い刃物ではみ出した接着剤を削り取ります。
(天板に傷を付けないよう、注意してください。)
10. 固定していなかった天板をユニットに固定します。



人工大理石ワークトップ接合部の仕上げおよび補修方法

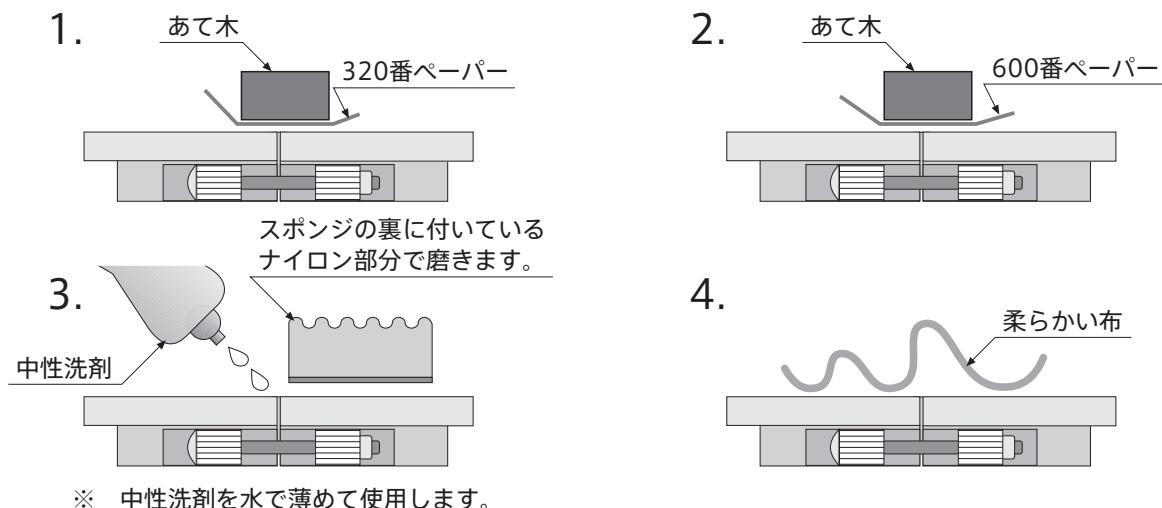
■アクアストーン、ゼリーストーンの場合 【鏡面仕上げ】

- ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
- 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
- 市販の研磨材入り液体コンパウンドを使用し、バフをかけてください。
- 市販の艶出し用ワックスを使用し、バフをかけます。
- 最後に、きれいな柔らかい布でから拭きして、ワックスを拭き取ります。



■カームストーンの場合 【艶消し仕上げ】

- ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
- 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
- スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨きます。
【食器洗い用のスポンジの裏に付いている、ナイロン部分も使用できます】
- 最後に、きれいな柔らかい布でから拭してください。



パイプラックパーツの取付け 1

- 図2の位置に取付金具を⊕サラタッピンネジ3.5×35にて取付けます。
- ブラケットにパイプを通して取付金具に差し込みます。
- ブラケットの下方ネジを六角レンチで締めて、パイプを固定します。
- パイプの両端にエンドキャップを取り付けます。

図1

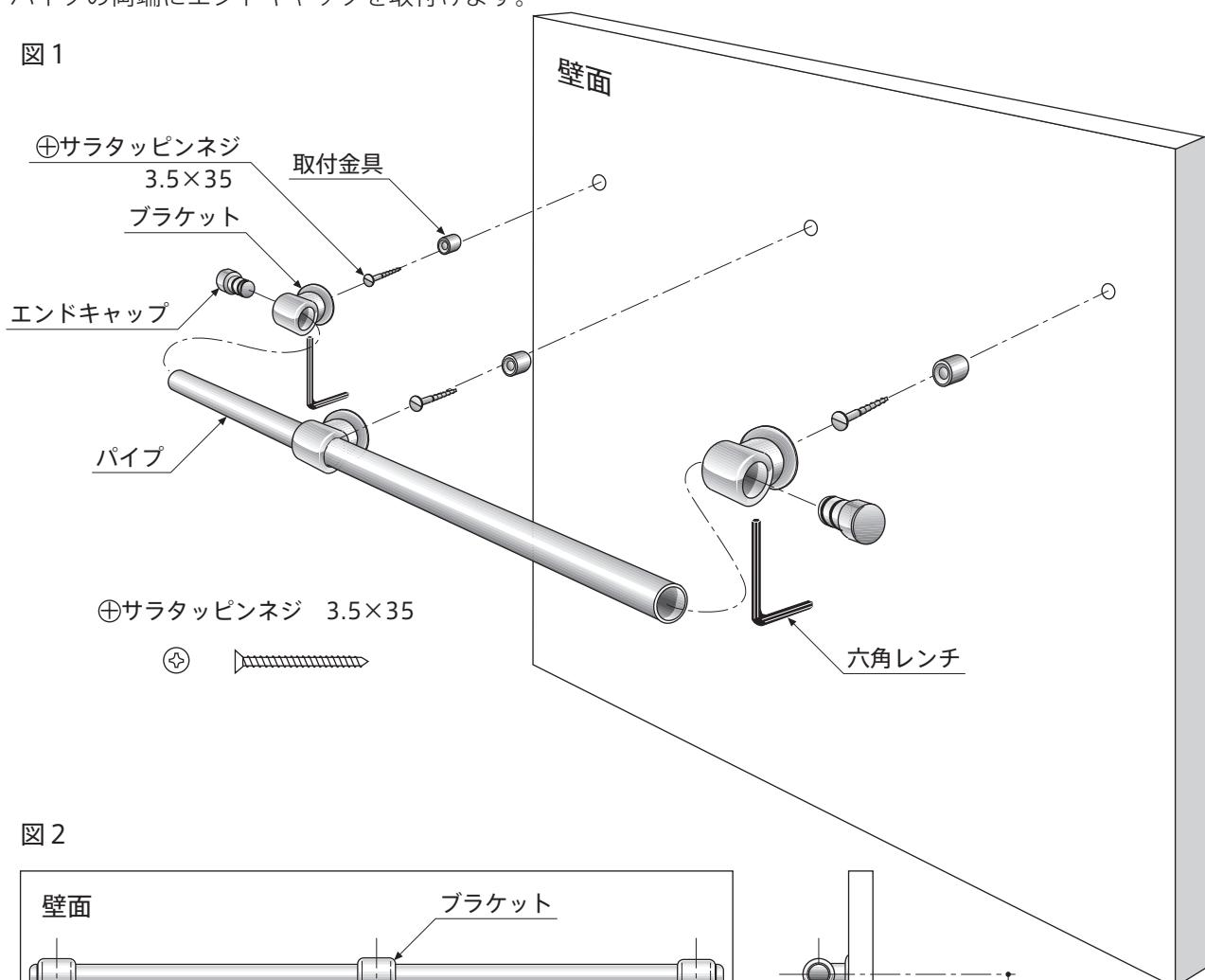
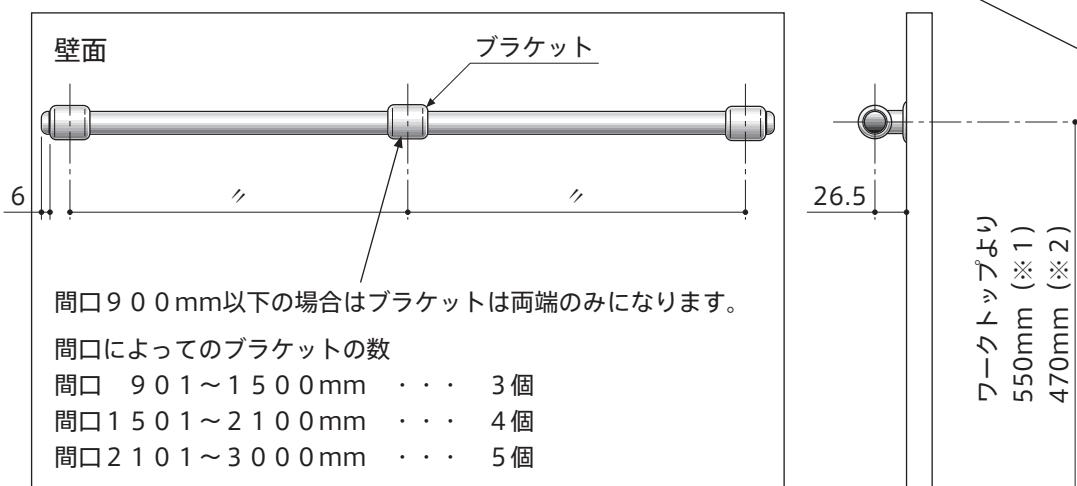


図2



注意！

中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。

またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

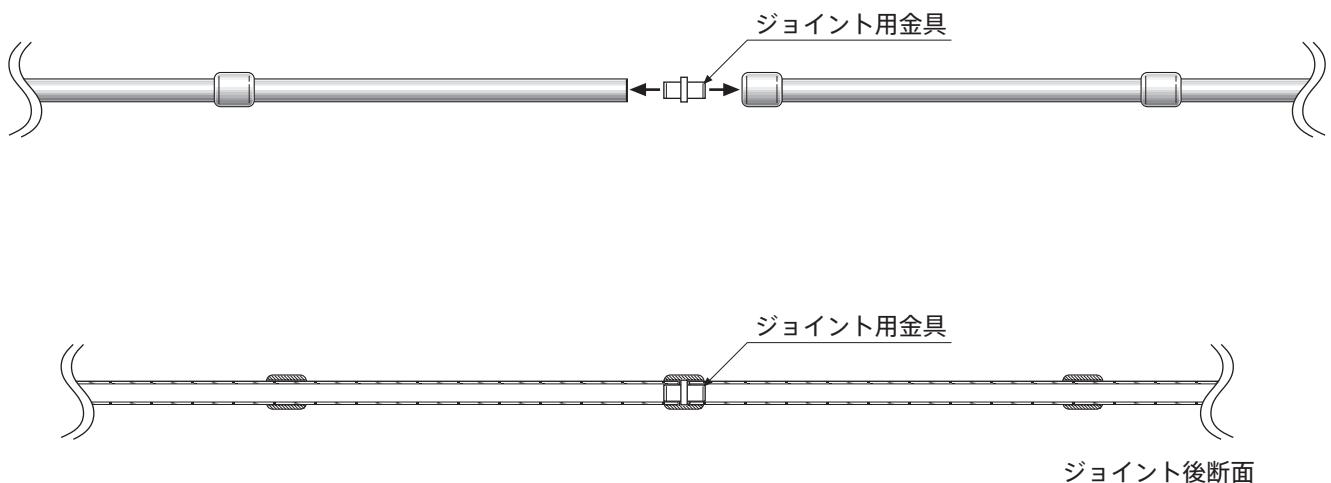
※1

- ウォールユニット
 - ミドルウォールユニット
 - レンジフード
- の下に取付ける場合

※2

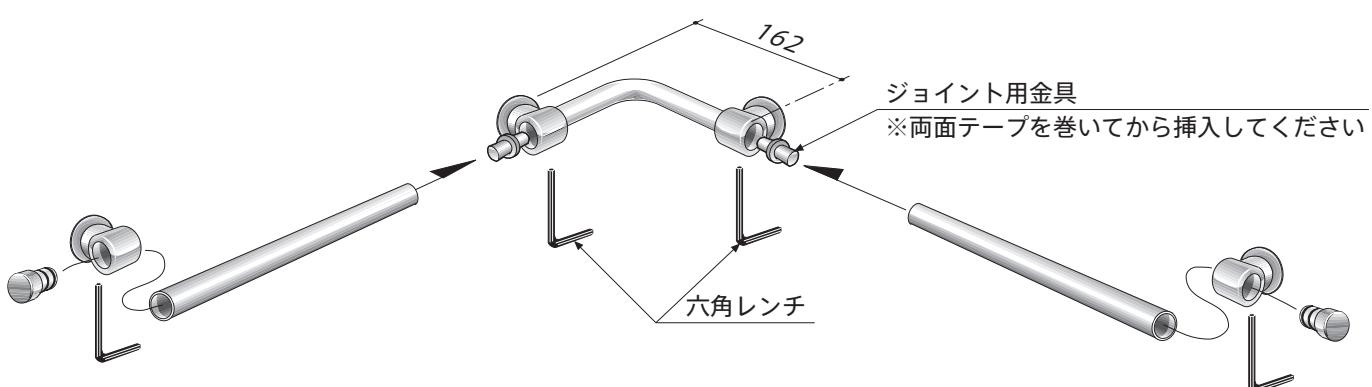
- DOADOA
 - リフティングドアウォールユニット
 - ウイングチップ
 - マルチラップアップ扉ウォールユニット
 - ロングウォールユニット
- の下に取付ける場合

- ・パイプとパイプをジョイントする（直線パイプの延長）



■コーナー用パイプの取付け

- ・イモネジを六角レンチで締めて、コーナー用パイプを固定します。
(コーナー用パイプにつながる側の直線パイプの固定はジョイント用金具に差し込むだけです。)
- ・コーナー用パイプと直線パイプをつなぎ、ブラケットを通してます。壁面に固定した取付金具にブラケットを固定した後、パイプとブラケットの固定をすると施工が簡単です。





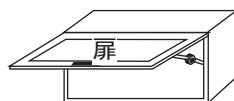
注意

リフティングドアウォールユニットを壁面に取付ける前に、天板面（本体上面）を下にした状態で扉を開けないでください。



床や扉等が傷ついたり、ケガをする恐れがあります。

マルチフラップアップ扉ウォールユニットを施工する際は、扉やフラップステーを絶対に取り外して施工しないでください。



破損して思わぬ事故の原因になることがあります。

※DOADOA、ウイングチップ、スライドドアウォールユニットの取付けについては、付属の「取扱説明書・据付工事説明書」を参照してください。

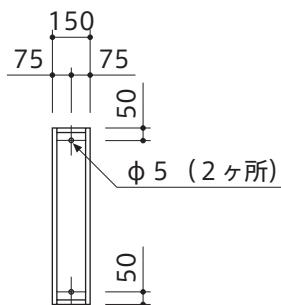
※壁面の取付位置に強度上十分な桟が入っていることを確認してください。

※取付位置は全てネジ固定して、取付け忘れの無いようにしてください。

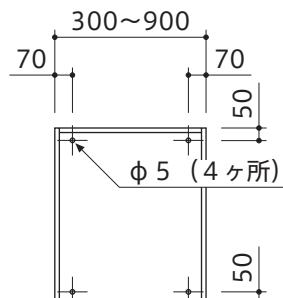
- ユニットを壁面に固定する場合は、 \oplus ナゲシネジ4.2×60にワッシャーを通して、指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

正面図

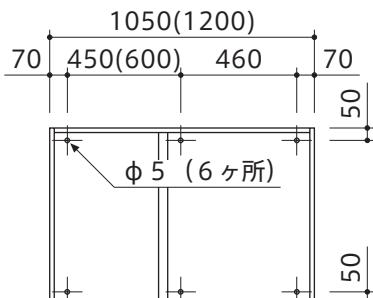
W=150



W=300~900

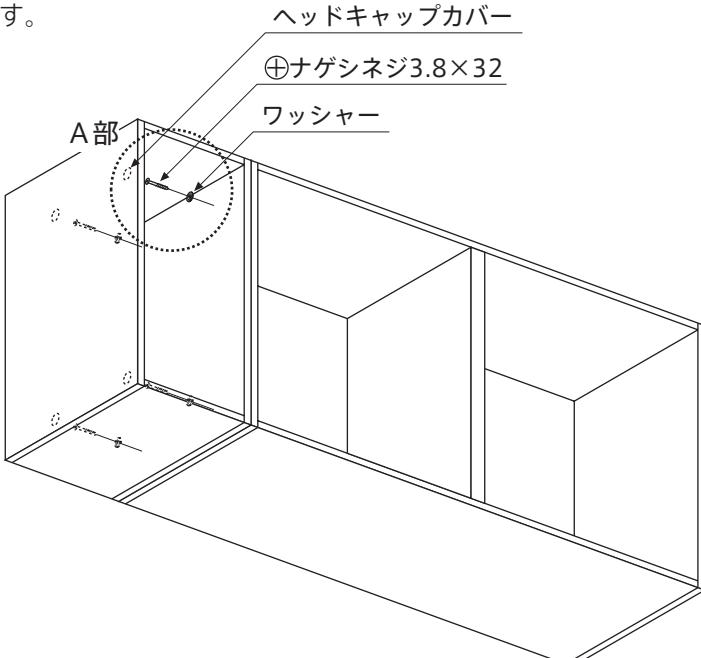
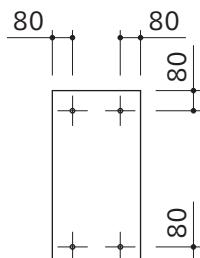


W=1050・1200

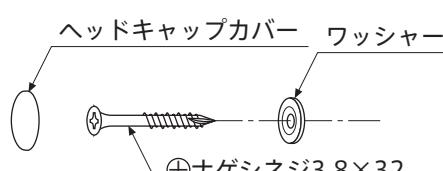


- ユニットどうしを連結する場合は、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、指定位置（4ヶ所）で連結し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

側面図



A部詳細図



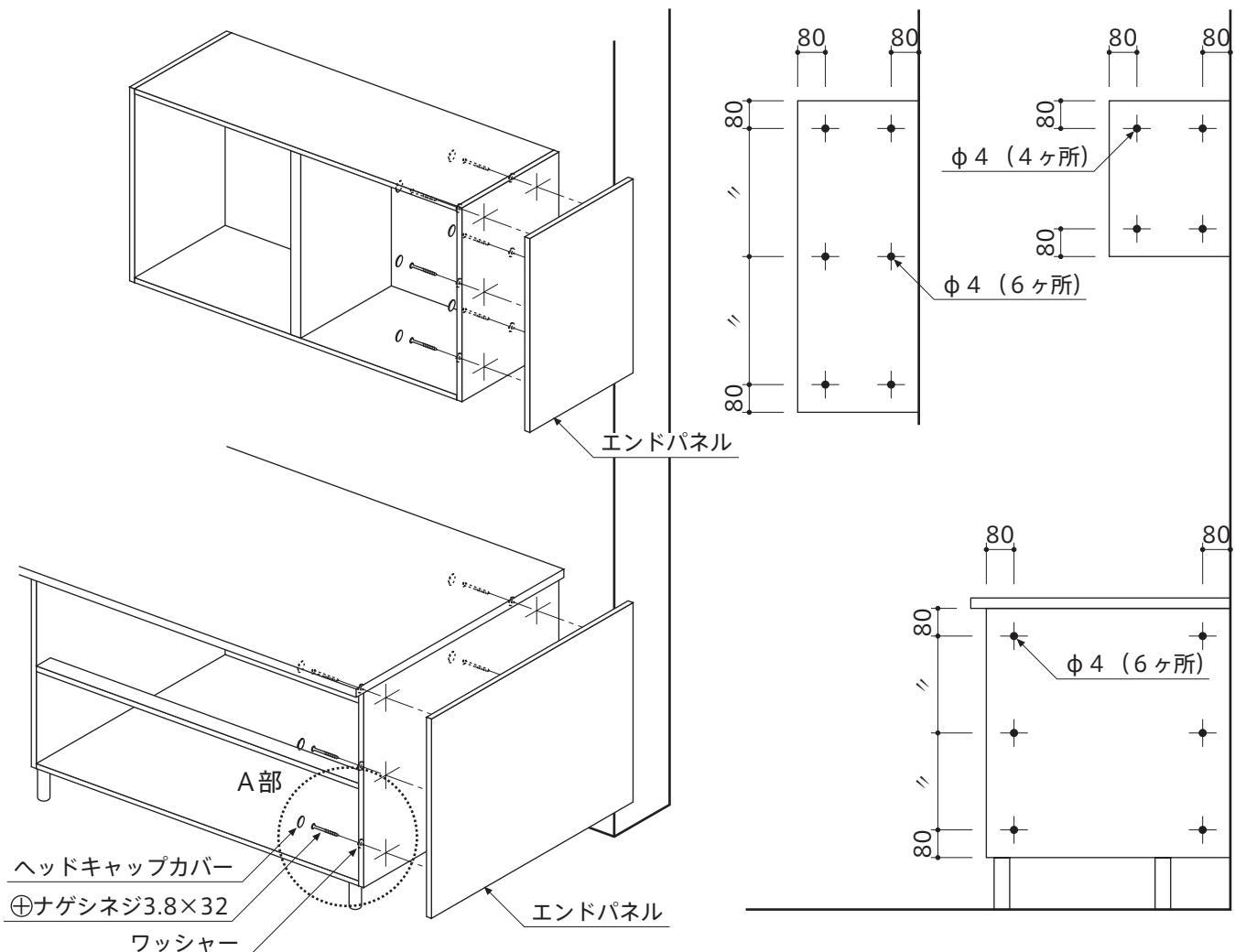
エンドパネルの取付け

- エンドパネルを取付ける場合は、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットの指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

側面図

H=700・900

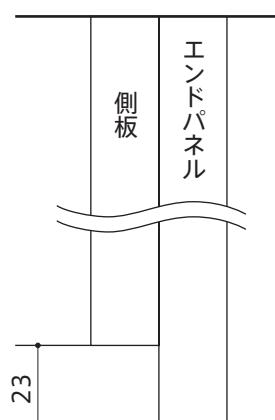
H=450



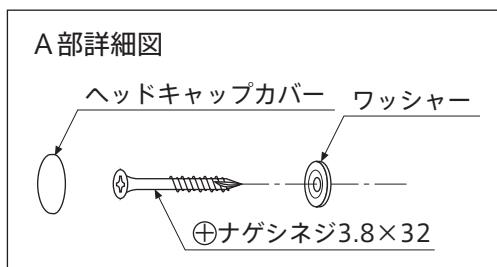
■エンドパネルの位置

- エンドパネルは側板の後面に合わせて取付けます。

平面図



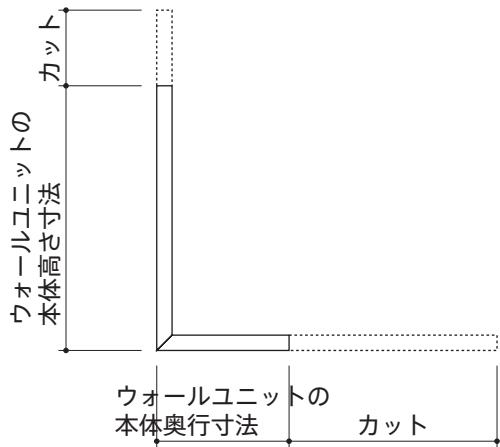
前面



エンドスペーサーの取付け

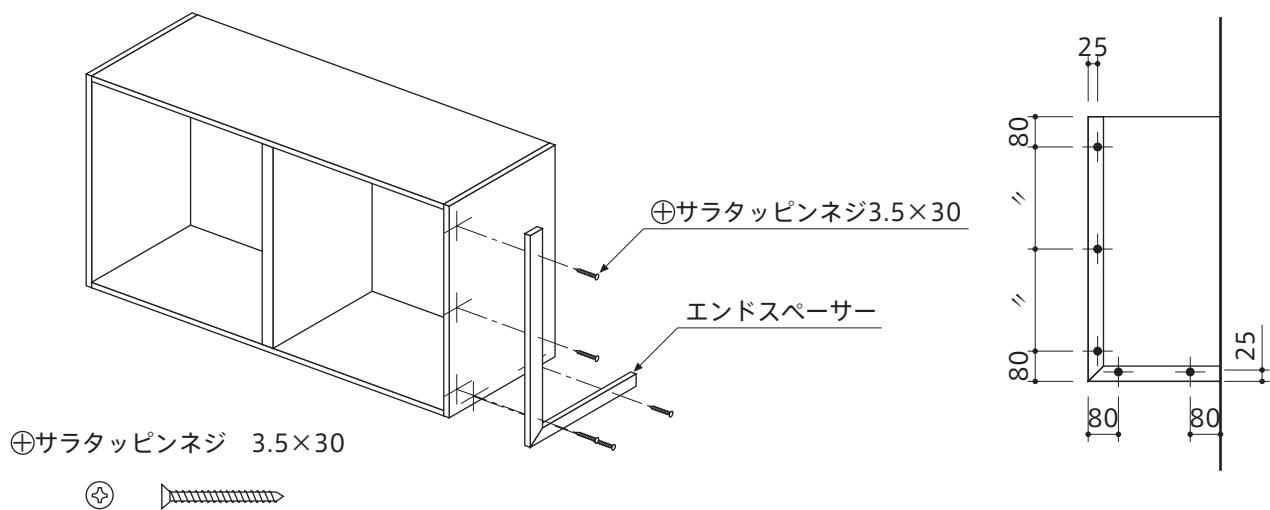
ウォールユニット用

- ・エンドスペーサー部材（L=900）をウォールユニットの本体高さ寸法および奥行寸法にカットしてください。



- ・エンドスペーサーを取付ける場合は、ユニットの指定位置に⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。

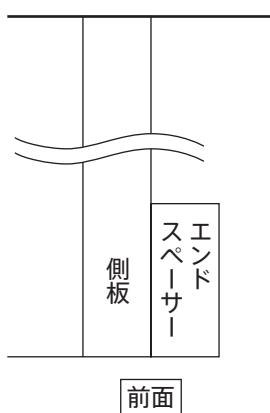
側面図



■エンドスペーサーの位置

- ・エンドスペーサーは側板の前面に合わせて取付けます。

平面図



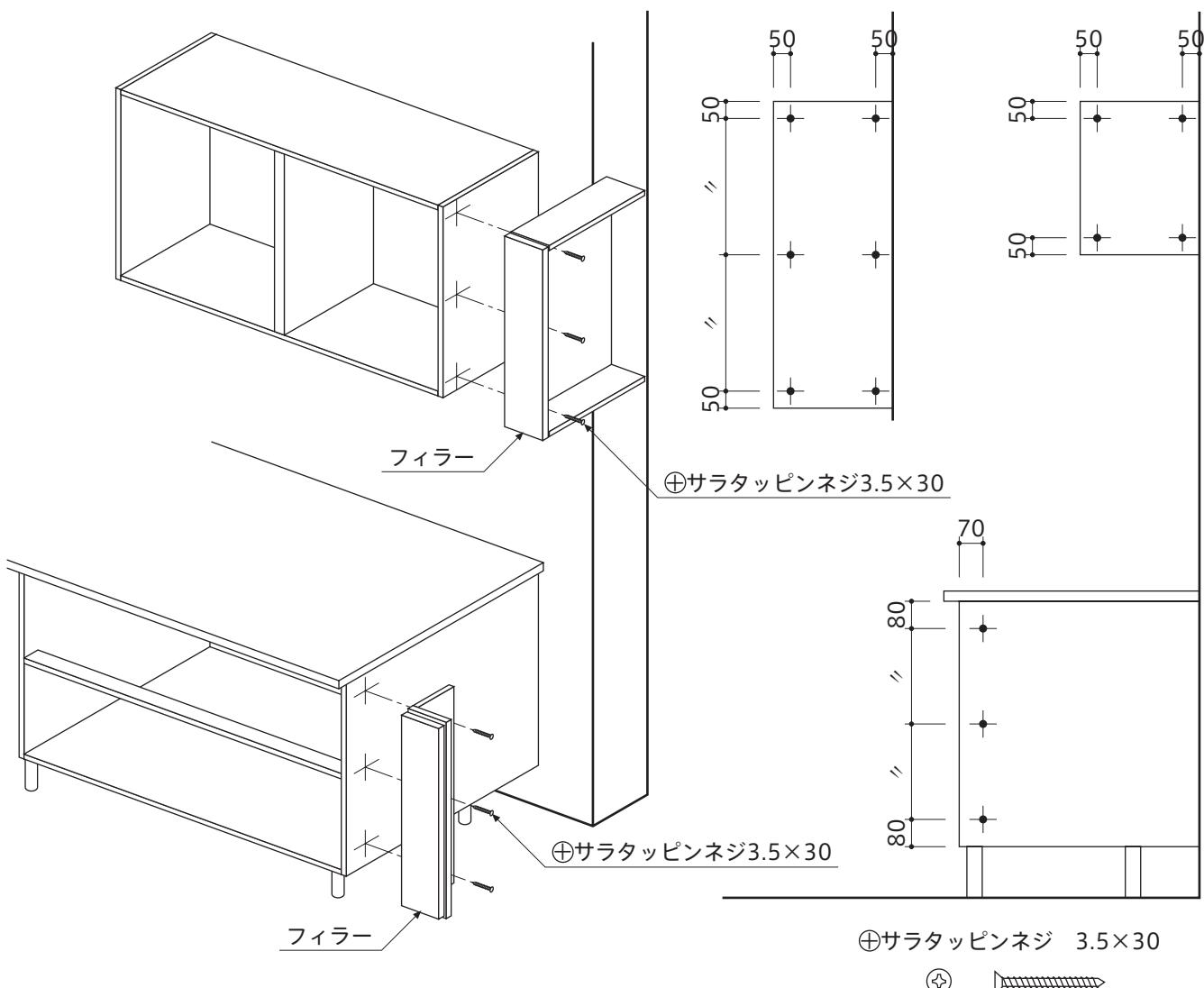
フィラーの取付け

- ・フィラーを取付ける場合は、ユニットの指定位置に⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。

側面図

H=700・900

H=450

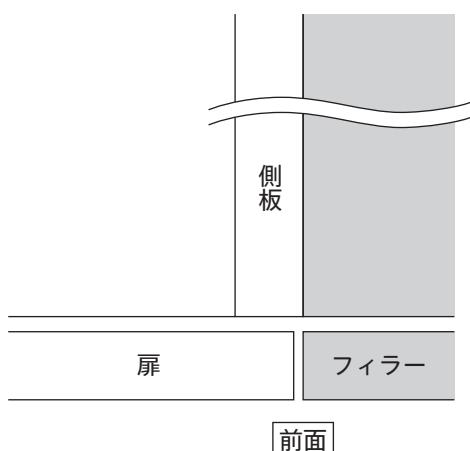


■フィラーの位置

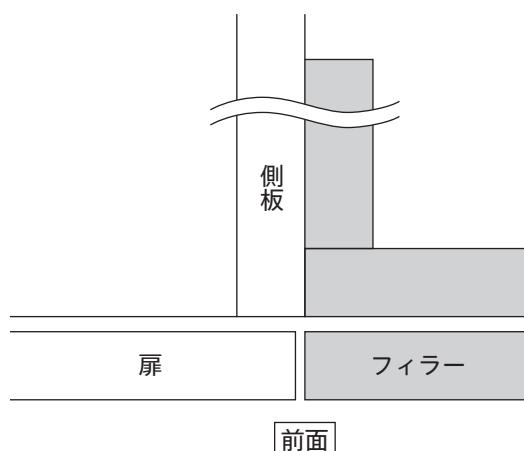
- ・フィラーは扉の前面に合わせて取付けます。

平面図

ウォールユニット



フロアユニット





配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が
行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

図 1

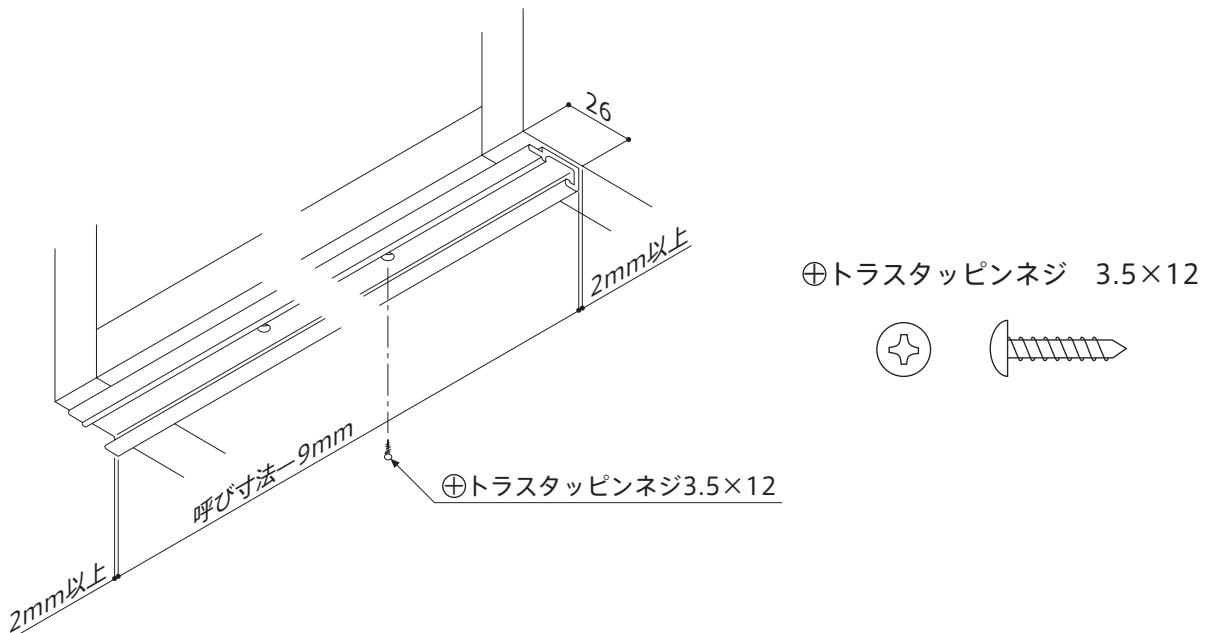
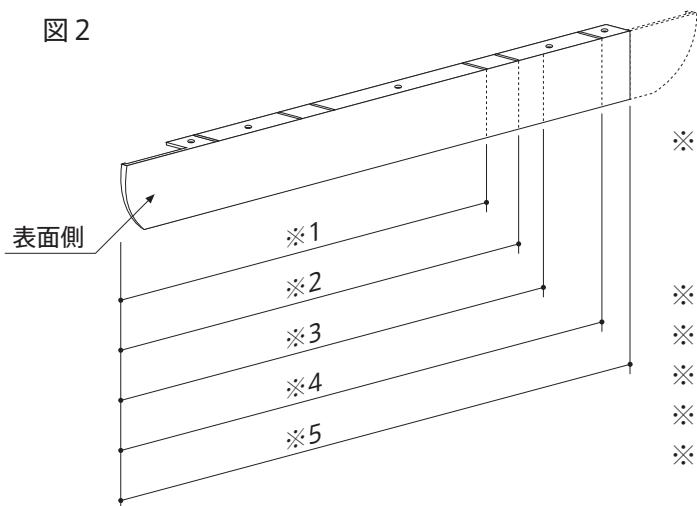


図 2



※当図はR仕様を示し、L仕様は当図と対称とする

※ 1	薄型ウォールユニット用	… 300 mm
※ 2	薄型オープンウォールユニット用	… 322 mm
※ 3	ウォールユニット用	… 350 mm
※ 4	深型ウォールユニット用	… 405 mm
※ 5	深型オープンウォールユニット用	… 427 mm

1. 照明カバーのエッチを付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して、図1の位置に取付けてください。両面テープ（出るだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
注意：ウォールユニット両端より内側に必ず2mm以上の隙間を設けてください。
2. 照明カバー用サイドキャップ（以下サイドキャップ）を図2の寸法に丸ノコ等を使用してカットしてください。

注意1：サイドキャップは1セットにつきR仕様・L仕様が各1枚ずつ必要です。

カットする際は、R仕様（L仕様）ばかり2枚作らないように注意してください。

注意2：サイドキャップをカットする際は、表面側（シボ柄のある面）よりカットしてください。

照明器具・照明カバー [アルミ製] の取付け 2

図3

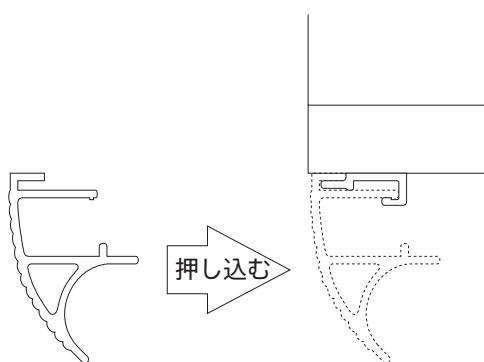


図4

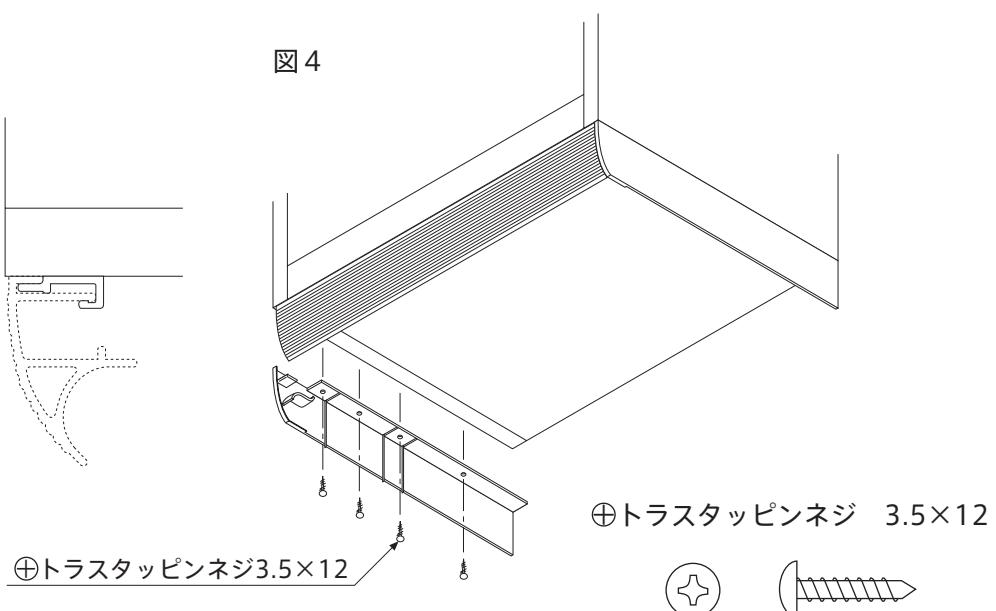


図5

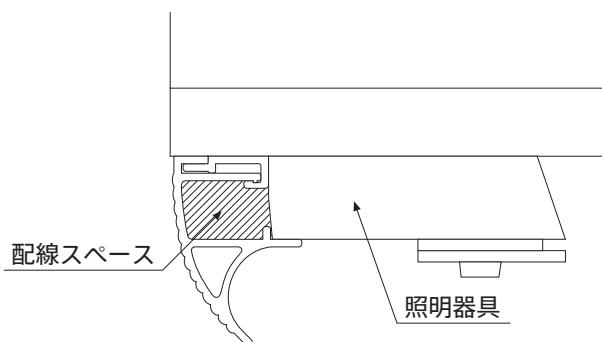


図6

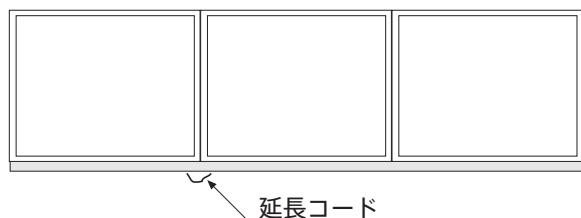


図7

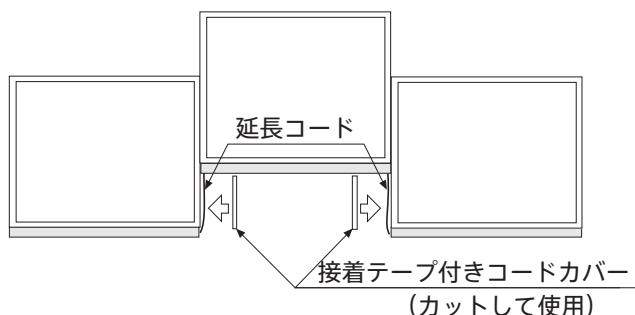
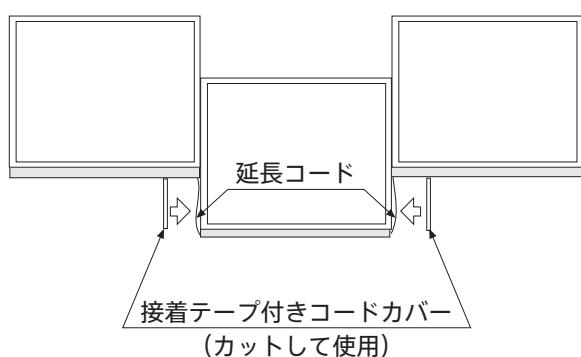


図8



3. 照明カバーを前面より‘パチン’と音がするまで押し込んでください。(図3)

注意：ウォールユニット両端より内側に必ず2mmずつ隙間を設けてください。

4. サイドキャップを付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して取付けてください。(図4)

5. 照明器具を付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して、図5の位置に取付けてください。なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納できます。

注意1：照明器具を2本以上連結する場合、付属の延長コードを使用してください。(図6)

注意2：図7・図8のようにウォールユニットの底面が段違いになっている場合には、コードカバーを使用して延長コードを保護してください。

照明器具・照明カバー [ステンレス製] の取付け 1

1. 照明カバーを付属の⊕トラスタッピンネジ3. 5×12にて図1の位置に取付けてください。
照明カバーはユニット前面（扉を含まない）および側面より0～2mm入った位置で取付けます。
なお、両面テープ（出るだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
- ※ DOADOAの場合、前面より30mm、側面より0～1mm入った位置で取付けます。（図2）
2. サイドキャップは壁面パネルがある場合と無い場合で長さが異なります。（図3・図4）
- ※ DOADOAの場合、サイドキャップはありません。（図5）

図1

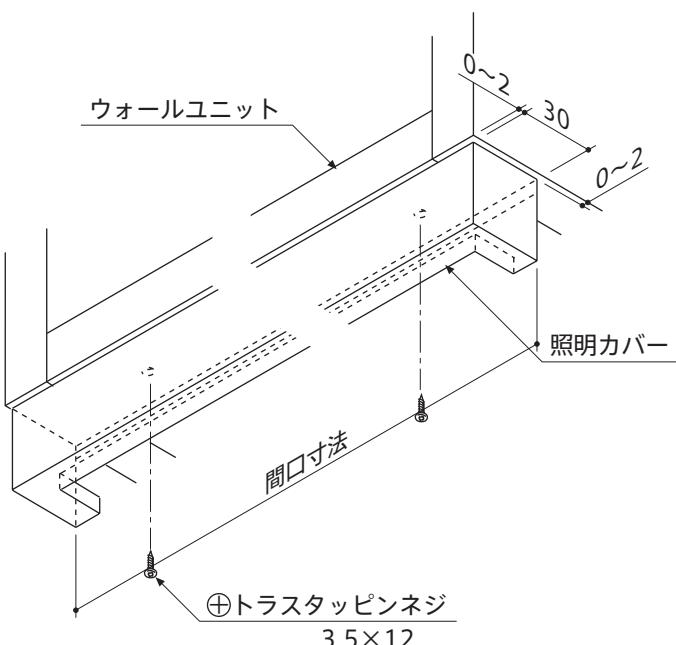


図2

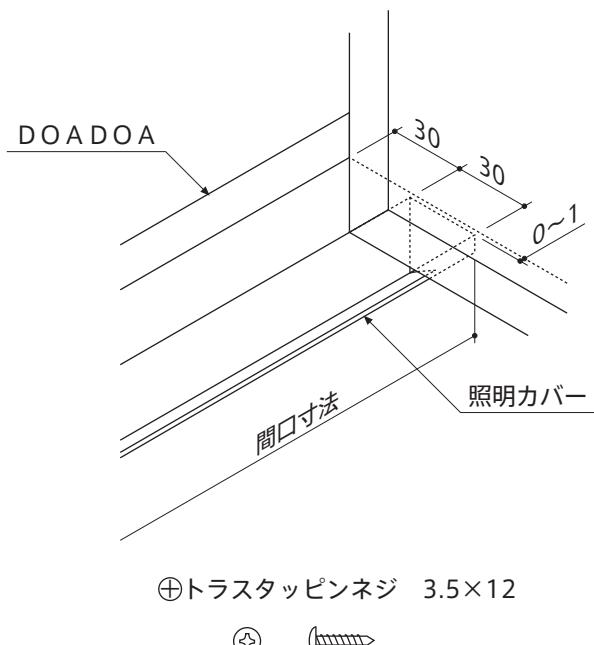


図3

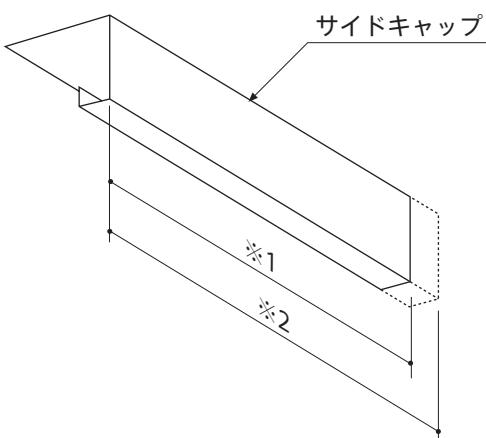
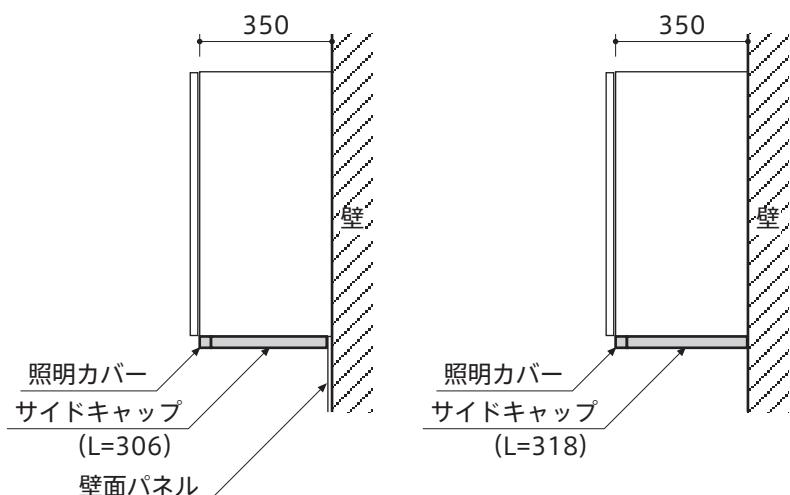


図4 ウォールユニット



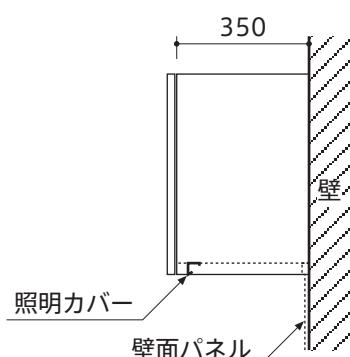
※1 L=306mm

ウォールユニットD=350mm用
壁面パネル仕様

※2 L=318mm

ウォールユニットD=350mm用
壁付け仕様

図5 DOADOA



照明器具・照明カバー [ステンレス製] の取付け 2

3. サイドキャップを照明カバーの側面に合わせて付属の \oplus トラスタッピンネジ3. 5×12にて取付けてください。 (図6)

注意：ウォールユニットの両端より0～2mm入った位置に取付けてください。

4. 照明器具を付属の \oplus トラスタッピンネジ3. 5×12にて、図7の位置に取付けてください。

なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納してください。

注意：照明器具を2本以上連結する場合は、付属の延長コードを使用してください。 (図8)

図6

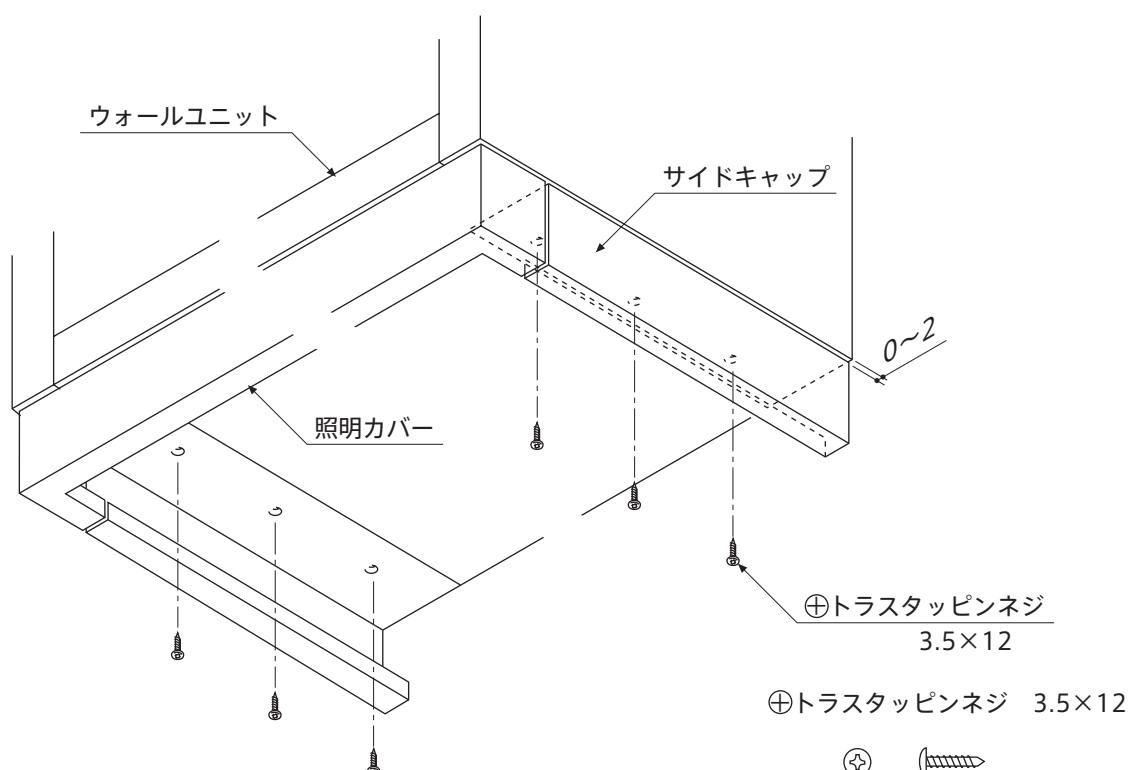


図7

ウォールユニット

DO A DO A

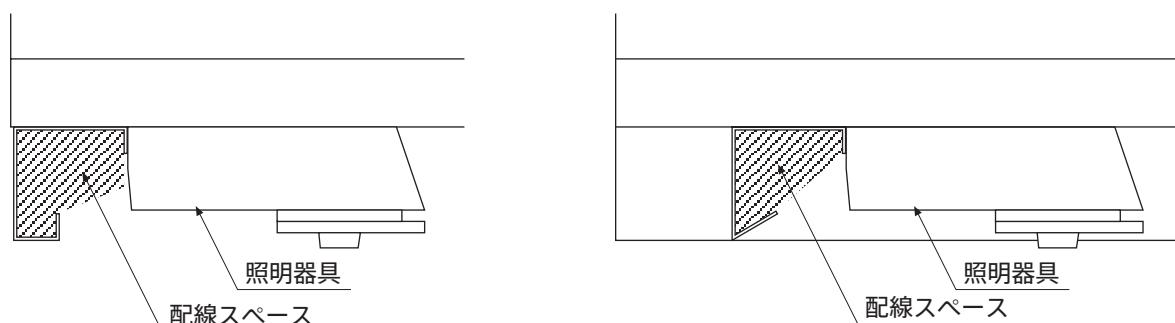
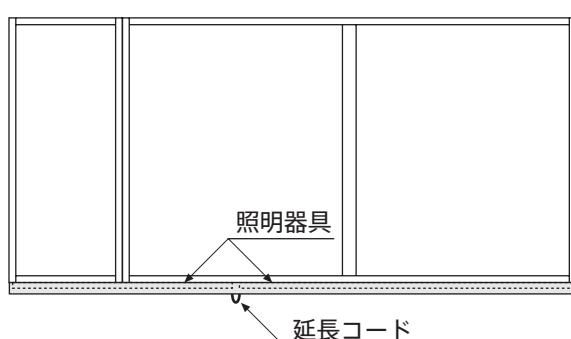


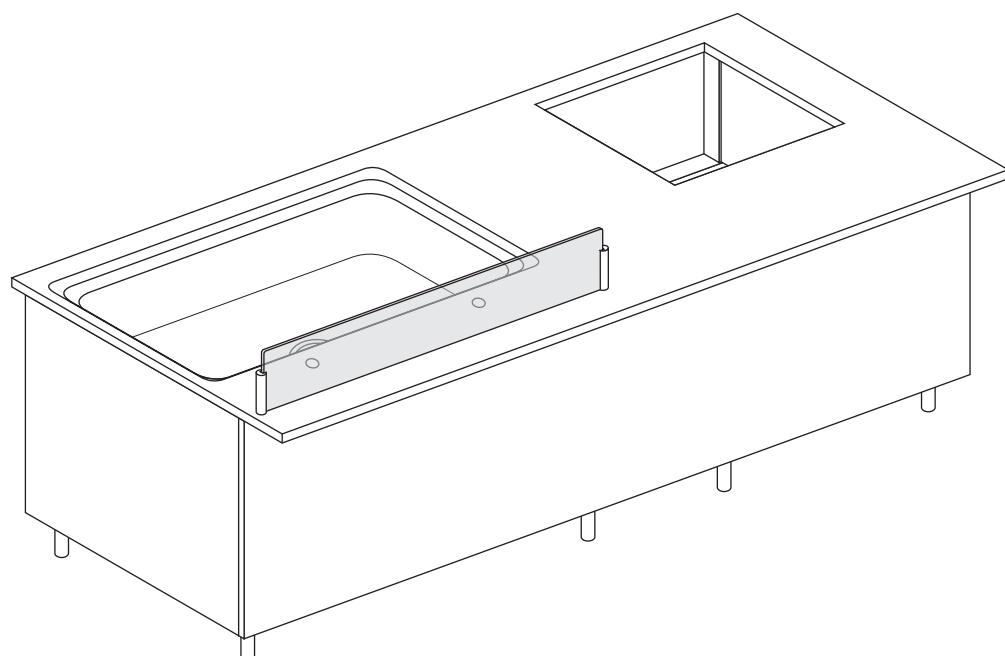
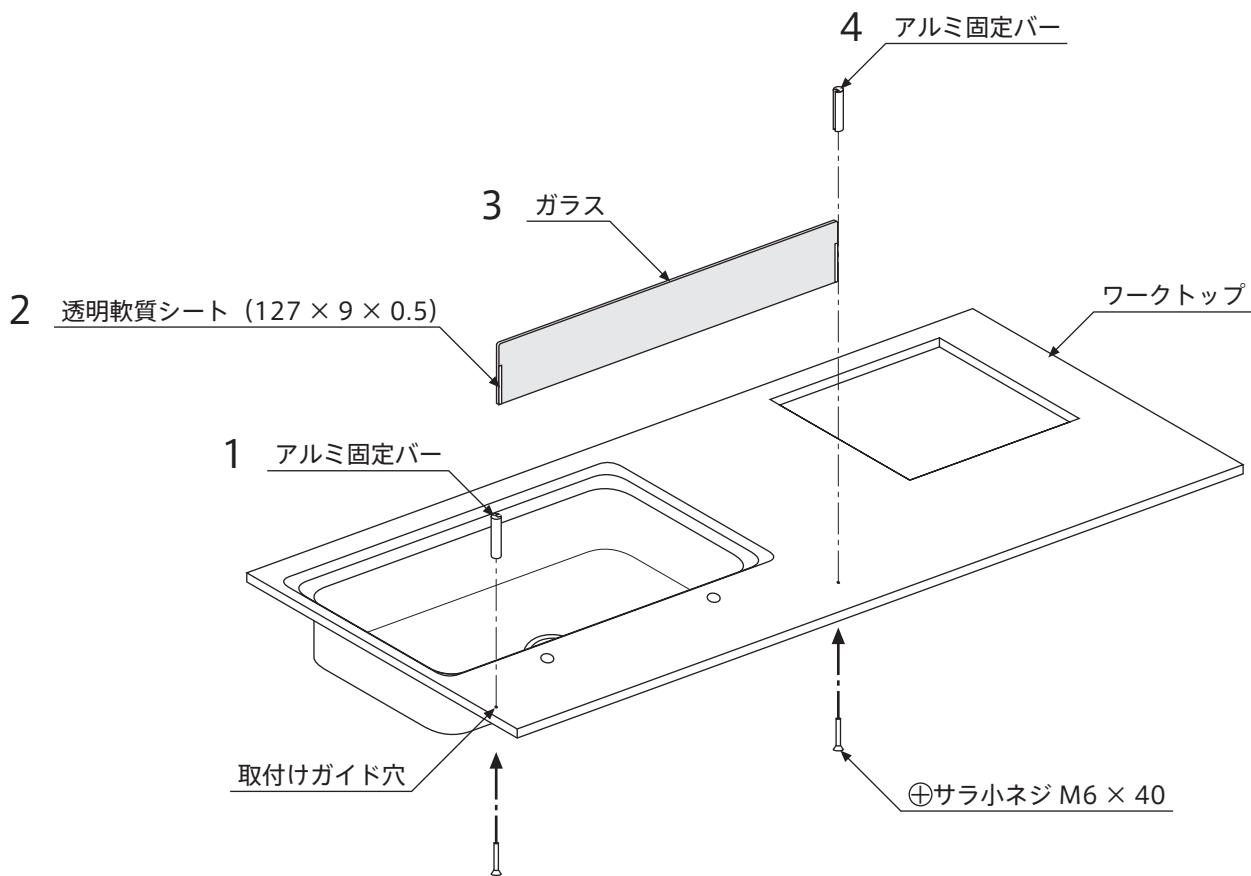
図8



ガラスバックガードの取付け

※ ガラスバックガードの取付けは、ワークトップをユニットへ固定する前に行ってください。

1. 左右どちらか一方のアルミ固定バーを、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、 \oplus サラ小ネジM6×40にて固定します。
 2. ガラスの両端両面の下側に透明軟質シートを接着無しで合わせて貼り付けます。
 3. 1で取付けたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを水平に差し込みます。
 4. もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、 \oplus サラ小ネジM6×40にて固定します。
- ※ ガラスが差し込みできない場合は、軟質シートを片面にしてください。
5. ガラスバックガードを取付けたワークトップを取付けます。

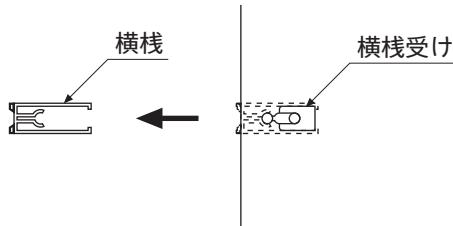


配管前の準備

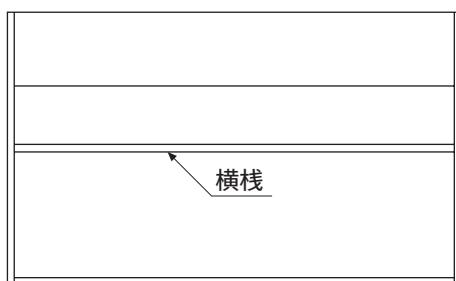
横桿の取り外し

- ・排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、横桿受けから横桿を外してください。
- ・作業が終了したら、横桿を取付けてください。

側面断面図



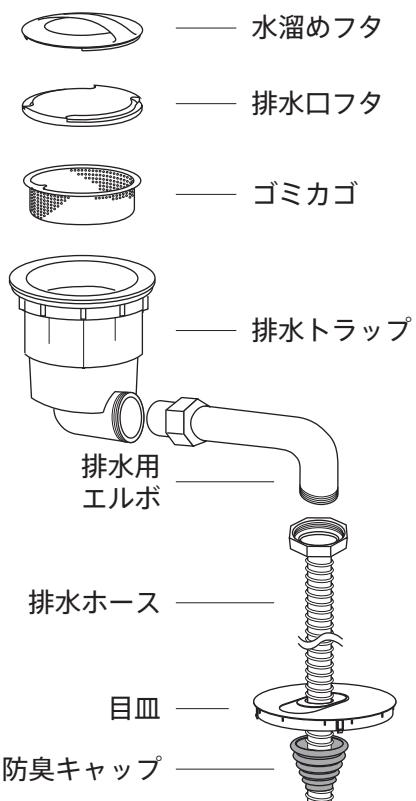
正面図



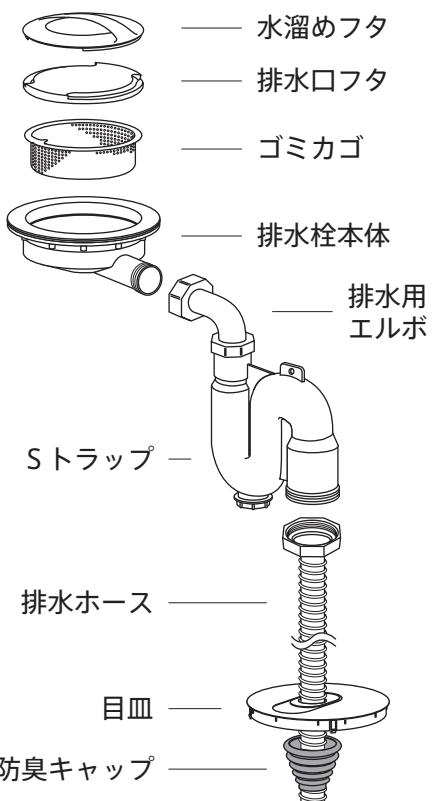
排水管の配管

- ・下図に従い、排水管の配管を行います。

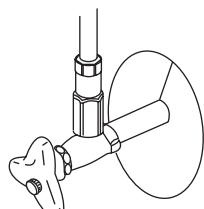
【4 Dシンク以外の場合】



【4 Dシンクの場合】



配管カバー、水栓の取付け

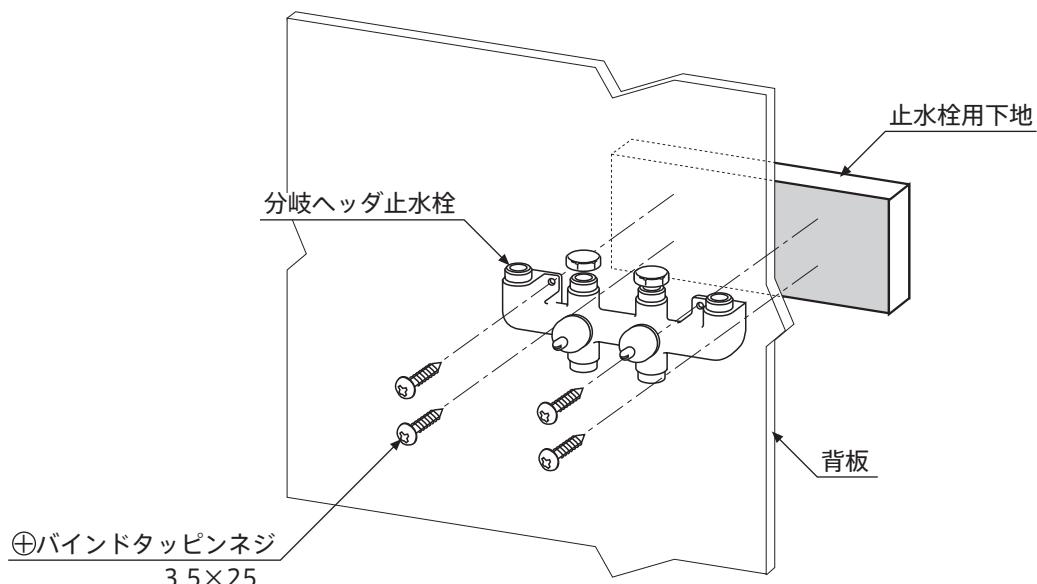


シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。

※水栓の取付けについては、付属の「据付工事説明書」を参照にしてください。

分岐ヘッダ止水栓の取付け

- ・分岐ヘッダ止水栓はシングル水栓の下側に取付けます。
- ・ユニット背面に止水栓用下地をあて、背板をはさみ込むようにユニット内から分岐ヘッダ止水栓を⊕バインドタッピンネジ 3.5×25 にて背板の指定位置に取付けます。

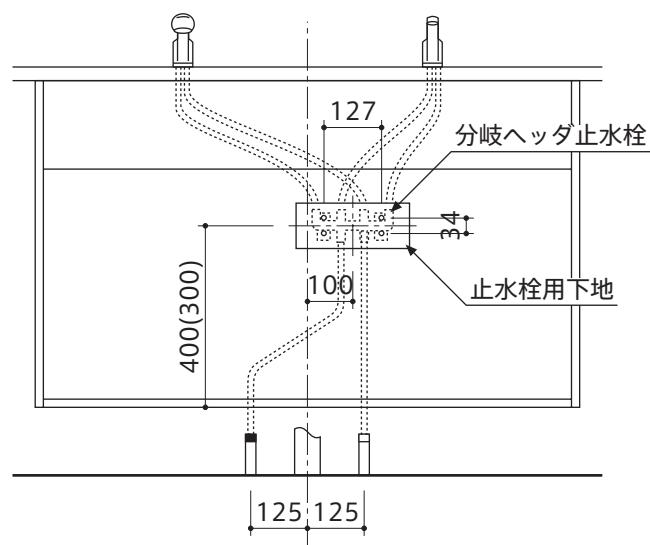


⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 25



分岐ヘッダ止水栓取付位置

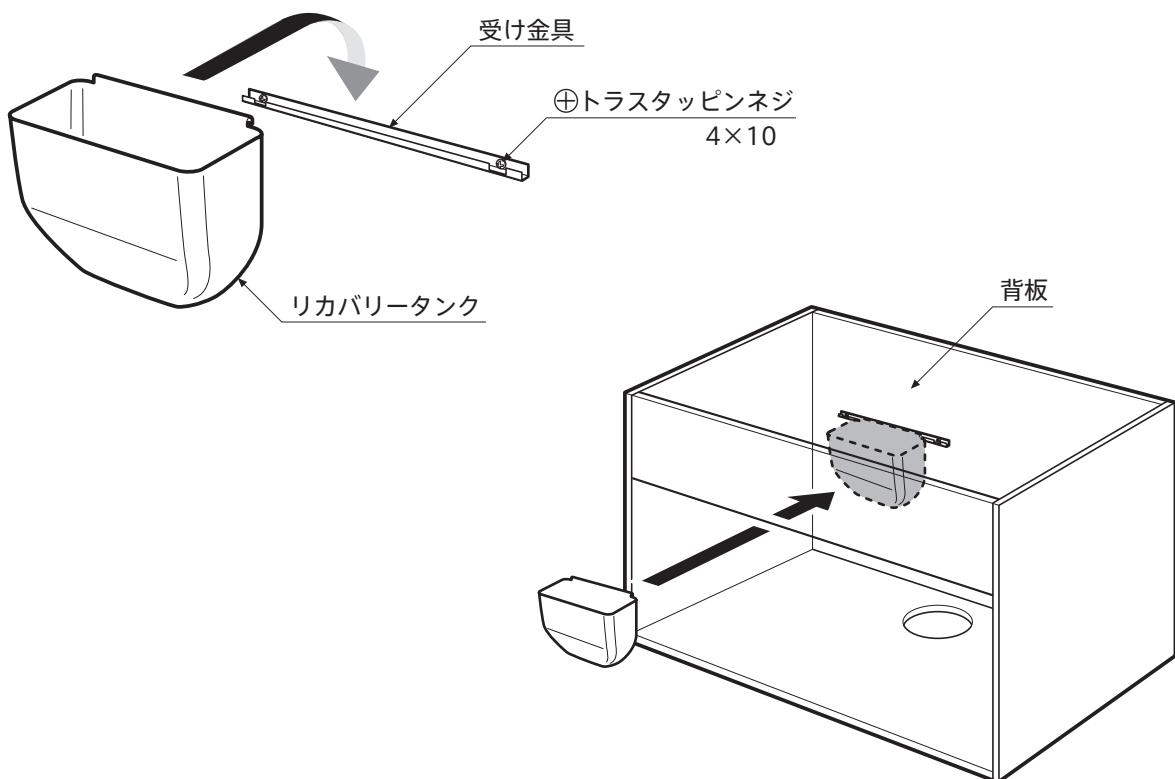
シャワー付き水栓 シングル水栓



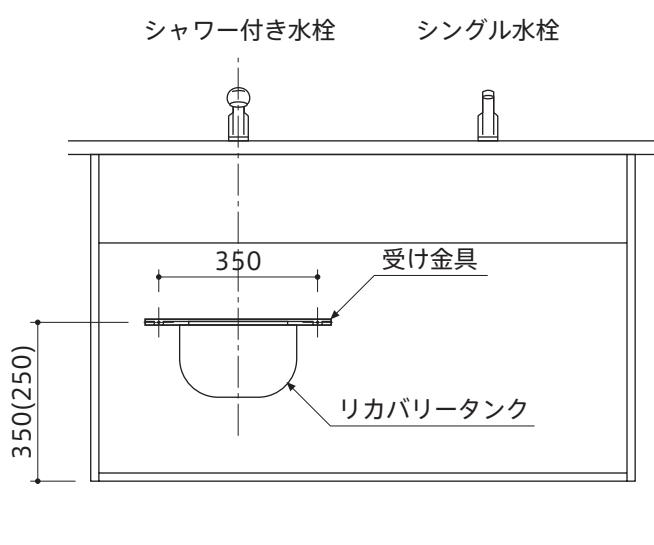
※ () 内寸法は、4Dシンクの場合を示す。

リカバリータンクの取付け

- ・リカバリータンクはシャワー付き水栓の下側に取付けます。
- ・受け金具を \oplus トラスタッピンネジ 4×10 にて背板の指定位置に取付け、リカバリータンクを引っ掛けます。



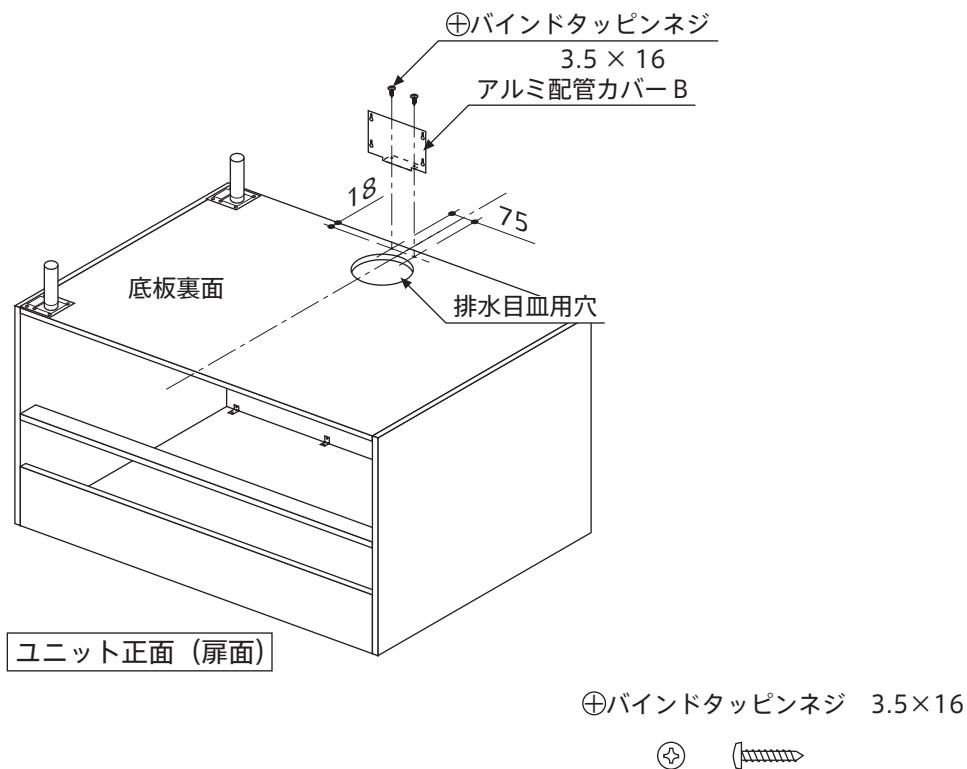
リカバリータンク取付位置



※ () 内寸法は、4 Dシンクの場合を示す。

アルミ配管カバーの取付け（壁付けタイプの場合）

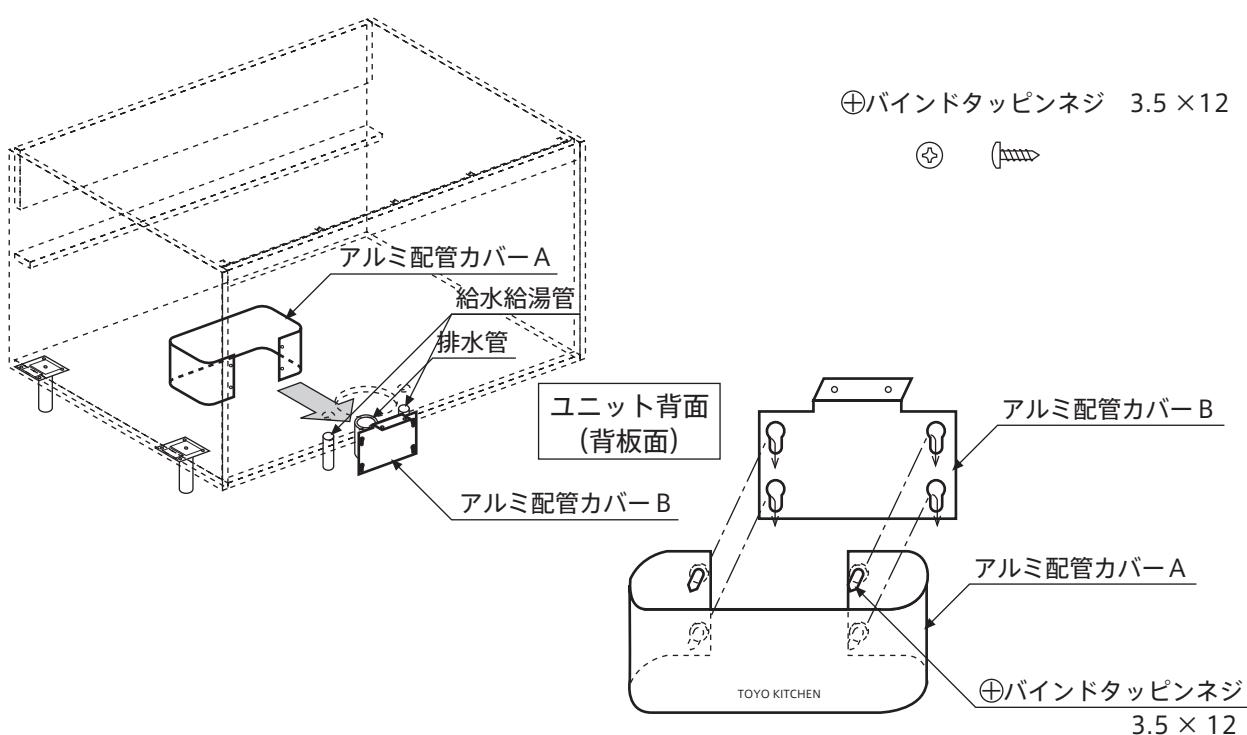
- シンクユニット底板裏面にアルミ配管カバーBを⊕バインドタッピンネジ3.5×16にて指定位置（下図参照）に取付けます。



+バインドタッピンネジ 3.5×16

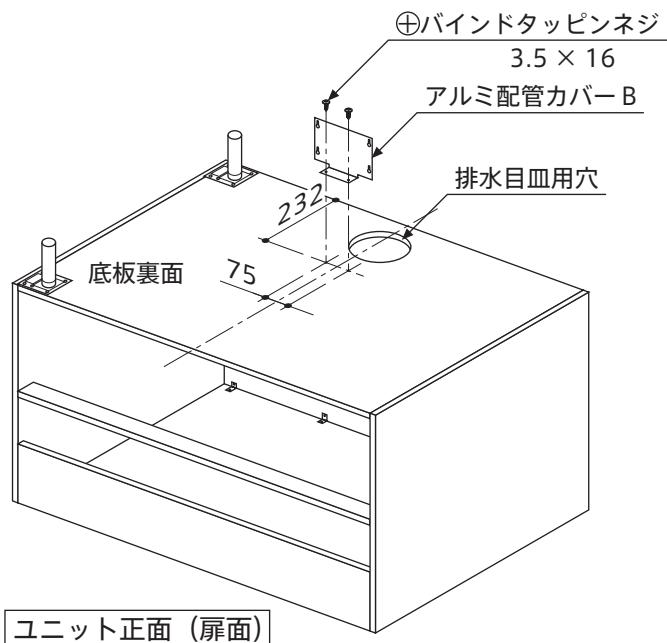
⊕

- アルミ配管カバーAに⊕バインドタッピンネジ3.5×12を4ヶ所取付けてください。
その際締め切らず、2mm程度開けた状態にします。
- アルミ配管カバーBを取り付けたユニットを排水管／給水給湯管位置まで移動します。
- 排水管／給水給湯管にアルミ配管カバーAを覆い被せます。
- アルミ配管カバーBの長穴にアルミ配管カバーAのネジを落とし込み、固定します。



アルミ配管カバーの取付け（アイランドタイプの場合）

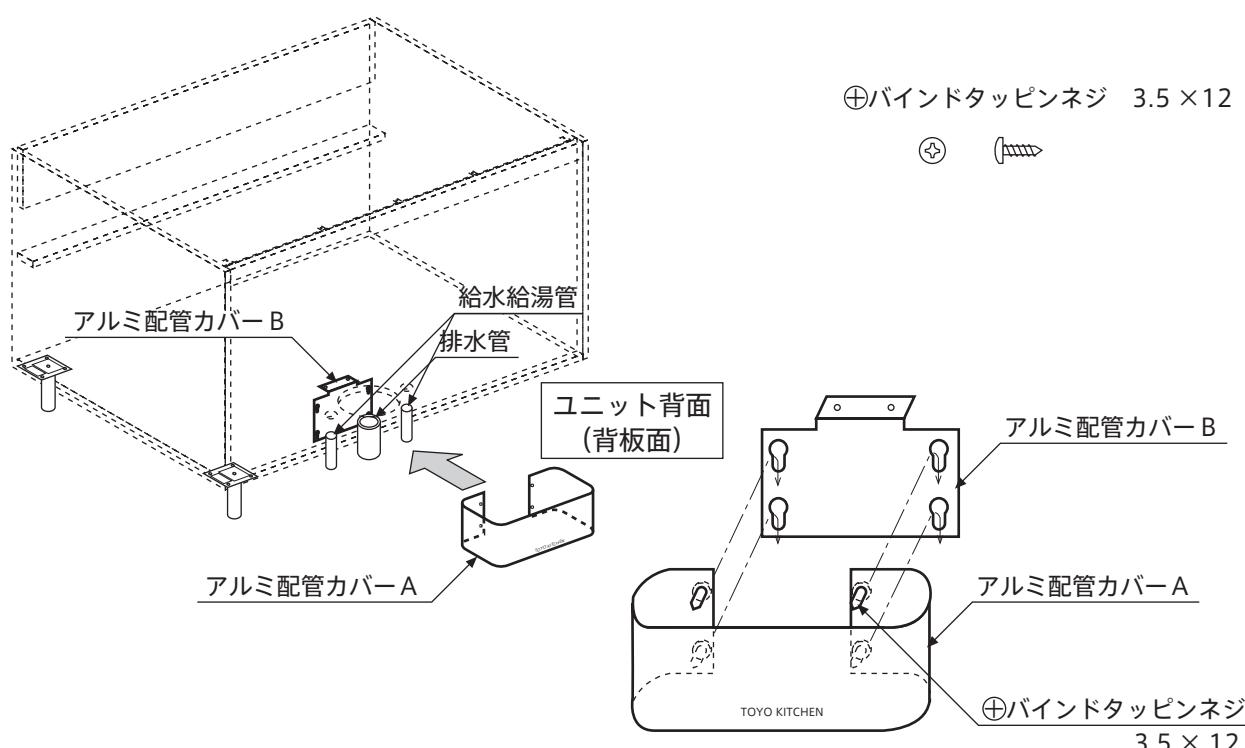
- シンクユニット底板裏面にアルミ配管カバーBを \oplus バインドタッピングネジ 3.5×16 にて指定位置（下図参照）に取付けます。



\oplus バインドタッピングネジ 3.5×16



- アルミ配管カバーAに \oplus バインドタッピングネジ 3.5×12 を4ヶ所取付けてください。その際締め切らず、2mm程度開けた状態にします。
- アルミ配管カバーBを取り付けたユニットを排水管／給水給湯管位置まで移動します。
- 排水管／給水給湯管にアルミ配管カバーAを覆い被せます。
- アルミ配管カバーBの長穴にアルミ配管カバーAのネジを落とし込み、固定します。

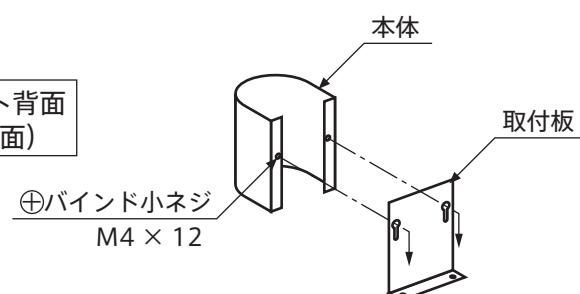
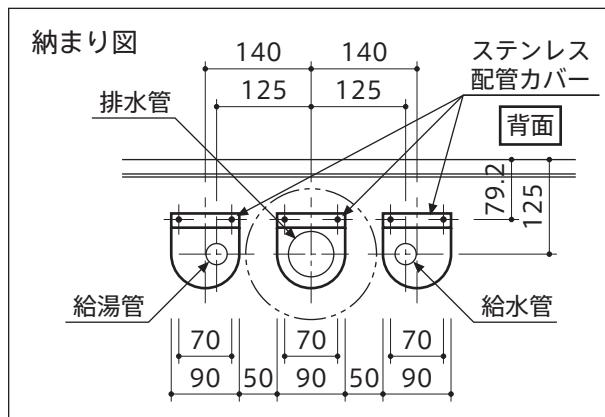
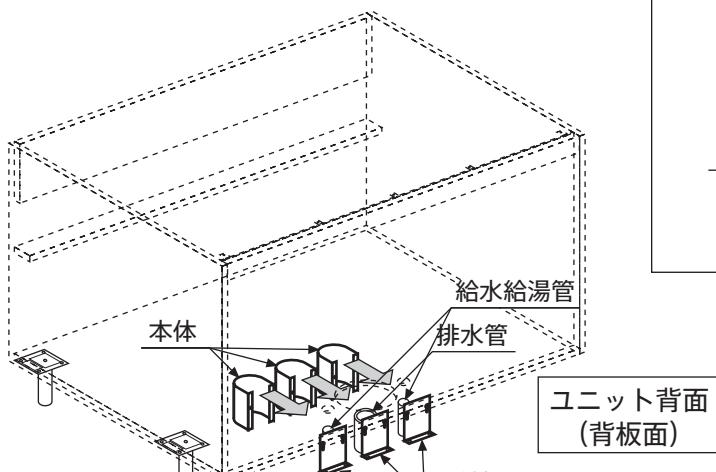


ステンレス配管カバーの取付け

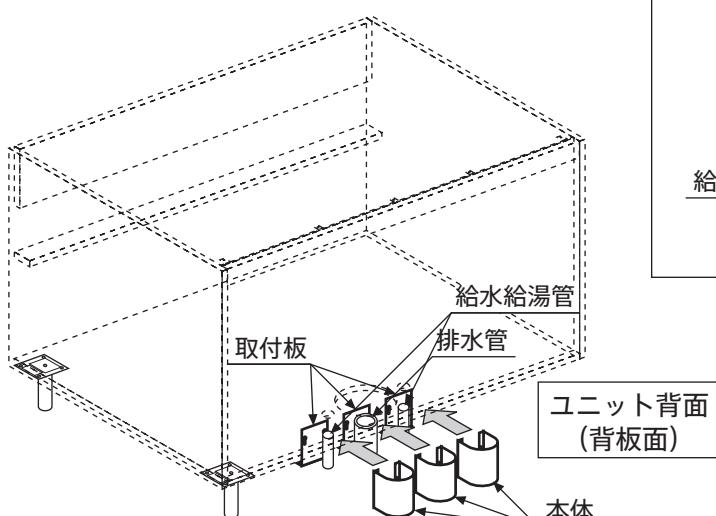
- 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床面に固定します。
 - 本体に⊕バインド小ネジM4×12を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1.5 mm程度開けた状態にします。
 - 本体を給水給湯管、排水管、ガス管に覆い被せます。
 - 取付板の長穴に本体のネジを落とし込みます。
- ※ ガタつきが大きい場合は、ネジを締め付けて固定してください。

■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取付け例

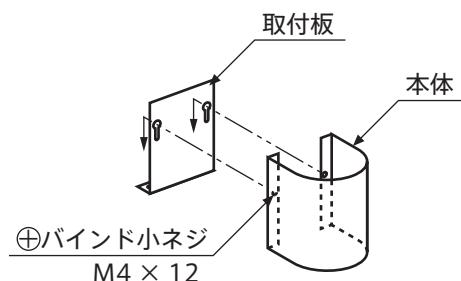
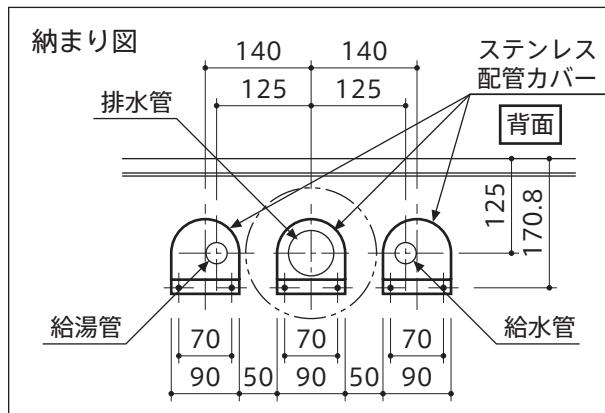
【壁付けタイプ】



【アイランドタイプ】

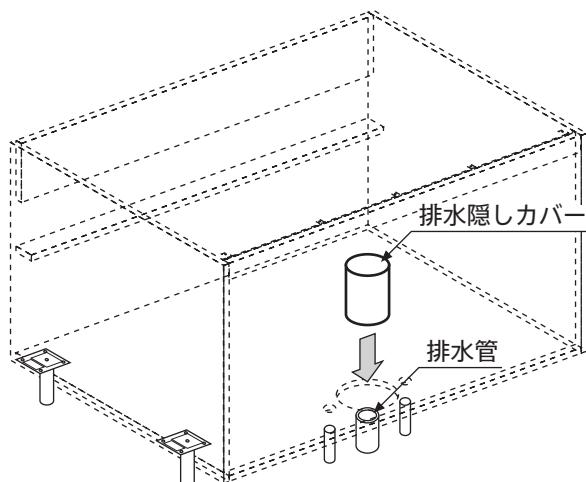


⊕バインド小ネジ M4×12



排水隠しカバーの取付け

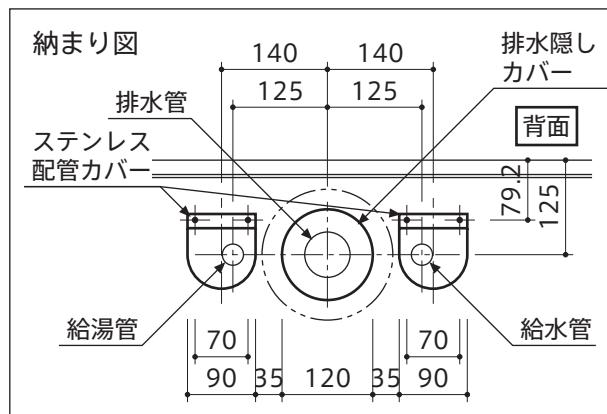
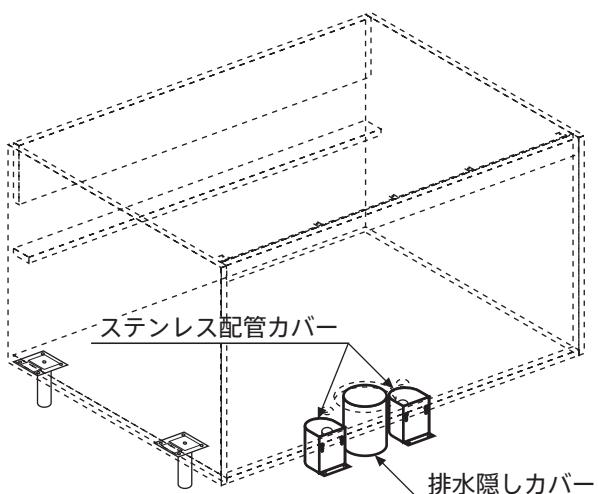
- 排水管の配管を行う前に、ユニット内部の排水目皿用穴より排水隠しカバーを差し込みます。



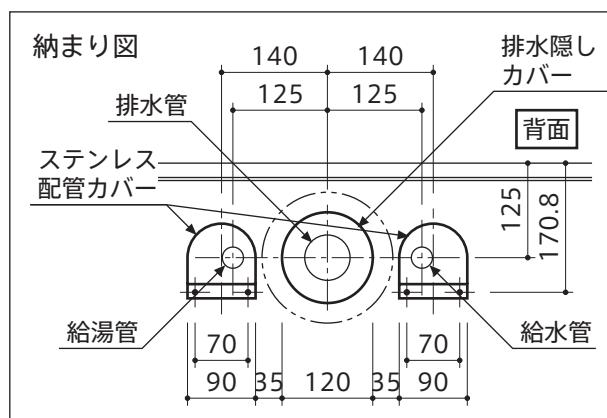
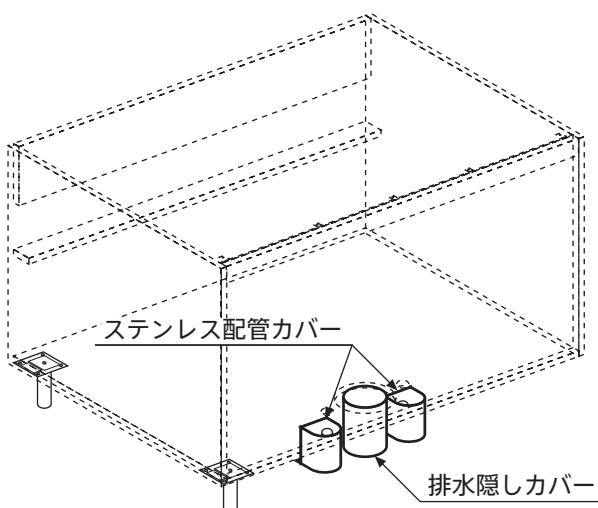
■ステンレス配管カバー2個と排水隠しカバーを使用した場合の取付け例

(※ MKOPS-HC150(100)B の場合、残りのステンレス配管カバー1個はガス管または配線などのカバーとして使用します。)

【壁付けタイプ】



【アイランドタイプ】



プルオーブン食器洗い乾燥機ユニット配管カバーの取付け

■壁付けタイプの場合

1. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具Aを \oplus バインドタッピングネジ3. 5×16（3ヶ所）にて指定位置（下図参照）に取付けます。（図1）
2. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に据付けます。
3. 配管隠しカバーを \oplus バインドタッピングネジ3. 5×12（2ヶ所）にて配管隠しカバー取付金具Aに固定します。（図2）

■アイランドタイプの場合

1. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具A、Bを \oplus バインドタッピングネジ3. 5×16（各3ヶ所）にて指定位置（下図参照）に取付けます。（図1）
2. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に据付けます。
3. 配管隠しカバーを \oplus バインドタッピングネジ3. 5×12（2ヶ所）にて配管隠しカバー取付金具A、Bそれぞれに固定します。（図2）

図1

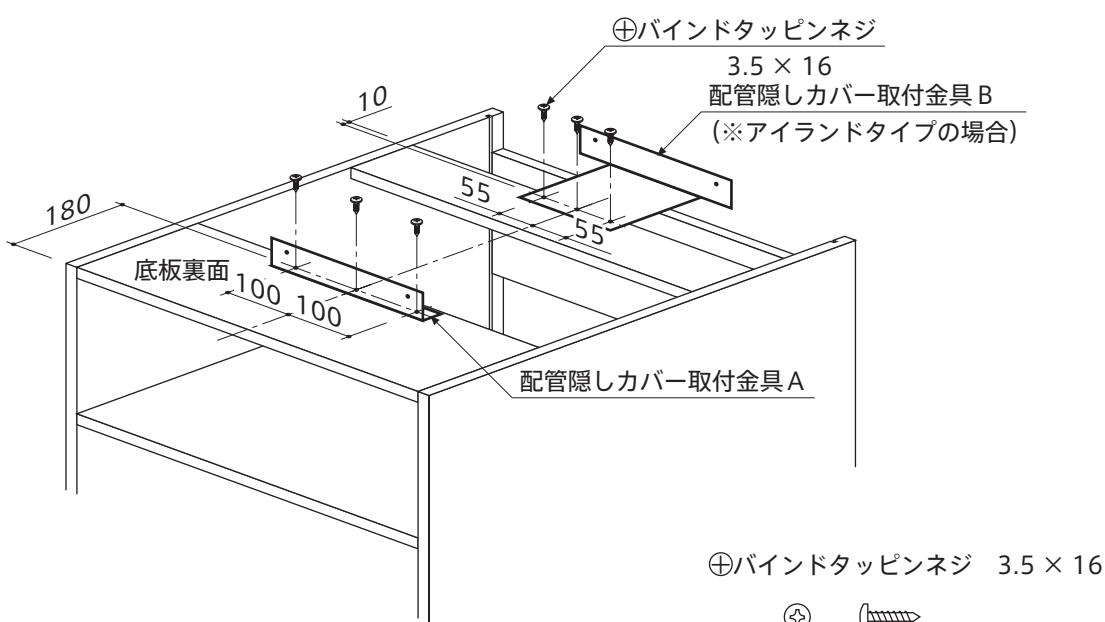
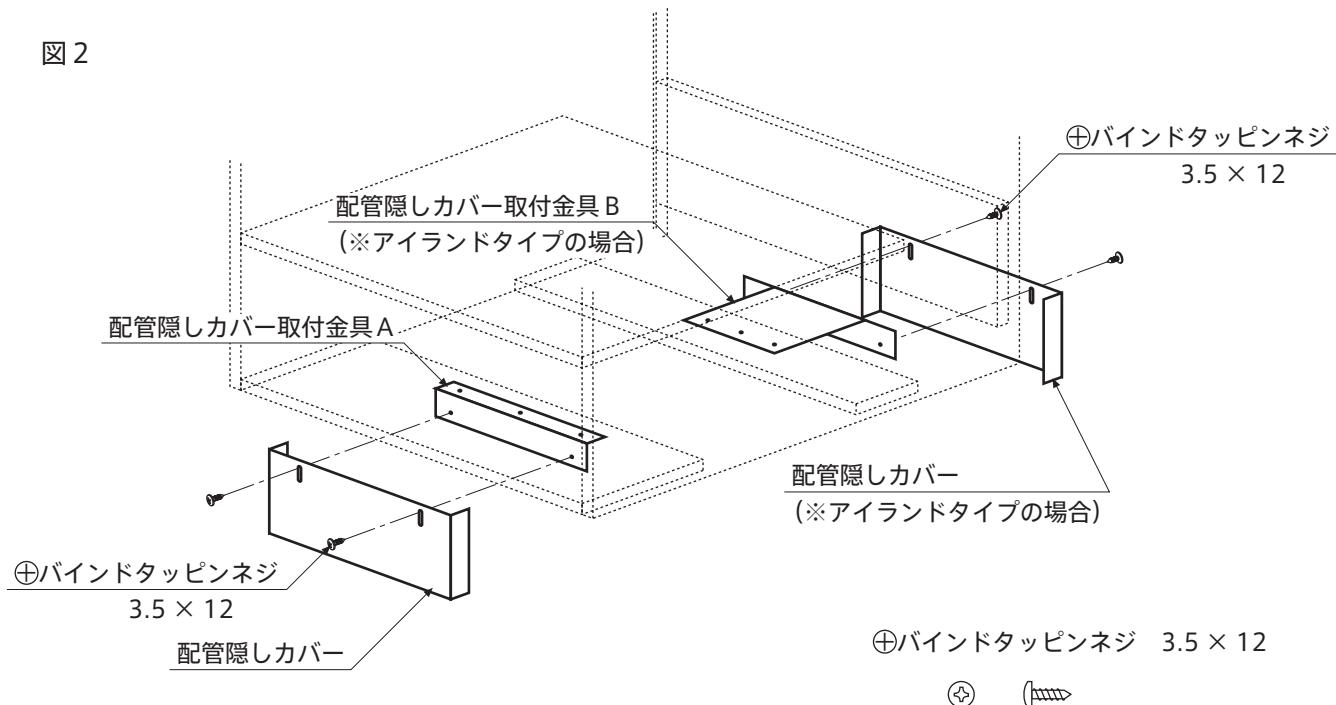


図2



クロスギャラリーの取付け（ブルム社製フルエクステンション引出しの場合）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。 (図1)
- ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。
(図2、図3)
- ・クロスギャラリーのネジを締めます。 (図1)

※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

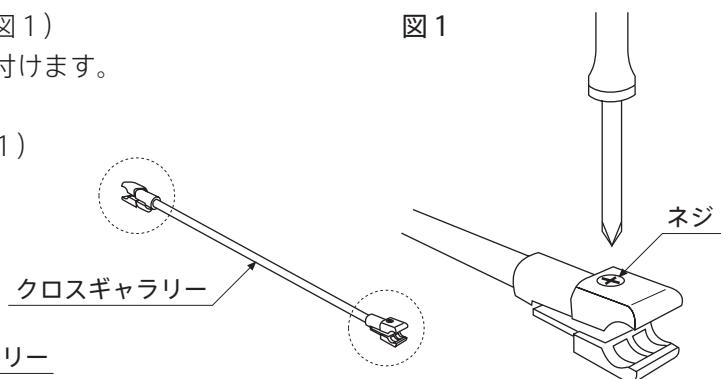


図2

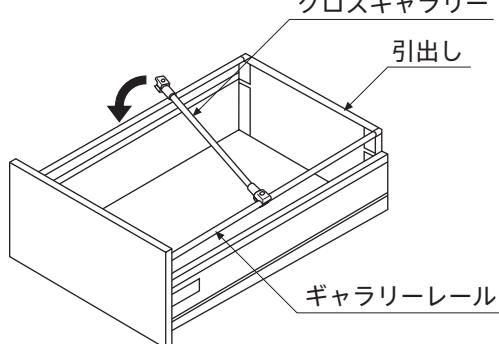
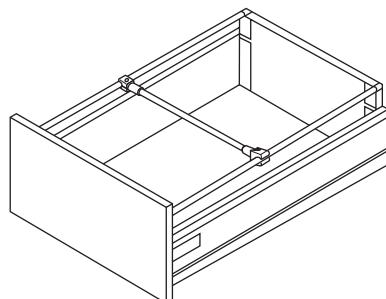
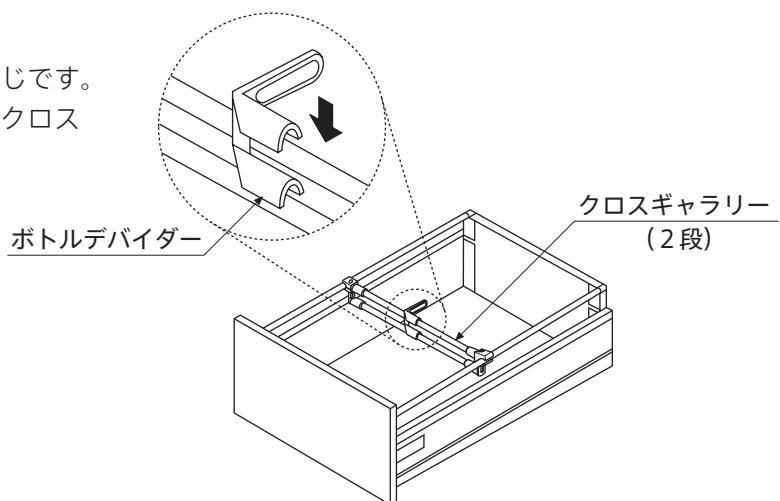


図3



■クロスギャラリー2段タイプ

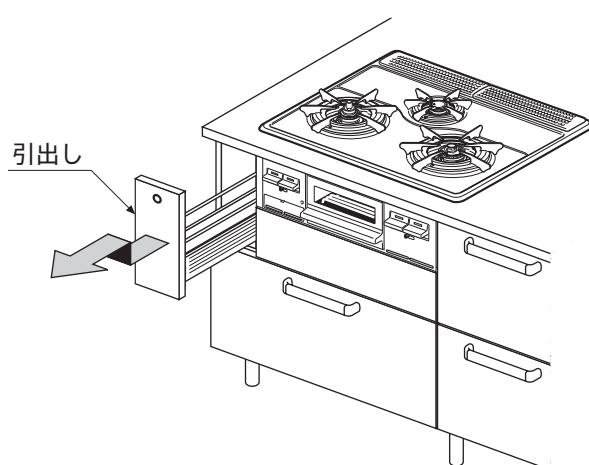
- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



引出しの取り外し、取付け

■スチール製引出しの場合

- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆に行います。

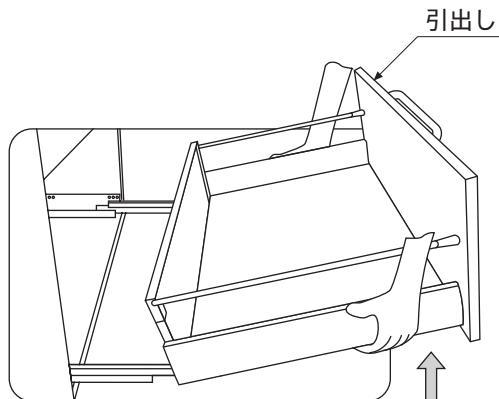


■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

取り外し方

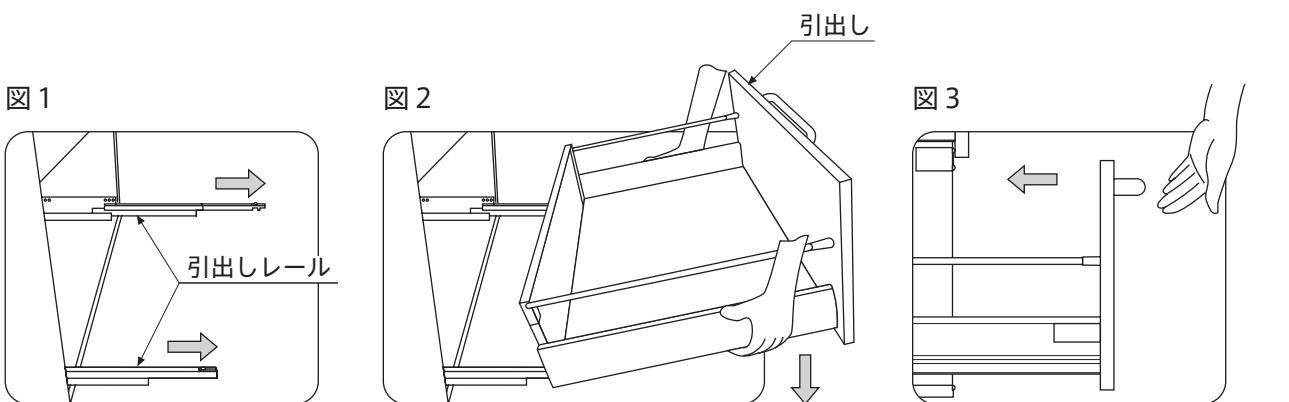
- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。

※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

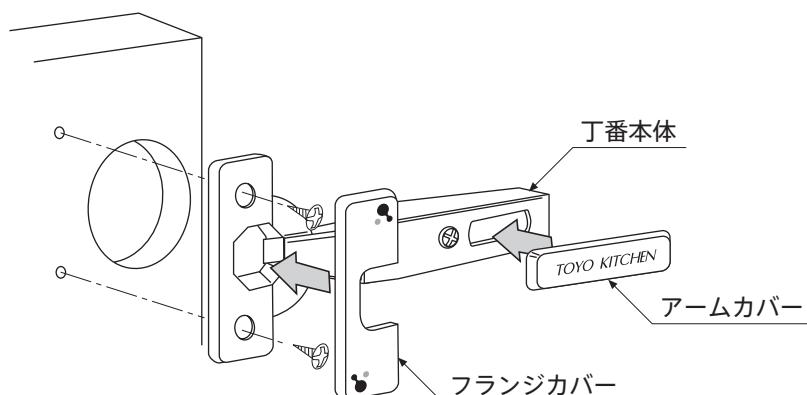
- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。 (図1)
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。 (図2)
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。 (図3)



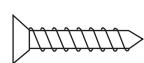
丁番の取付け

※取付けは、トルク 9 kgf 以下で、+ドライバーを使用して行ってください。

- ・丁番本体を扉、フサギ板の下穴に合わせ、⊕サラタッピンネジ 3.5×16 にて取付けてください。
- ・丁番を取付けた後、アームカバーとフランジカバーを取付けてください。



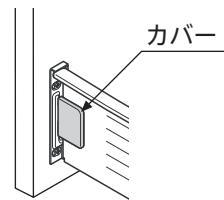
⊕サラタッピンネジ 3.5×16



引出し前板の調整

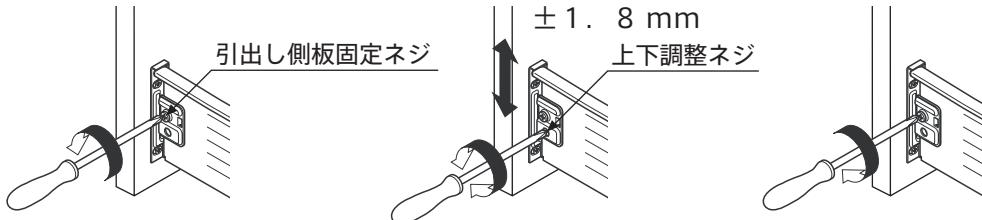
■スチール製引出しの場合

- ・引出し側板の左右外側についているカバーを外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



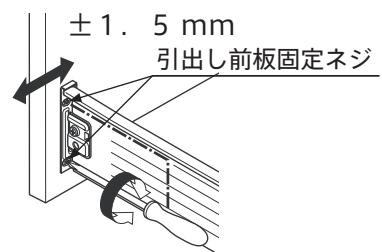
●上下方向の調整

- ・引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 1.8\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めてください。



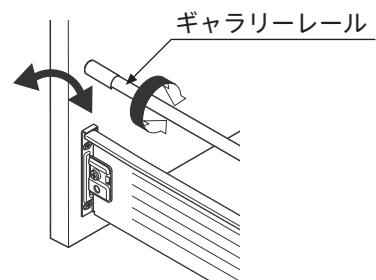
●左右方向の調整

- ・引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1.5\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めてください。



●傾き調整

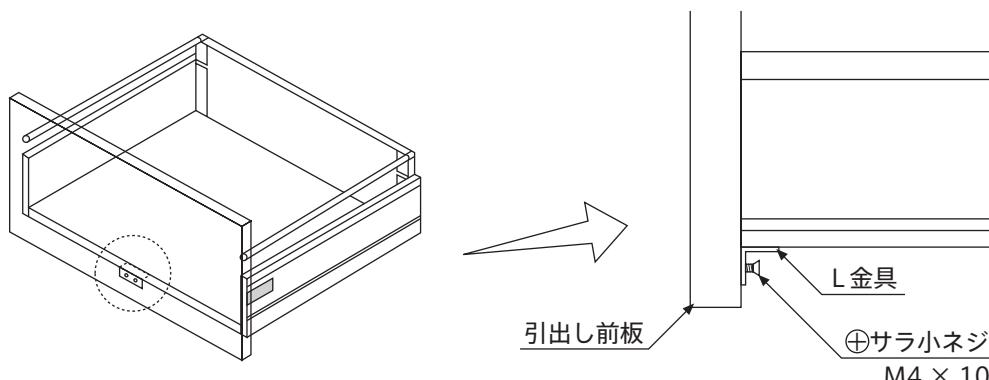
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



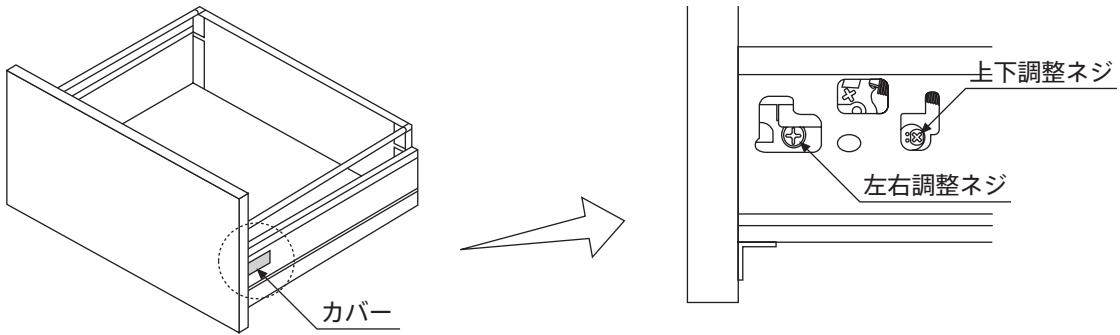
■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

- ・間口 750mm以上のユニットの場合、引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(⊕サラ小ネジM4×10)をゆるめておきます。

※全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。

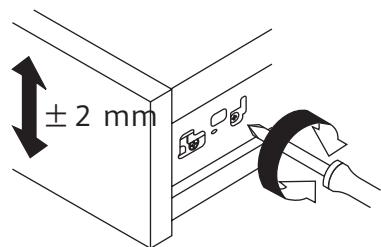


- ・引出し側板の左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



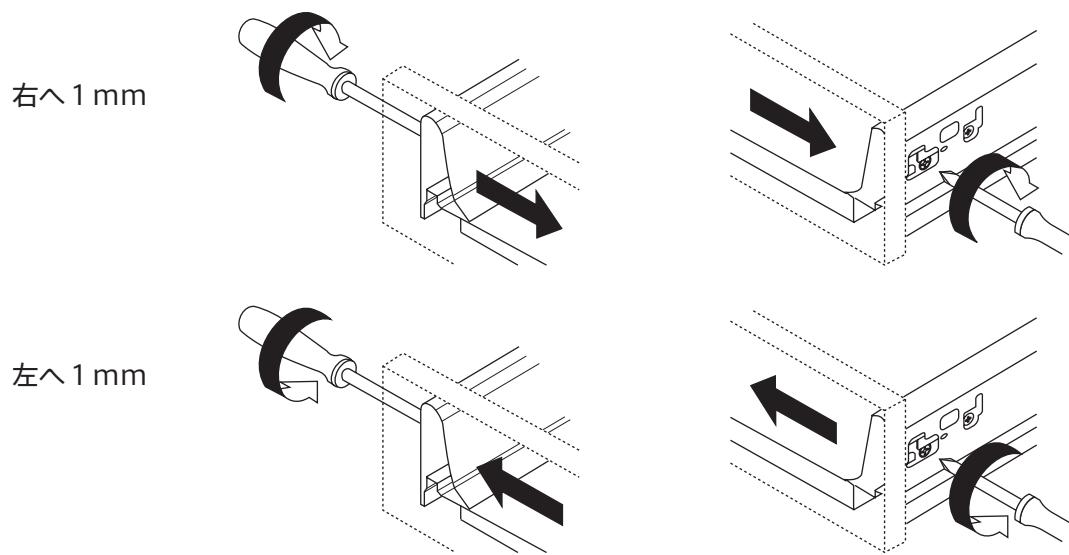
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・±2 mm調整できます。



●左右方向の調整

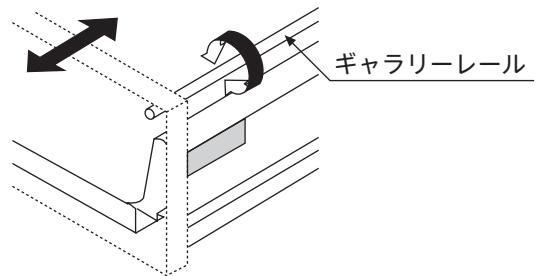
- ・左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ・±1 mm調整できます。



●傾き調整

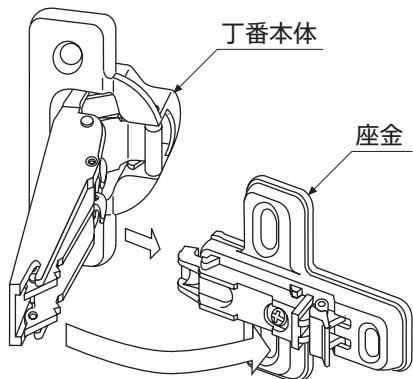
※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。

- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。

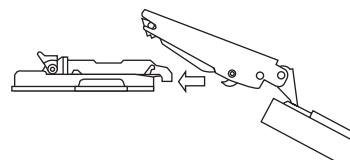


丁番の着脱

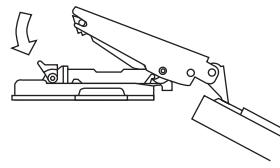
取付け方



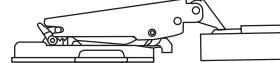
1



2

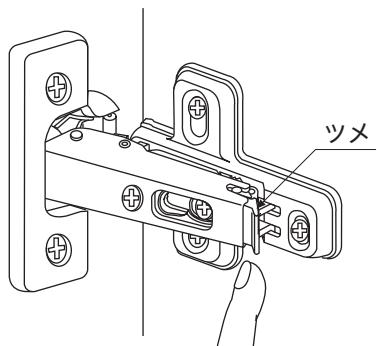


3

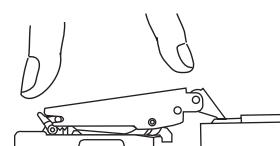


- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

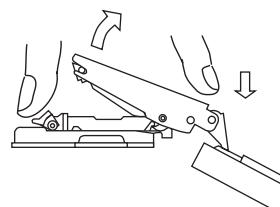
外し方



1



2



- ・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

扉（丁番）の調整

※調整は、トルク9kgf以下で、+ドライバーを使用して行ってください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。（P52 「丁番の取付け」を参照のこと。）

※調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向 3. 前後方向の順番で行ってください。

1. 上下方向

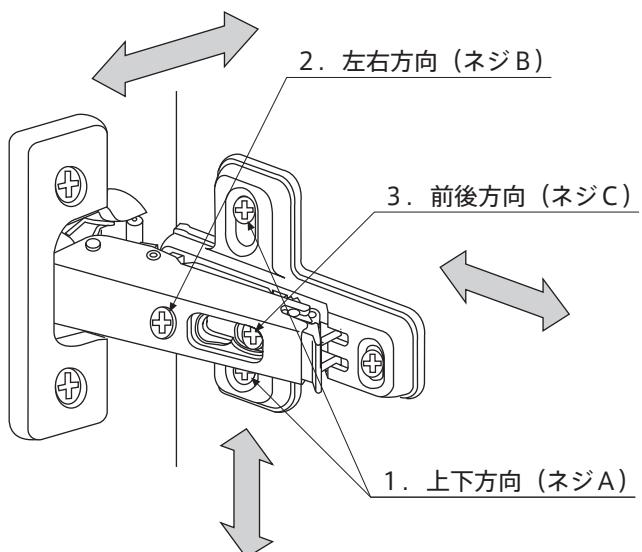
- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定め、固定します。

2. 左右方向

- ・ネジBで調整します。

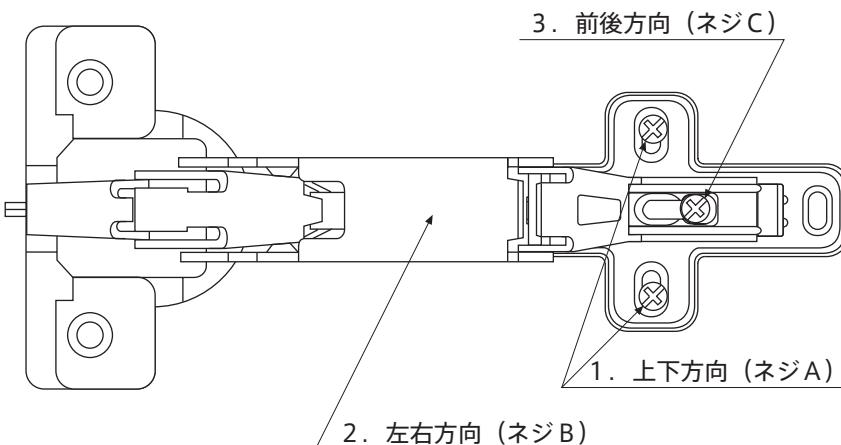
3. 前後方向

※前後方向は基本的には動かしません。

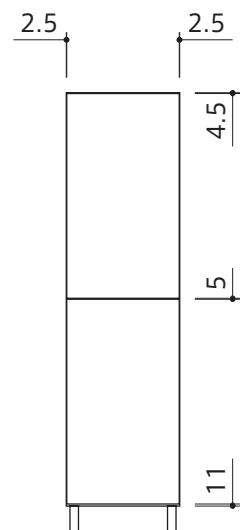


スライド丁番165° 全力ブセタイプ

※調整は扉を90°開いた状態で行います。



- ・目地を下図の寸法に合わせて調整してください。

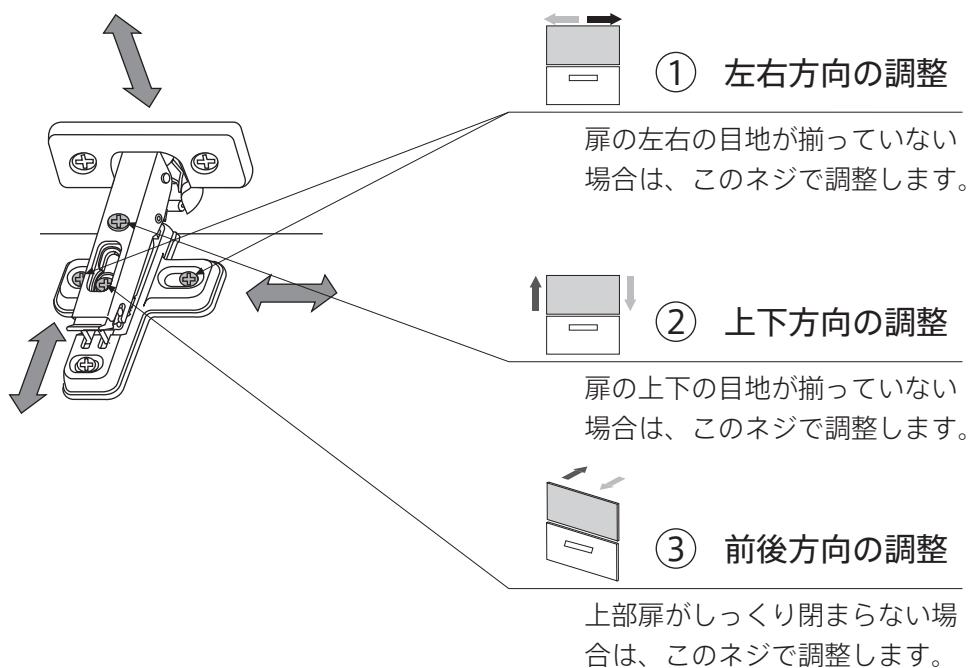


扉の調整（リフティングドアウォールユニット）

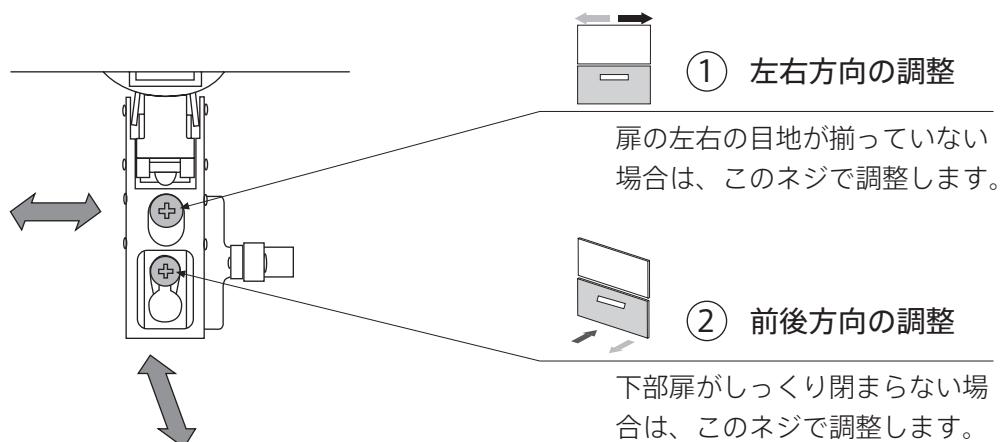
※調整は、トルク9kgf以下で、+ドライバーを使用して行ってください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。（P52 「丁番の取付け」を参照のこと。）

■上部扉の場合



■下部扉の場合

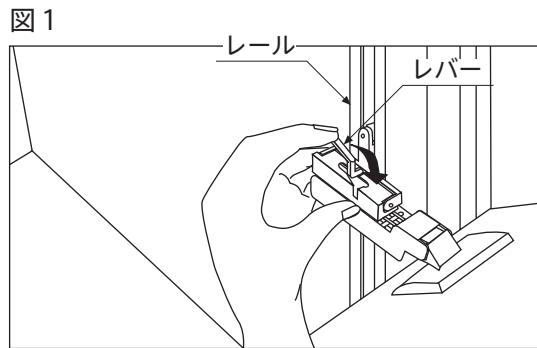


※扉（丁番）の調整は、上部扉と下部扉のバランスをとりながら行ってください。

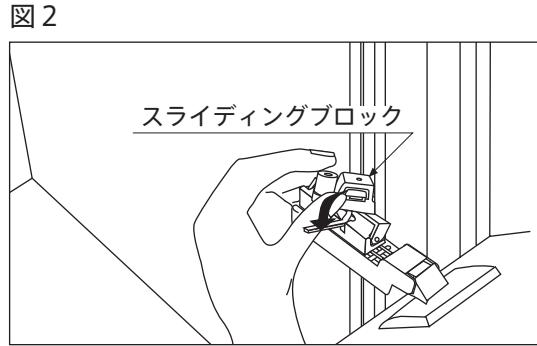
※扉の開閉時に、扉が本体パッキンに当たらないよう、前後方向の調整を行ってください。

扉の外し方（リフティングドアウォールユニット）

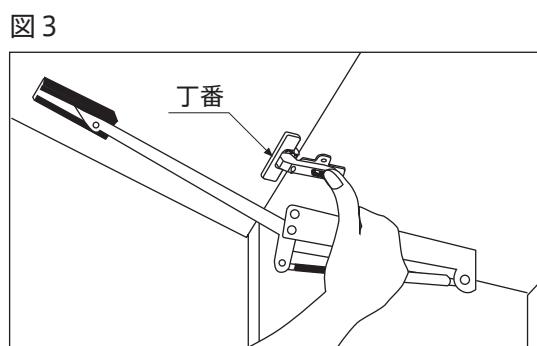
- 扉を半分ぐらい開けた状態でスライディングブロックのレバーを起こし、ロックを解除します。
(図1)



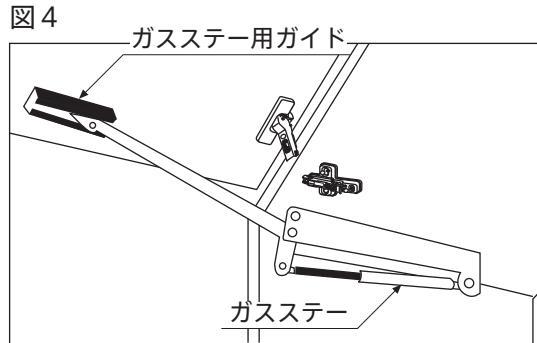
- レバーを内側へ倒し、スライディングブロックをレールから外します。その際に、下部扉をしっかりと持って行ってください。スライディングブロックを外すと、下部扉が勢いよく外れ、ケガをする恐れがあります。
(図2)



- 上部扉を持ちながら、丁番を外します。
(P55 「丁番の着脱」の「外し方」を参照のこと。)



- ガスステー用ガイドから、ガスステーを外します。
(図4)

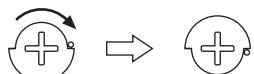


※扉を取付ける場合は、上記「扉の外し方」の手順を逆から行ってください。

※ガスステーがロックされているか確認してください。

ロックされていない場合は、固定ネジを回してロックしてください。

左側にガスステーが付く場合



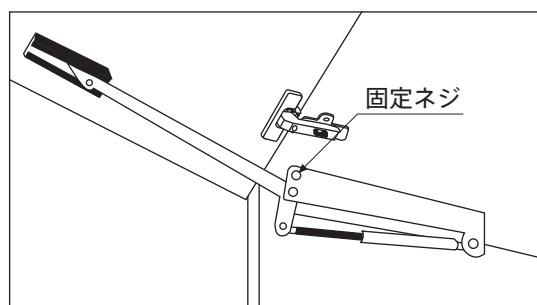
右へ回す

右側にガスステーが付く場合



ロック

いっぱいまで左へ回してロック



据付け後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商 品 名	システムキッチン【GRAND BAY】	
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも	F ☆☆☆☆☆
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（PB）	F ☆☆☆☆☆
	MDF	F ☆☆☆☆☆
	合板	F ☆☆☆☆☆
	接着剤	F ☆☆☆☆☆

MEMO

MEMO

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 - 10
<http://www.toyokitchen.co.jp>

ユーザーサポートセンター
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

東京・南青山

P9WP-TRS85
08.10